

有田市 生涯学習推進計画



有田市教育委員会

はじめに



私たちは、常に様々なことを学びながら生活しています。就学、就職、結婚、出産、退職などの生活環境の変化や、超高齢社会の到来、環境問題の深刻化、情報化社会の進展などの社会の変化に対応していくためには、絶えず新たな知識や技能を習得していくことが不可欠となっています。加えて、まちづくりに参画する機会が増え、市民一人一人が自身の知識や技能、経験を地域に還元していくことの重要性が増しています。

このような状況を踏まえ、有田市教育委員会では、市民が生涯にわたって、いつでもどこでも自由に学び続け、支え合うことができる社会を目指し、市民の生涯学習を支援する取組を進めてまいります。

このたび、教育委員会では、生涯学習施策を着実に推進するため、有田市の生涯学習分野では初めてのアクションプランとなる「有田市生涯学習推進計画」を策定しました。本計画では、老若男女がいつでもどこでも集まり、個人の能力、地域の輪、地域の繋がりを構築するために、「集い・学び・つなげる地域の力」を基本理念に掲げ、「場づくり・人づくり・まちづくり」をキーワードとした3つの基本方針を設定しました。

また、本計画は、生涯学習の基本的な方向性を示すとともに、関係する他の行政担当部署と、密接な連携を取りながら推進していく教育行政施策の拠り所として、策定するものです。

今後は、市民の生涯学習を総合的に支援するために、地域住民にとって、最も身近な学習施設として利用されている公民館、図書館等を中心に、様々な機関と連携して生涯学習施策を着実に推進してまいります。今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定に多大なご尽力をいただきました和歌山大学地域連携・生涯学習センターの村田和子教授をはじめ、有田市社会教育委員会並びに有田市公民館連絡協議会の皆様、更に生涯学習に関する市民アンケートにご協力いただいた市民の皆様、多くの関係各位に心から感謝申し上げます。

2016年1月

有田市教育長 田中政彦

生涯学習推進計画 目次

第1章 生涯学習について

- 第1節 生涯学習とは
- 第2節 社会的背景
- 第3節 「公民館」を拠点とした計画の策定

第2章 生涯学習推進計画について

- 第1節 策定趣旨
- 第2節 計画の位置づけ
- 第3節 計画の期間
- 第4節 基本理念
- 第5節 基本方針

第3章 有田市における生涯学習の現状

- 第1節 生涯学習アンケート結果について（抜粋）
- 第2節 生涯学習アンケート結果から見える課題

第4章 基本的な施策

第1節 世代をこえて集う 場づくり

- 第1項 住民のニーズにあった生涯学習機会の提供
- 第2項 生涯学習施設の整備・有効活用
 - 1 《 公民館 》
 - 2 《 図書館 》
 - 3 《 郷土資料館 》
 - 4 《 体育施設等 》
- 第3項 生涯スポーツの推進
- 第4項 情報発信の充実

第2節 世代をこえて学ぶ 人づくり

- 第1項 核となる人材の発掘
- 第2項 文化的活動の支援と地域の文化財の保護

- 第3項 子育て・家庭教育支援と青少年の健全育成の推進
- 第4項 高齢者の社会参加の推進

第3節 **世代をこえて支え合う まちづくり**

- 第1項 地域の課題解決に向けた取り組みの推進
- 第2項 地域づくりのための推進体制の確立

資料編

- ◇ 計画の体系図

- ◇ 有田市の市立公民館について

- ◇ 生涯学習推進計画に関する諮問・答申
諮問文
答申文

- ◇ 生涯学習に関する市民アンケート調査
アンケート内容
アンケート結果

- ◇ 計画策定の経過

第1章 生涯学習について

第1節 生涯学習とは

生涯学習とは、一人一人が、生きがいのある充実した人生を送るため、自分の意思に基づくことを基本とし、必要に応じて自分に適した手段や方法を選び、生涯を通じて行う学習活動のことです。

生涯学習には、学校で行われている基本的な教育活動や、仕事に役立つ知識や技術を身につける資格取得、企業内研修や、健康で豊かな生活を営むための趣味や教養、スポーツ活動、レクリエーション活動、芸術・文化活動や、地域づくり活動、ボランティア活動等、あらゆる学習活動が含まれています。

また、学習の方法には、学校や公民館、民間の生涯学習関連施設等で行われる学習活動だけでなく、テレビ、ラジオ、書籍、新聞、インターネットなどを利用して個人で行う学習もあります。

こうした生涯学習活動は、自分自身を育て、潤いのある生活を築いていくことができるとともに、学習によって得た知識や技能を家庭、学校、地域などで生かすことによって、地域文化の向上や活力ある社会の形成にも貢献していくことができます。

このように、生涯学習には、一人一人の人生を生きがいのある充実したものにするだけでなく、真に豊かな地域社会の実現に大きな役割を果たすことが期待されます。

第2節 社会的背景

少子高齢化・高度情報化・家族形態の変容や地域社会の人間関係の希薄化による、家庭や地域の教育力の低下などの急激な社会の変化とともに、人々のライフスタイル・価値観・人生の指標などの多様化や地方分権などの行財政上の状況変化が進みました。このような社会環境の変化に対応し、今日的な時代背景、人々の生涯学習に対する考えやニーズを把握し、時代の変化に対応した新たな生涯学習社会の実現に向けた取り組みが必要とされています。

第3節 「公民館」を拠点とした計画の策定

有田市では、公民館、図書館を初め、郷土資料館、体育館、総合運動公園など多岐にわたる生涯学習施設が多くの方に利用されています。なかでも市立公民館は、市内8箇所に設置しており、地域住民にとって、最も身近な学習施設として利用されています。

地域の集いの場、学習の場として公民館が担う役割は非常に大きく、地域社会を形成する中心として、欠かすことの出来ない施設であるといえます。そこで本計画は、課題解決に向き合う市民一人一人が自立的な学習活動を行い、その成果を社会に還元することで、よりよい地域がつくられていくよう、公民館を拠点とした生涯学習活動の方向性を示すものとしします。

第2章 生涯学習推進計画について

第1節 策定趣旨

有田市は、和歌山県の北西部に位置し、昭和31年の市制施行以来、農業、漁業並びに工業を中心に発展してきました。

人口においても産業の発展に伴い増加してきましたが、昭和44年にピークを迎えた後減少傾向にあり、また、年齢構成についても、人口に占める65歳以上の割合が30%(平成27年4月時点)と少子高齢化が進んでいます。

そのような社会情勢の中、第4次有田市長期総合計画(以下『総合計画』)で目指す「活力あふれる明るい未来のまち」の実現のためには、一人一人の市民による活発で充実した生涯学習活動が必要不可欠であり、また、生涯学習活動を通じた地域コミュニティの形成が重要だといえます。

本計画は、教育委員会における生涯学習の基本的な方向性を示すとともに、関係する他の行政担当部署と、密接な連携を取りながら推進していく教育行政の施策の拠り所として、策定するものです。

第2節 計画の位置づけ

本計画は、『総合計画』が掲げる“目指すべき都市像”を実現するために、社会教育を中心とした生涯学習事業を推進する指針となるものです。

策定にあたっては、「生涯学習に関する市民アンケート」(平成26年度実施)の結果や、社会教育委員会議並びに公民館関係者による協議内容を反映させ、今後取り組むべき施策や事業の具体化を図るものです。

第3節 計画の期間

平成28年度から平成37年度までの10ヶ年計画とします。
ただし、今後の社会情勢や市民の学習ニーズの変化等に対応するために、必要に応じて内容の見直しを図ります。

第4節 基本理念：『集い・学び・つなげる地域の力』

まず、生涯学習の理念として、教育基本法三条に「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」とされています。

そのような中で社会教育の役割として、「社会教育は、人々の教養の向上、健康の増進等を図り、社会を形成する自立した個人を育成に資するとともに、人と人との絆を強くし、地域課題の解決に寄与するなど、地域社会の活性化を図っていく上で重要な役割を果たしている。」（「社会教育推進体制の在り方に関するワーキンググループにおける審議の整理」第一章より抜粋 平成25年9月 中央教育審議会生涯学習分科会）とされています。

そのような役割を踏まえ、老若男女がいつでもどこでも集まり、個人の能力、地域の輪、地域の繋がりを構築するためにも、『集い・学び・つなげる地域の力』を基本理念とします。

第5節 基本方針

有田市における生涯学習の推進にあたっては、地域住民の集まる「場づくり」を促進し、地域社会の担い手としての「人づくり」を目指すとともに、学習した成果を「まちづくり」に生かし、地域の発展や活性化につなげていく必要があります。

そのため、本計画における基本方針を次のとおり設定します。

世代をこえて集う 場づくり

世代をこえて学ぶ 人づくり

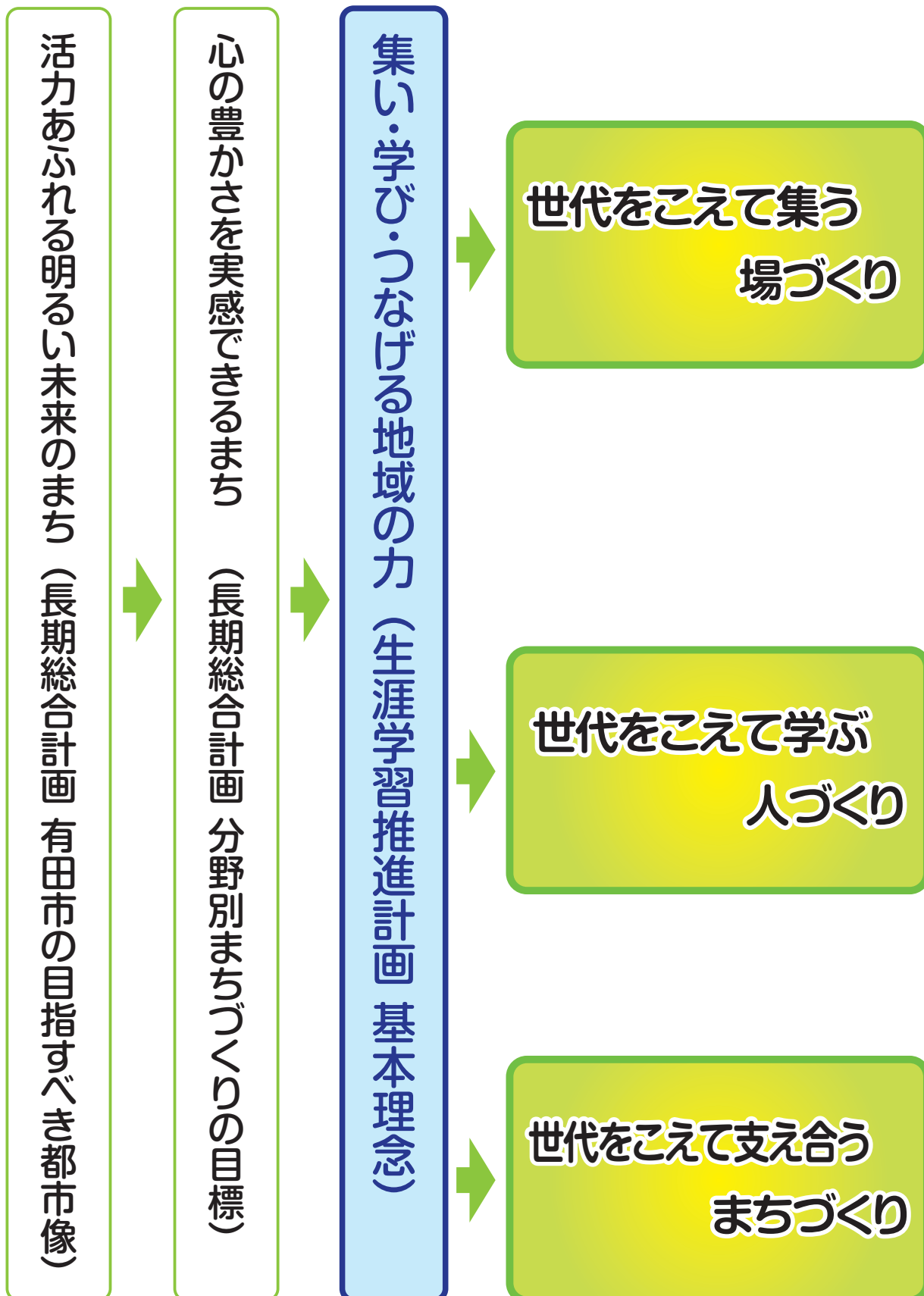
世代をこえて支え合う まちづくり

計画の体系図

長期総合計画

基本理念

基本方針

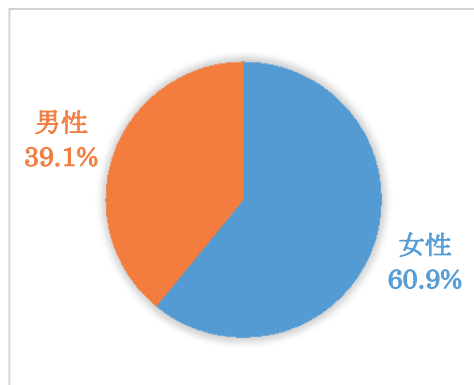


第3章 有田市における生涯学習の現状

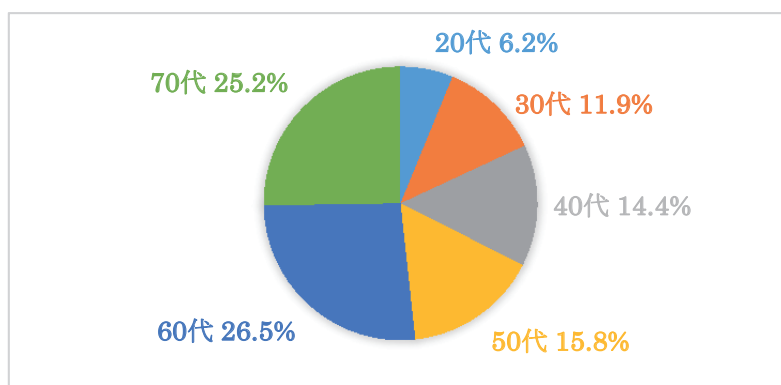
第1節 生涯学習アンケート結果について（抜粋）

生涯学習に関する市民アンケート調査

調査期間	平成26年8月25日～9月30日
調査対象	満20歳以上の有田市民1,000人（住民基本台帳より無作為抽出）
調査方法	該当者に郵送にてアンケートを送付
回収率	40.4%（有効回答数404人）



<男女別回収率>



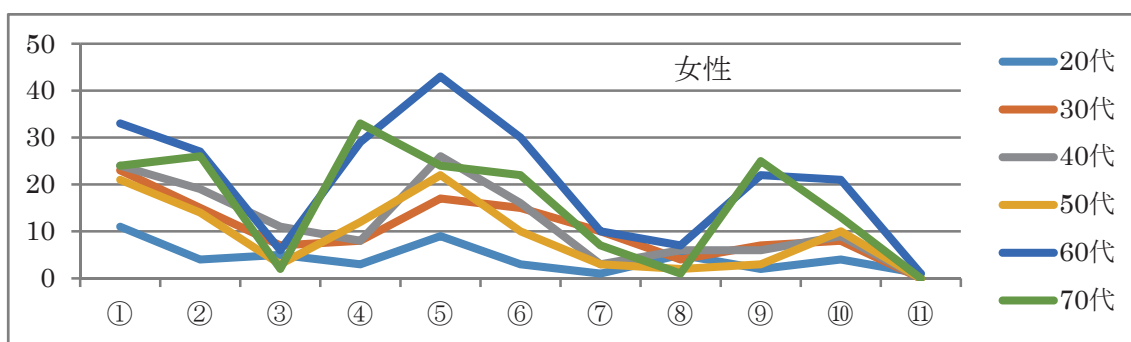
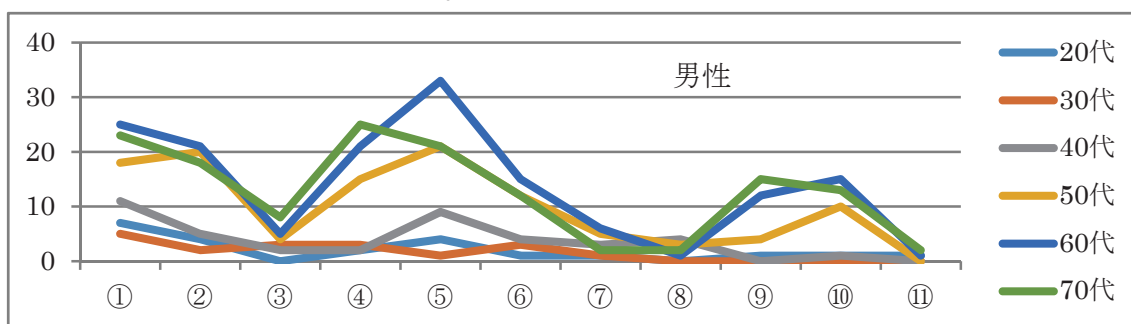
<年代別回収率>

次ページからは、設問に対する回答結果（抜粋）から現状を分析しました。
（グラフ内の数字は件数で複数選択可）

問) あなたは「生涯学習」という言葉に、どのようなイメージをもっていますか。

「①幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと」が全体的に多く、生涯学習のイメージは掴んでいるものと考えられます。

60～70代では「⑤生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする事」「④高齢者の生きがいを充実すること」「⑨健康・体力づくりをする事」の順に多くの回答がありました。



- ①幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと
- ②趣味・教養を高めること
- ③職業上必要な知識・技能を身に付けること
- ④高齢者の生きがいを充実すること
- ⑤生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする事
- ⑥公民館など自治体の講座や教室における学習活動
- ⑦カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室における学習活動
- ⑧学校（大学、専門学校等含む）における学習活動
- ⑨健康・体力づくりをする事
- ⑩地域づくりやボランティアに関する学習活動
- ⑪その他

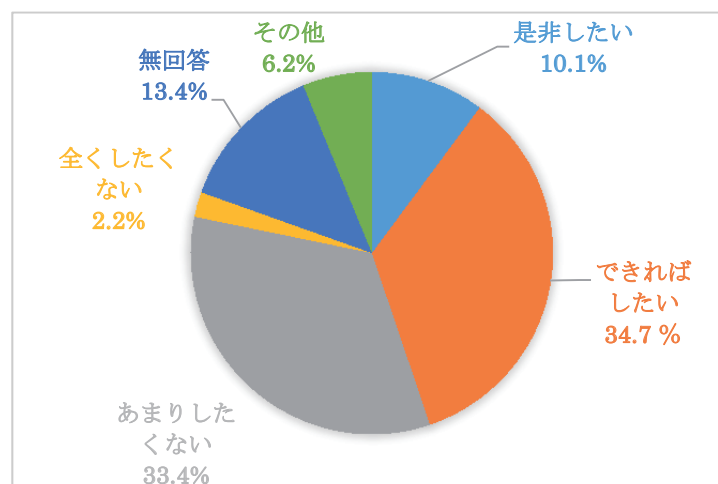
問) あなたは「生涯学習」をするにあたって、どういうところを利用して
いますか。

図書館・公民館・体育館などが約 35%となっていますが、自宅での学習
活動が約 22%となっている所に学習環境の時代の変化が出ているものと考え
られます。

※複数選択可		回答数	割合
1	図書館・公民館・体育館などの社会教育・社会体育施設	161 件	34.5%
2	学校施設（高等・専修・各種学校、大学など）	28 件	6.0%
3	地区の会館・コミュニティーセンター・地域の集会所など	99 件	21.2%
4	民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなど	35 件	7.5%
5	自宅での学習活動（通信教育や書籍、インターネットなど）	101 件	21.6%
6	その他（ボランティア活動、各種講演会への参加 など）	43 件	9.2%
計		467 件	-

問) 今後、あなたの趣味・特技・経験を生かせる場所があれば、役立てたい
と思いますか。

「あまりしたくない」「全くしたくない」を合わせると約 35%となっ
ていますが、「是非したい」「できればしたい」を合わせれば約 44%の人が
何らかの形で場づくりをすることにより、リーダーシップを発揮してくれる
ものと考えられます。



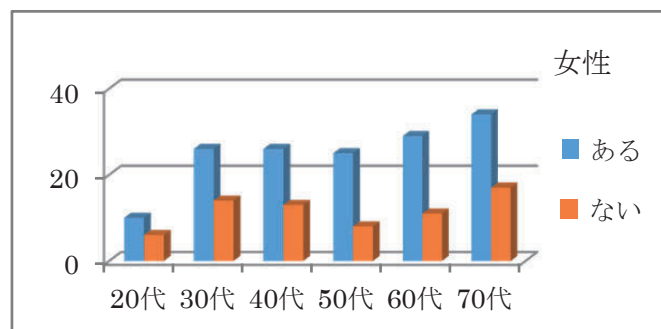
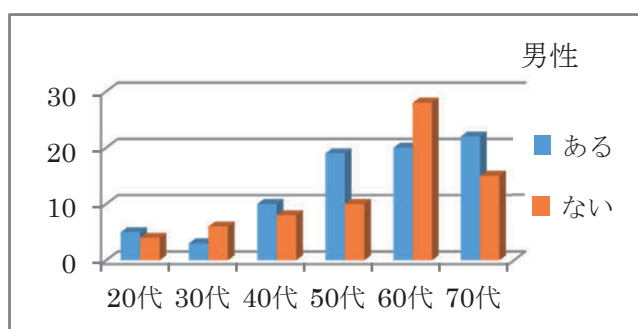
前ページの問いで「是非したい」「できればしたい」と回答した方に「どういう形で役立てたいと考えていますか」の問いに対して、回答したのが以下の表です。公民館での事業・活動を通じて活かして行きたいとの回答が多くみられます。

また、男女別に見ても1、2に多くの回答が見られます。

※複数選択可		回答数	割合
1	公民館における講座・教室、或いは公民館主催活動の協力者として	62件	21.0%
2	公民館で同好者が自主的におこなっている集まり、サークル活動	85件	28.8%
3	公民館で実施している地域ふれあいルームのスタッフとして	36件	12.2%
4	カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間（NPOを含む）の講座や教室	30件	10.2%
5	学校（高等・専修・各種学校、大学）の公開講座や教室	9件	3.1%
6	小・中学校の学校支援ボランティア	38件	12.9%
7	職場の教育・研修	26件	8.8%
8	その他	9件	3.0%
計		295件	-

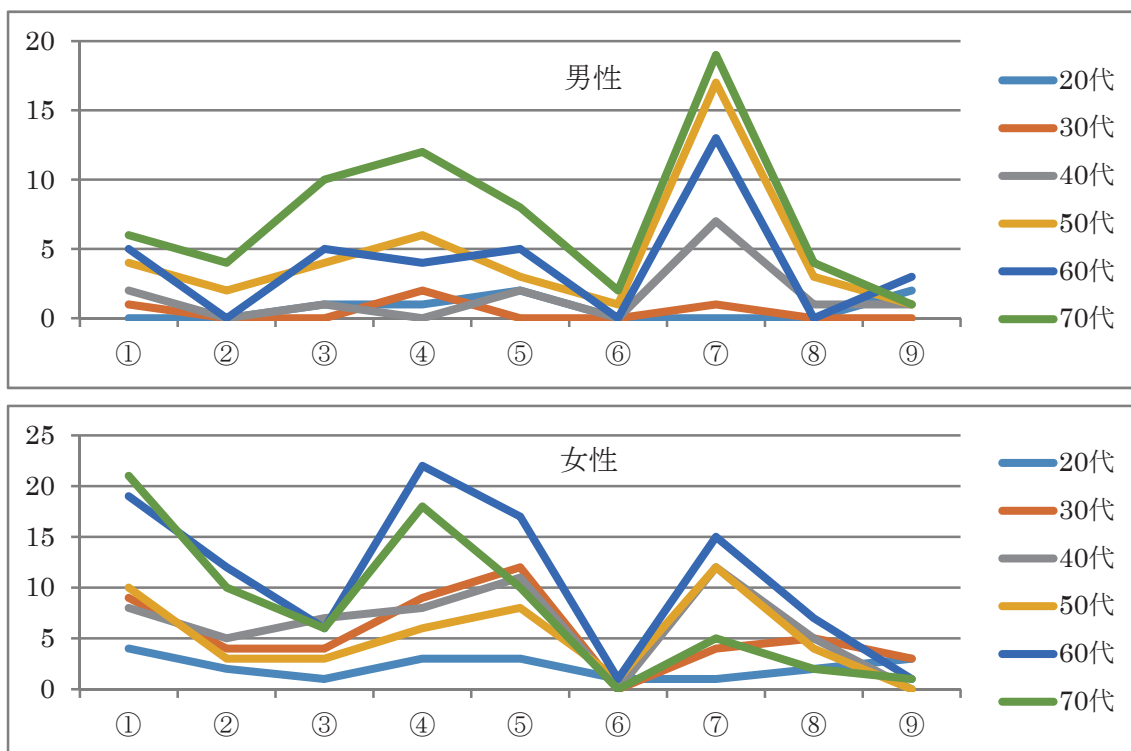
問) あなたは、今までに公民館を利用したことがありますか。

「ある」と回答した件数は229件（全体の約57%）でした。女性は各年代とも「ある」と答えた人が多いものの、男性の60歳代の方に「利用しない」と答えた件数が目立っています。



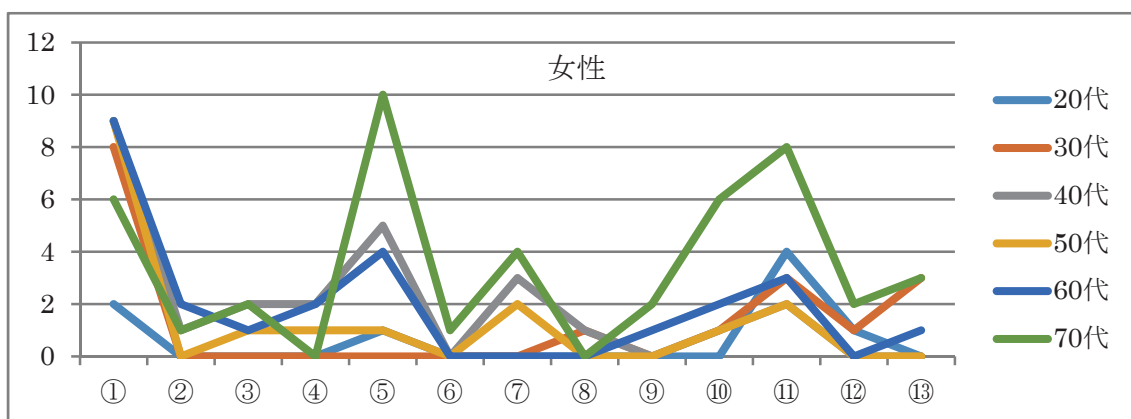
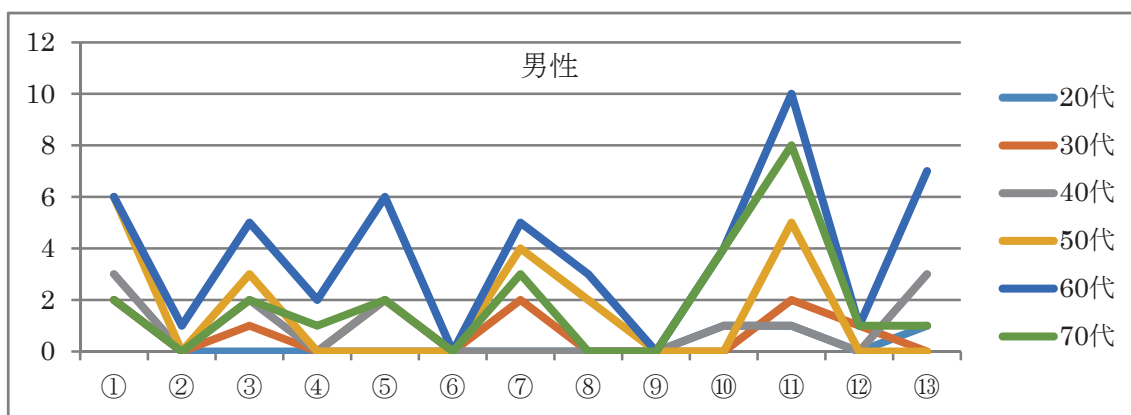
上記の問いで「公民館を利用した事がある」と答えた方で、「どのような活動のために公民館を利用しましたか」に対する回答では、男性と女性で利用目的が分かれています。男性は「⑦自治会関係団体、スポーツ少年団や

P T Aなど各種団体の集会場所として利用した」件数が多いのが特徴である一方、女性は「①趣味のグループや自主活動サークルの場として利用した」「④公民館まつりや文化祭等」「⑤講座や教室などに参加した」など趣味や学びの場で利用されている事がわかります。



- ①趣味のグループや自主活動サークルの場として利用した
- ②自主活動サークルの作品展などの行事に参加した
- ③公民館主催事業（防災講演会・餅つき・ハイキング・日帰りバスツアー等）に参加した
- ④公民館まつりや文化祭等
- ⑤講座や教室などに参加した
- ⑥公民館講座の修了者のグループ活動の場として利用した（自主活動サークル等）
- ⑦自治会関係団体、スポーツ少年団やP T Aなど各種団体の集会場所として利用した
- ⑧地域ふれあいルームのスタッフや保護者として活動に参加した
- ⑨その他

前ページの問いで「公民館を利用したことがない」と答えた人で「今まで公民館を利用しなかった理由」については「①仕事・家事・育児が忙しくて時間がとれないから」という回答が男女とも多くありました。70代女性では「⑤いっしょに参加する仲間がいないから」「⑩公民館での催しの内容を知らなかったから」に回答が寄せられています。男性についても60代、70代の人々が「⑩公民館での催しの内容を知らなかったから」の回答が多く見られました。

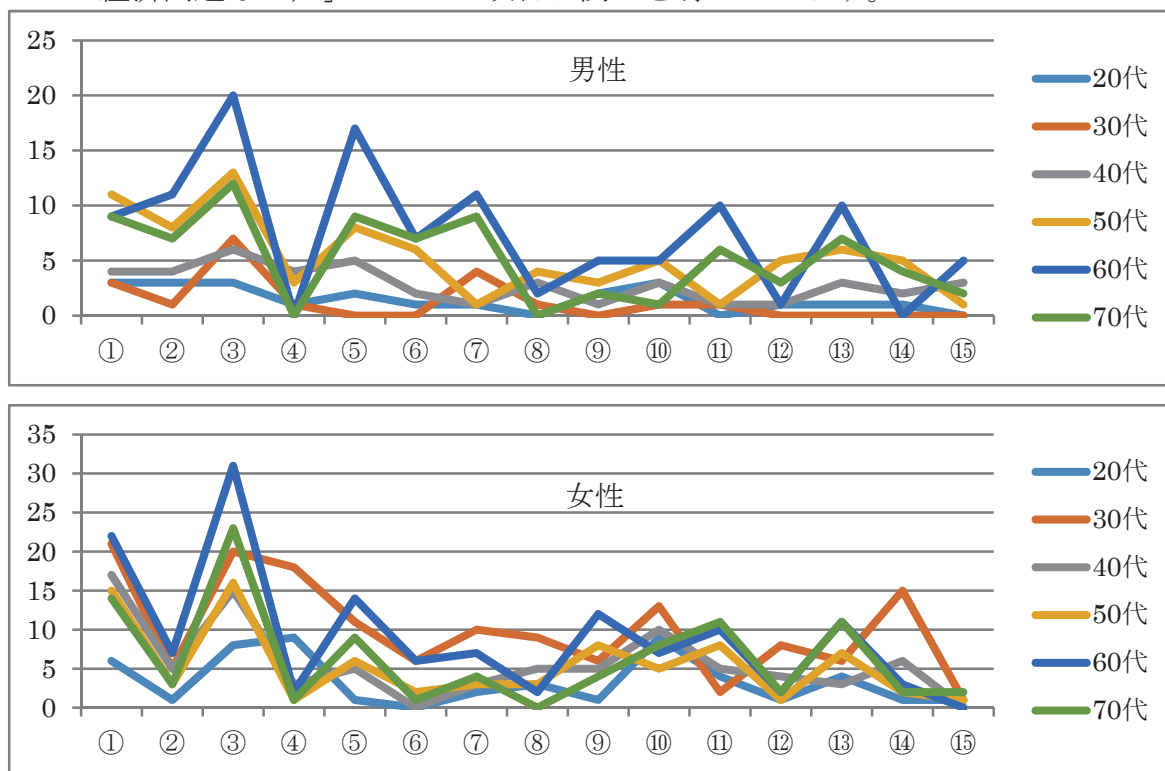


- ①仕事・家事・育児が忙しくて時間がとれないから
- ②学習のための費用（講師への謝礼及び教材費用等）がかかるから
- ③学習機会の情報（内容・場所）が入手できないから
- ④講座や教室（自主活動サークルを含む）などの開設の時間・時期が適当でないから
- ⑤いっしょに参加する仲間がないから
- ⑥指導者や運営の仕方が自分に合わないから
- ⑦自分の希望にあう講座や教室（自主活動サークルを含む）がないから
- ⑧学習内容に魅力がないから
- ⑨参加したい気はあるが、家族や職場などの周囲の理解が得られないから
- ⑩人前に行くのがおっくうだから
- ⑪公民館での催しの内容を知らなかったから
- ⑫公民館の存在を知らなかったから
- ⑬その他

問) 今後、公民館でどのような活動があれば、公民館を利用してみようと思いますか。

男女とも「③健康づくり（スポーツ・健康・栄養など）」に興味があることが伺えます。30代女性では、子育てや学校教育と連携した取り組みと

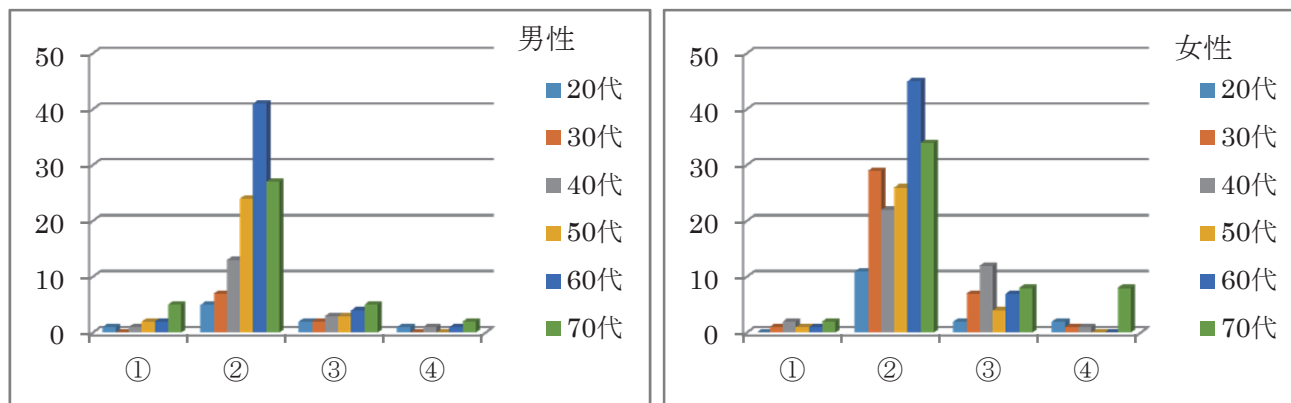
いった教育関連に興味を持たれていることが分かります。また、60代男性では、「⑤社会問題的なもの（地震・防災問題、地域課題、環境問題、時事・経済問題など）」といった項目に関心を寄せています。



- ① 趣味的なもの（音楽・美術・書道など）
- ② 教養的なもの（文学・歴史・教育・人の生き方など）
- ③ 健康づくり（スポーツ・健康・栄養など）
- ④ 子育て・教育に関するもの（家庭教育・子育て支援など）
- ⑤ 社会問題的なもの（地震・防災問題、地域課題、環境問題、時事・経済問題など）
- ⑥ 地域の課題解決につなげるための勉強会的なもの
- ⑦ 社会で生きて行く上で、必要な知識を得られるもの（消費者問題・詐欺にあわないための知識・裁判員制度・税のしくみなど）
- ⑧ 職業能力向上につながるもの（仕事に関する知識や技術など）
- ⑨ ボランティア活動に必要な知識や技能に関するもの（手話・介護など）
- ⑩ 餅つき・昔遊び（竹馬・竹とんぼ）・盆踊り・夏まつり等地域の皆で楽しめる参加型イベント
- ⑪ 日帰りバスツアー・歩こう会等レクリエーション的なイベント
- ⑫ 小学生や中学生と交流できるようなイベント
- ⑬ 地域の老若男女が集えるような催し
- ⑭ 学校教育と連携した取り組み
- ⑮ その他

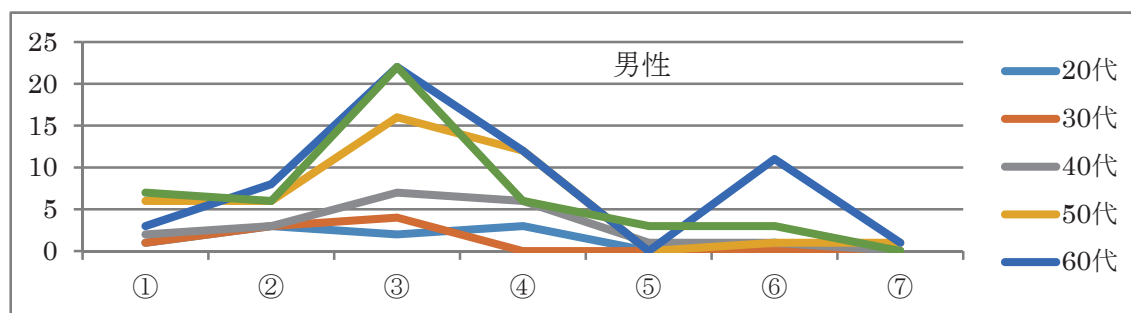
問) あなたは、公民館から協力を求められたらどうしますか

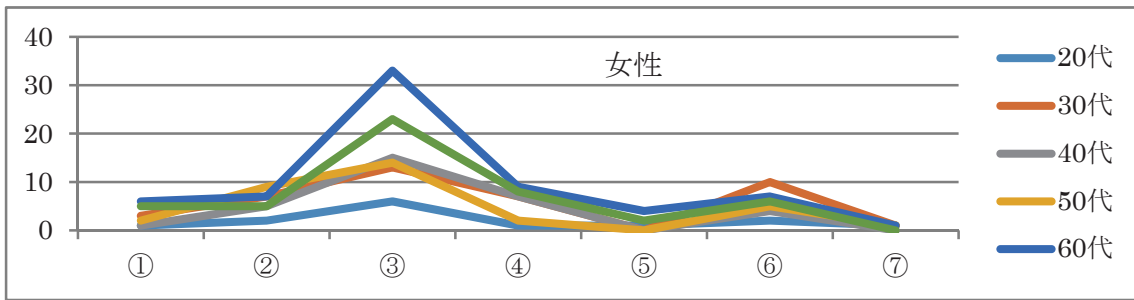
「①喜んで協力する」と「②できる範囲で協力する」を合わせると、全体の75% (302件) を占めています。



- ①喜んで協力する (4.5%)
- ②できる範囲で協力する (70.3%)
- ③あまり協力したくない (14.6%)
- ④協力しない (4.2%)
- ⑤無回答 (6.4%)

上記の問いで①②に回答した人に「協力する理由を教えてください」と質問したところ、以下のグラフから、「③地域の一員として、地域の人々と何らかの形につながってほしいから」と答えた方が多く、反面、「あまり協力したくない」「協力しない」に回答した人は少ないものの「協力できない理由」として、「時間的に余裕がない」「体力的に自信がない」と答えた方が全体の62.2% (79件) を占めていました。また、「公民館に興味・関心がないから」と答えた件数が14.2% (18件) あった事は今後の課題となると思われます。

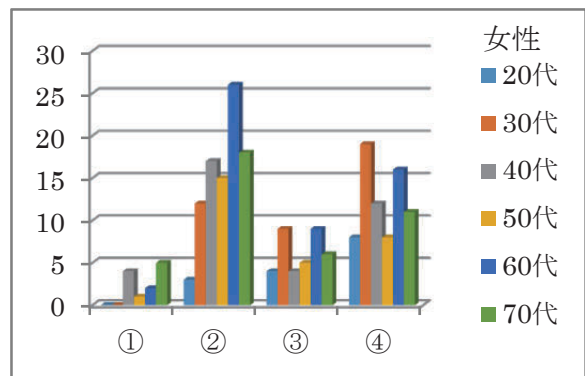
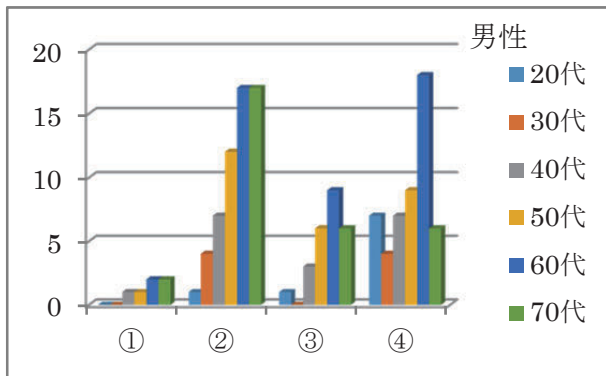




- ①地域に恩返しをしたいから
- ②自分の持っている特技や経験を地域のために役立てたいから
- ③地域の一員として、地域の人々と何らかの形でつながってみたいから
- ④地域の課題を解決できるよう、自分にできることをしたいから
- ⑤公民館が好きだから
- ⑥何となく
- ⑦その他

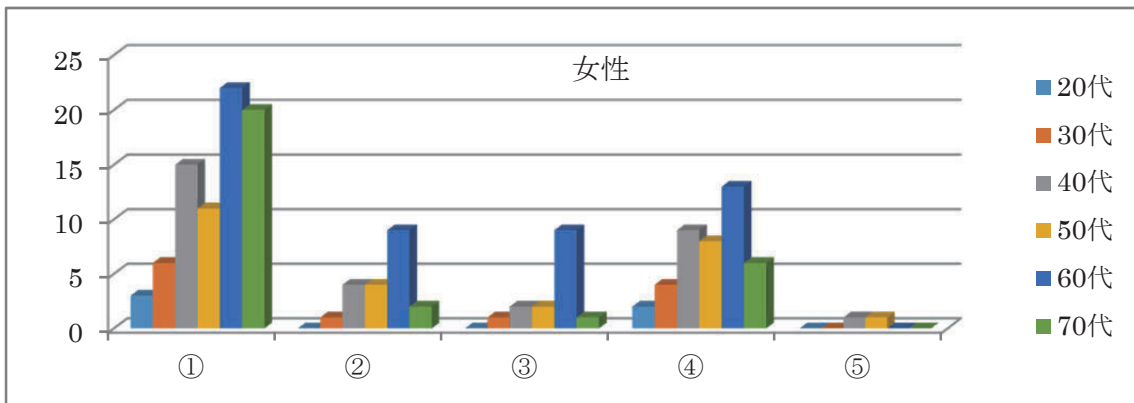
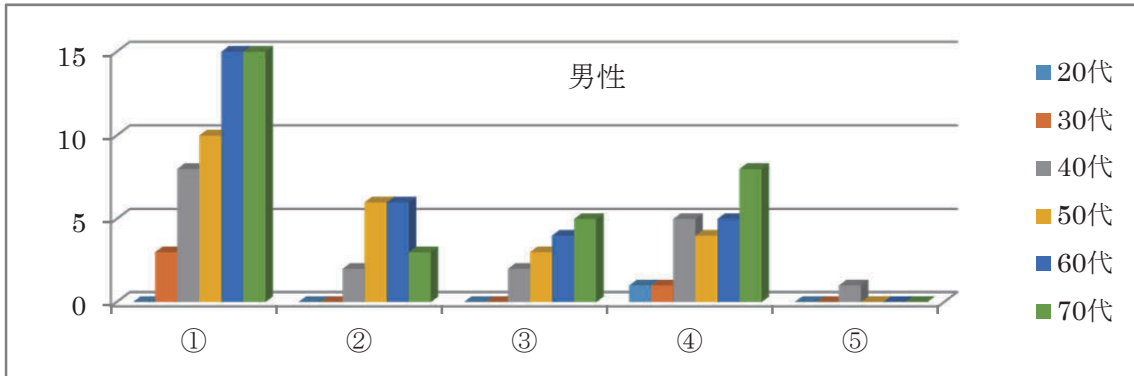
問) あなたは、公民館が地域づくりや地域課題の解決に、役割を果たしていると思いますか。

「①大いに果たしている」「②役割を果たしている」が全体の41.4% (167件) を占めており、公民館活動での理解がされているものと考えられます。



- ①大いに役割を果たしている (4.5%)
- ②役割を果たしている (36.9%)
- ③役割は果たしていない (15.4%)
- ④どちらとも言えない (30.9%)
- ⑤無回答 (12.3%)

また、「どういう点で、地域づくりや地域課題の解決に役割を果たしているとお考えですか」との問いに対しては、「①地域の人達がよく公民館へ集まり、人と人をつなげる役割を果たしているから」が男女とも多く、次に「④地域ふれあいルームで、地域の未来を担う小学生児童の健全育成に努めているから」となっています。地域に根差した活動、地域の繋がりづくりといった公民館の位置づけも理解されていることが伺えます。

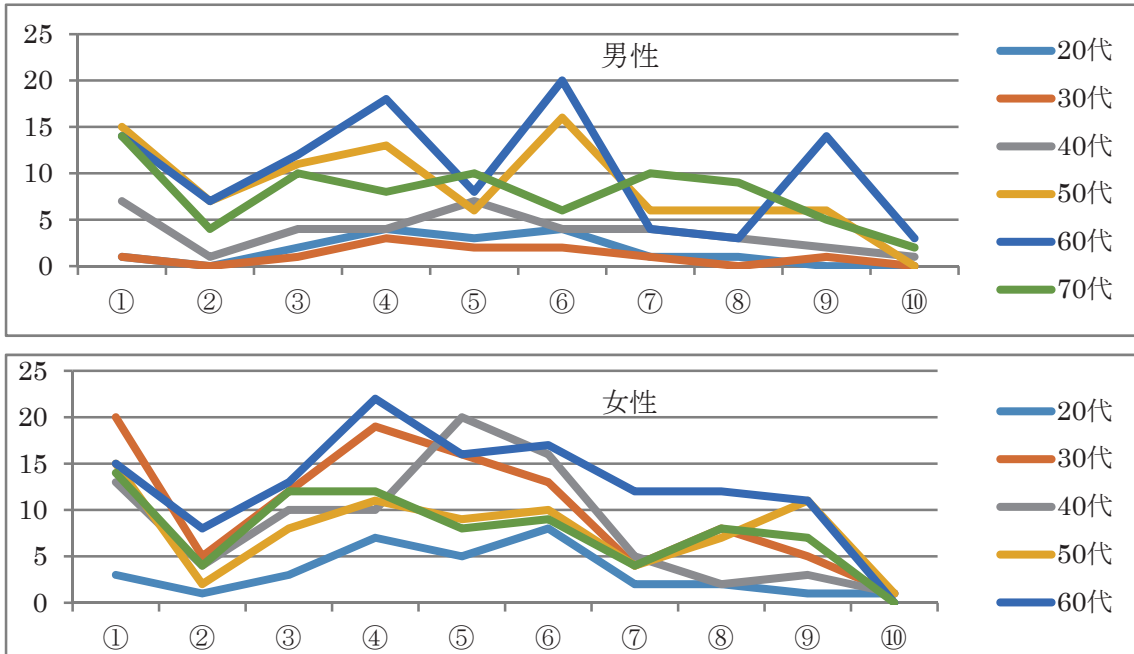


- ①地域の人達がよく公民館へ集まり、人と人をつなげる役割を果たしているから
- ②地域の課題解決につながるような学習機会を提供しているから
- ③地域を支援してくれる人材の育成や人材の活用支援を行っているから
- ④地域ふれあいルームで、地域の未来を担う小学生児童の健全育成に努めているから
- ⑤その他

問) あなたは、今後公民館をより一層充実したものにしていくために、有田市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

全体的に「①公民館などにおけるサービスを充実すること」「④公民館に関する情報を得やすくすること」「⑤子どもの心豊かな育ちに関わって、学校・家庭・地域(公民館)との連携や協力体制を構築すること」「⑥住民のニー

ズや満足度などをしっかりと把握し、活動に反映していくこと」の回答に集中しているのが伺えます。今後の公民館事業・活動を見直すヒントになっているものと考えられます。



- ①公民館などにおけるサービスを充実すること（講座や教室の充実、開館時間の拡大、公民館同士の連携など）
- ②公民館職員の研修を積極的に推進し、専門性を高めること
- ③公民館を支援してくれる地域の人材を育成すること
- ④公民館に関する情報を得やすくすること
- ⑤子どもの心豊かな育ちに関わって、学校・家庭・地域(公民館)との連携や協力体制を構築すること
- ⑥住民のニーズや満足度などをしっかりと把握し、活動に反映していくこと
- ⑦社会教育関係団体、青少年育成会等のボランティア活動を活発にさせ、その活動を支援すること
- ⑧公民館に自分の趣味・特技・経験を生かせる場を積極的に提供すること
- ⑨生涯学習や公民館活動に関する予算を増やすこと
- ⑩その他

【アンケート自由意見】

アンケートの自由意見記入欄には 74 件の記入があり、その中で主だった意見は下記のとおりです。特に公民館に関する意見が多く寄せられ、社会教育施設としての公民館の重要性が伺えます。

また、情報発信に対する要望も多数見受けられることから、それぞれの年齢層に合った情報発信の工夫の必要性が考えられます。

- 現在、子どもが小さいため、仕事・家事・育児と毎日の生活をするのが精いっぱい自分の時間がありません。生涯学習まで手がいかないのが現状ですが、子育てが落ち着き、時間の余裕ができれば積極的にしたいと考えています。(20代女性)
- 色々な企画を考えてくれていて毎回楽しめる。公民館の人みんな優しくて市民のために一生懸命。(20代女性)
- 公民館活動に積極的に参加することは有意義なことだと思う。働いている人や地元出身でない人でも親しみやすい開かれた公民館であってほしい。(30代女性)
- 公民館ではいろいろな活動をしていてくれると思います。しかし、利用している人は限られているように思うので、子どもから大人まで誰でもできる活動をする、地域の一員として地域の人々と何らかの形で繋がることが出来て、有田市が活性化できると思う。(30代女性)
- 有田市の生涯学習について、すべてを把握していませんが何かと関係する機会があり、いつもお世話になっております。(スポーツや子どもを通じて) 今後も積極的な取り組みに期待しております。(40代男性)
- 取り組みについての情報が少なすぎると思います。利用できているのは一部の方ばかりで市民全体には至っていません。もっと公平にサービスを受けられる様にしたほうが良いと思います。(40代女性)
- 市民の方々も意見・要望など提供し、公民館での活用に積極的に働きかけていく事も大切だと考えます。(40代女性)

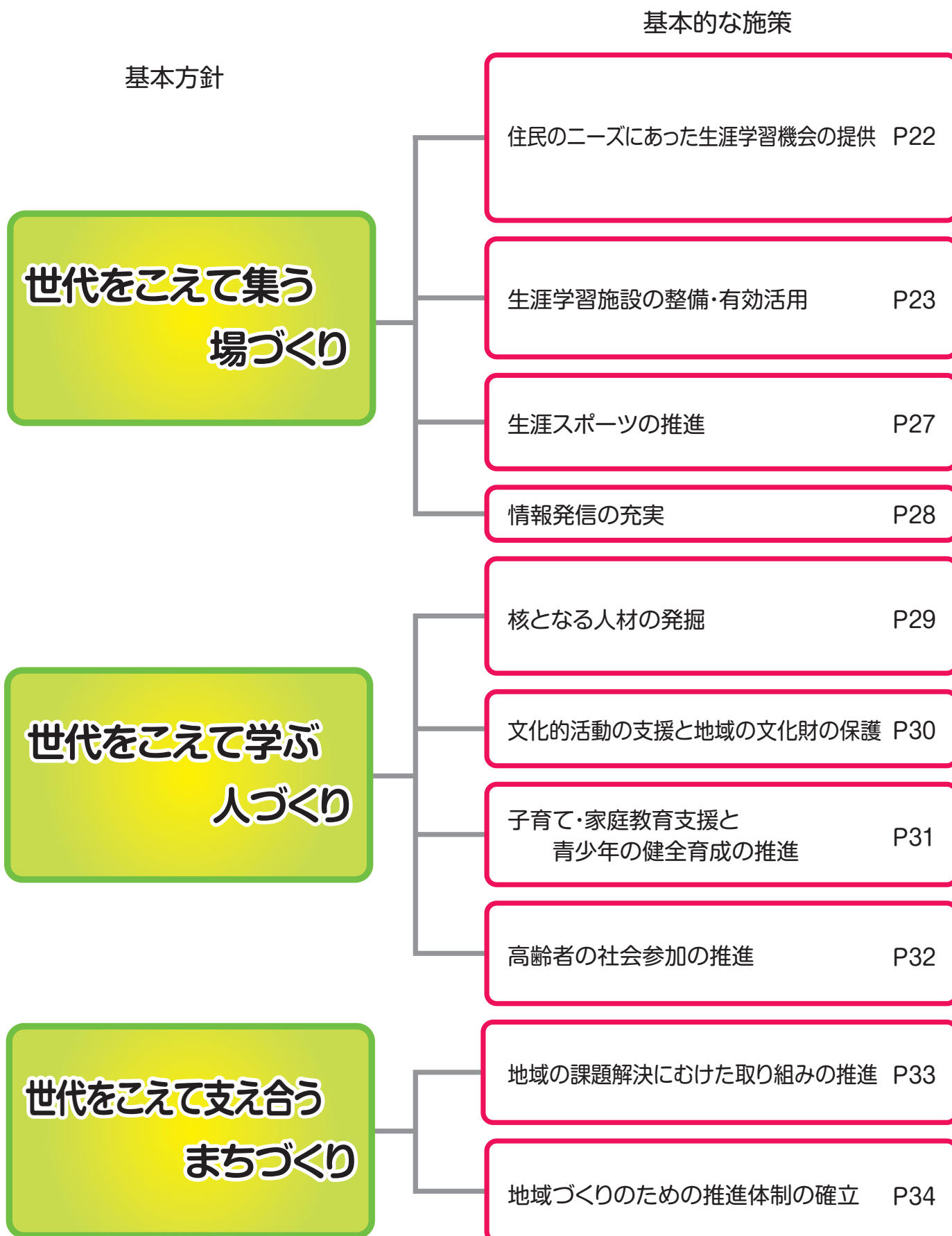
- 公民館活動に更なる充実を計っていただきたい。(50代男性)
- 案外知らない人が多いと思います。広報やネットを見る人は一部で、やはり、まだ田舎の部類で老人や子どもも多いので人の話や、繋がりで知らせる方が、効果が大きいと思う。(50代男性)
- 高齢者の認知予防策として、公民館集いの場として空間を設ける。そこに小学生～大人まで出入りできるような催しがあれば。(50代女性)
- 今の活動に新鮮さを感じない。人を引き付けるものにしないとマンネリ化になるだけ。「オッ」と思わせるものが必要。(60代男性)
- 公民館はどういう仕事をするのか分からない。老人と小学生との交流(課外授業)として何ヶ月に一回、教室において老人が昔の言葉や品物の呼び方など、忘れ行く言葉など話すのもよいのでは。(60代男性)
- 有田市が実施している活動内容を積極的にPRして欲しい。(60代男性)
- 公民館は地域をつなぐところだと思うので大勢の人が活用出来たら。(60代女性)
- 私は時間に余裕が出来たので地元やほかの公民館も利用させてもらって、色々のサークルで楽しんでもらっています。お金もあまりかからず助かっています。公民館に足を運ばない人は内容や情報も知らない人が多いです。体験の場を作ってください。(60代女性)
- 気軽に公民館に出入りできるようにしてほしい。(60代女性)
- 老後についての講演を多くしてほしい(60代女性)
- ちょっとしたサービスをつけると、快く協力できると思います。(60代女性)
- 市の公民館講座の一覧があれば地域の情報が得られ、地域から市としての広がりが出て、有田市民の交流の輪が広がる一助となるのでは？何より公民館の連携が大切。(60代女性)

- 住人の人口に対して公民館を利用する人が少ない気がします。高齢化が進む中、もっと公民館を活用できることを望んでいます。利用しやすい扉をよろしく。(60代女性)
- 高齢者の生きがいを充実する活動に取り組んでもらいたい。(60代女性)
- 体操でみんなと会えて楽しい時間をすごしています。「健康」のお話もいい勉強になります!! (70代女性)
- 難しいことかもしれませんが、地域に入って生の声を聞き、取り組みを組み替えたてることが大事だと思います。老齢になればなる程、つながりが切れていきます。まして身体が動かなくなると意欲も薄らいでいきます。一人一人を大事にする取り組みが必要かと思うのですが。(70代女性)
- 熱心すぎて数多くの講座に参加して、どっちつかずにならないかと思いますが、クラスメイトとの交流も楽しく、継続につながり人の輪を実感します。公民館の職員、先生方、とても親切丁寧です。今後とも、よろしくお願いします。(70代女性)

第2節 生涯学習アンケート結果から見える課題

- ① 「生涯学習」については、「生涯を通じて学ぶこと」と理解されています。また、「生活を楽しみ心豊かにする活動」、「高齢者の生きがいを充実させる」といった項目が多くみられました。
- ② 生涯学習の利用場所として、男性では自宅での学習が多く、その中で趣味や特技、経験を活かせる場所があれば役立てたいと答えた人に、50代から70代の男性が多くを占めていました。今後の公民館事業、活動の場に生かせるヒントがあると考えられます。ただ、「あまりしたくない。全くしたくない。」との回答が半数近く占めているのが懸念され、今後の新たな活動の発掘に繋げる必要があります。
- ③ 学習環境の変化に伴い、自宅での学習活動（通信教育や書籍、インターネットなど）も多様化してきている傾向にあります。地域で趣味、特技、経験を活かせる場所があれば、このような人材こそ得意分野を役立てて、地域で活躍することができると考えられます。
- ④ 子育て世代で子育てサークル等に参加している時期が終われば、時間がない等、公民館活動に消極的になっています。この年代が継続して活動できる内容や場をつくる事が大切です。
- ⑤ 公民館や市からの情報提供の工夫が必要であるといえます。
- ⑥ 公民館の果たす役割、貢献等について理解されているものの、公民館に興味・関心がないといった回答も約14%あり、関心度を増す事業・活動も検討しなければならないといえます。
- ⑦ 公民館をより一層、充実したものにするため力を入れるべきこととして「学校・家庭・地域(公民館)との連携や協力体制を構築すること」との意見もあり、地域での交流や学校関係者との連携が必要であるといえます。
- ⑧ 余暇の過ごし方、学習機会の多様化、情報入手方法等、環境が著しく変化している中においては、住民のニーズや満足度などをしっかりと把握できるしくみと体制が必要です。
- ⑨ 「公民館から協力を求められたらどうしますか」という問いで「地域の一員として、地域の人々と何らかの形でつながってきたいから」との回答にみられるとおり、地域との関わり方に工夫が出来れば地域の活性化に繋がるものと考えられます。

第4章 基本的な施策



第1節 世代をこえて集う 場づくり

第1項 住民のニーズにあった生涯学習機会の提供

【現状と課題】

住民の学習ニーズが多様化・高度化する現在、様々な分野での学習意欲の高まりとともに、いきいきと自分らしく生きたいという願いを実現するために、ライフステージに応じた幅広い学習機会の提供が求められています。有田市では、公民館、図書館、郷土資料館などの文化施設や体育館、総合運動公園などのスポーツ施設において、各種の講座、教室を開催しています。

これからの学習機会の提供は、地域住民の生活課題及び学習ニーズを的確に把握し、地域に潜在する学習資源を活用しながら、誰でも・どこでも・いつでも学べるよう、様々な学習の機会へ導くことが必要です。

【具体的な取り組み】

- ① 人が成長する各段階において「学び」を自由に選択・体験・参加できるよう、ライフステージに応じた学習機会の提供に努めます。
また、各地域、各世代が抱える課題やニーズを的確に捉え、幅広い分野にわたる学習機会の提供を図ります。
- ② 芸術、文化活動の向上を推進し、子どもから大人まで感受性を養う情操教育の充実に努めます。
- ③ 安心・安全な暮らしを守るため、公民館が地域の拠点となり防災学習等の機会の提供に努め、地域全体での防災知識の共有を図ります。
- ④ 趣味、教養講座のほか、健康づくりに対する取り組み、学校教育と連携した取り組みなど、公民館における講座・教室等の充実に努めます。

第2項 生涯学習施設の整備・有効活用

1 《 公民館 》

【現状と課題】

有田市の公民館は旧字単位に8館、独立並列館として設置されており、地域住民にとってもっとも身近な学習の場となっています。また、地域の人と人をつなぐ交流の場として、地域コミュニティの拠点となり地域のつながり作りを重視した事業を行っています。特に各公民館職員が計画・実施している自主事業では、「地域づくり」「子育て・家庭教育支援」「高齢者の仲間づくり」を目的とした教室やイベントを開いており、職員それぞれが地域の特色を生かした事業に取り組んでいます。

施設としては昭和40年代に建設されているために、老朽化が進んでいるのが現状です。今後も市民が安全、快適に施設を利用させていただくために改修・修繕等を実施していく必要があります、施設の維持・管理について検討していく課題が多くあります。

公民館では様々な講座やサークル活動のほか、イベントなどが行われていますが、公民館活動について地域の人たちによく知られていない現状がアンケートにも現れています。今後はより一層の情報周知に努め、利用者の年齢層や男性利用者の拡大を図り、若い世代との関わりや新規利用者の参加を促す必要があります。

【具体的な取り組み】

- ① 利用者が安全で安心して利用できるよう、老朽箇所などの修繕を行います。
- ② 市広報や公民館だよりなどに加え、ホームページなど、広報の手段や内容を充実させることで、公民館活動等に関する情報提供に努めます。
- ③ 公民館事業の内容の向上を図るため、各公民館の横の繋がりを深めて、公民館職員を対象とした学習会や研修会を充実させることに努めます。
- ④ 誰でも気軽に出入りできる公民館としての環境づくりに努め、新規利用者の参加を促進する事業を積極的に実施します。また、地域における文化活動の充実や、地域の課題解決をめざした講座やサークルの開催に努めます。

2 《 図書館 》

【現状と課題】

図書館では、住民の自主的な学習要望である「知りたい」「学びたい」をハード・ソフト両面から支援しています。

特に、乳幼児期から図書館を身近な存在として利用できるよう、親子対象の企画の開催にも努めています。

また、小中学生に対しては、学校図書館での読書推進を目的とし、学校図書館へ有田市図書館の図書をまとめて届ける「配本サービス」を平成 24 年度から実施しています。

しかしながら、現在の図書館は開館から 25 年が経過し、資料の増加により、開架及び資料保管スペースの狭隘化が進み、図書館としての機能発揮に限界が生じてきています。

そのため、有田市では平成 29 年 4 月の開館を目指し、新図書館を建設します。

【具体的な取り組み】

- ① 様々な機会を利用し、親子での図書館利用の呼び掛けに努めます。
- ② 小学生・中学生に対し、図書館利用を促す P R を積極的に実施します。
- ③ 子どもの読書活動を推進するため、児童図書及び中高校生も利用しやすい図書の購入を強化します。
- ④ 新図書館では、人を大切にして、誰もが利用しやすく、毎日の生活や人生のステップアップに役立ち、暮らしを高める図書館を目指します。
- ⑤ 新図書館では、まちの自然や文化・歴史など地域の様々な情報を集積・提供し、市民の自発的で自立したまちづくりの力を生み出す図書館を目指します。

3 《 郷土資料館 》

【現状と課題】

有田市郷土資料館は、平成元年に開館し、これまで特別展の開催や常設展を行い、市内外の方々に利用されてきました。

今後も、展示物の充実や積極的な広報活動により、多くの人々に有田の歴史を知ってもらい、文化財への理解と郷土への愛着を育む施設にしていく必要があります。

【具体的な取り組み】

- ① 特別展の開催や常設展の展示物入れ替え等を行い、魅力ある施設になるよう努めます。
- ② 地域の歴史や文化への理解と愛着を深められるよう、子どもを対象にした体験教室を実施します。
- ③ 歴史や文化が身近に感じられるよう、展示方法の工夫に努めます。

4 《 体育施設等 》

【現状と課題】

市内には、ふるさとの川総合公園内運動施設、市民体育館、市民球場、市民水泳場などの体育施設があり、市民を初め、県外の方々にも利用されています。また、各小中学校の体育館及びグラウンドも、これらの施設を補完し、利用されています。

しかし、それぞれの施設は老朽化が進んでおり、水泳場については新水泳場の建設が決定しているものの、その他の施設については、今後も市民が安全、快適に施設を利用していくために、改修や修繕等を実施していく必要があります。

【具体的な取り組み】

- ① 誰もが安全、快適に利用できるよう、施設整備に努めます。
- ② 身近な体育施設として、市内の小中学校施設を開放します。

第3項 生涯スポーツの推進

【現状と課題】

スポーツは、競技としてだけでなく、体力の向上や、精神的なストレスの発散、生活習慣病の予防など、心身の両面にわたり効果をもたらします。近年では急速な高齢化に伴い、日頃から身近にスポーツに親しむことが必要となってきています。

有田市では、生涯スポーツへの参加を促進するため、市民総合スポーツ大会、スポーツ教室などを開催し、幅広い年齢層の人々にスポーツの機会を提供しています。

また、市内に複数ある総合型地域スポーツクラブ^(注1)は、子どもから高齢者まで、誰もがそれぞれの体力や年齢、技術などに応じてスポーツに親しむことができるスポーツ機会として、その役割は重要です。

【具体的な取り組み】

- ① 幅広い年齢層の人々が、一人でも多く参加できるスポーツイベントの開催に努めます。
- ② 多くの市民が参加できるよう、総合型地域スポーツクラブの活動を支援します。
- ③ 各種スポーツを通じて世代間の交流を推進するとともに、年齢層に合った健康増進につなげられるよう、スポーツ環境の整備に努めます。

(注1) 総合型地域スポーツクラブ

地域の人々が、身近にスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブ。子どもから高齢者まで(多世代)、様々なスポーツを愛好する人々が(多種目)、初心者からトップレベルまでそれぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)という特徴を持ち、その運営も地域住民により自主的・主体的に行われているスポーツクラブのこと。

第4項 情報発信の充実

【現状と課題】

有田市では、生涯学習活動について市民に広く知っていただき、また各活動への参加を促進するため、市広報紙及び各戸へのチラシの配布等で情報提供を行っています。

今後は、社会の急速な情報化から、インターネットを通じて情報を取得することが一般化している現状も踏まえ、従来の市広報紙やチラシ配布等の紙媒体を通じた広報活動のみならず、ホームページや各種^(注1)ソーシャルネットワークサービス、^(注2)メールマガジン等の媒体の活用も必要不可欠です。

また、インターネット等を利用しない市民への情報提供の方法も検討する必要があります。

【具体的な取り組み】

従来の市広報紙、チラシ配布等の手段に加え、インターネットを利用した情報発信を積極的に実施します。

また、各公共施設等への情報提供も行い、より多くの市民が認知できるよう努めます。

加えて、市内生涯学習活動のみならず、県内の情報も広く収集及び提供することで、市民の様々な学習活動への参加を促進します。

(注1) ソーシャルネットワークサービス

個人間のコミュニケーションを促進し、社会的なネットワークの構築を支援する、インターネットを利用したサービスのこと。

(注2) メールマガジン

発行者が購読者に定期的にメールで情報を届けるシステムのこと。

第2節 世代をこえて学ぶ 人づくり

第1項 核となる人材の発掘

【現状と課題】

地域の生涯学習活動を活性化させていくためには、リーダーや指導者の育成と活用が求められます。公民館や体育施設などでは、音楽や文化、スポーツをはじめ様々な学習をしている市民が多く、サークル活動などを通じて継続的に学習活動が展開されています。

しかし、地域にはまだまだ豊富な知識や技能をもった方々がおられます。

このような様々な能力を持った市民は市の財産であり、このような市民を発掘し、活動の場をつくる必要があります。また、生涯学習の振興を支える様々な分野のボランティアの確保と活用・育成を積極的に進める必要があります。

【具体的な取り組み】

- ① 地域における世代を超えた学習・交流を通じて、リーダー的人材の育成に努めます。
- ② 地域の課題解決に向け、自分たちの地域を守り、支え、育てる人材の登用を図ります。
- ③ 地域の一芸名人などの人材登録制度の整備に努めます。
- ④ 地域の歴史や文化活動等の普及に取り組み、継承者となる若者の育成に努めます。
- ⑤ 生涯学習についてのボランティア活動をしたい方を積極的に支援します。

第2項 文化的活動の支援と地域の文化財の保護

【現状と課題】

有田市では文化祭、美術展、芸能大会、各公民館の作品展・文化展など多くの文化的イベントが開催されてきました。また、多くの文化サークルが各自で活動を行い、中にはオレンジコンサートなどのように、複数の文化サークルが自主的に集まり開催している大規模なイベントもあります。

今後は、身近な伝統文化を保存伝承し、愛郷心と郷土への誇りを育み、有田地域に根ざした芸術文化活動を活性化することが求められています。

また、有田市は伝統的な行事や郷土芸能が受け継がれている他、重要文化財の建造物や仏像が多数あります。加えて、市内は熊野古道の紀伊路が通っており、古来より多くの人々が往来した地でもあります。

これらの貴重な文化財を次世代に残し、地域の財産として大切に保護し活用するため、郷土への愛着を生み出す事業を積極的に行っていく必要があります。

【具体的な取り組み】

- ① 市民が芸術文化活動を自主的に進められるよう、学習成果の発表や、優れた芸術文化に触れる機会の提供を行います。
- ② 郷土を愛する心を育むため、講演会及び講座を開催します。また小中学生向けに市内の埋蔵文化財等を用いた出前講座の開催に努めます。
- ③ 郷土の文化遺産を適切に保護し、市民の財産として活用していきます。また、発掘調査、所蔵資料調査等を実施し、記録保全に努めます。
- ④ 必要に応じ、文化財指定を行い、適切に保全していくように努めます。
- ⑤ 市内の貴重な文化財を保護していく上で生じる修繕などに対し、補助するなどの支援を行います。

第3項 子育て・家庭教育支援と青少年の健全育成の推進

【現状と課題】

将来を担う子ども達が成長するうえで、家庭は大きな影響を及ぼします。

近年、ニート、引きこもり、不登校など、青少年を取り巻く状況は深刻化しています。また、核家族化の進行により、子育て不安を抱える家庭が増加し、家庭内での児童虐待に発展するケースも少なくありません。

また、地域社会においても伝統行事などの異世代間の交流機会が減少し、地域での繋がりが希薄化しています。このような状況において、子ども達の健全な育成を、家庭のみならず、地域社会全体で支援していく必要があります。

子どもは日本の未来を担う「社会の宝」であり、健全な成長が図られるよう、子育てを社会全体で支援する体制と、子育て不安の解消や家庭の教育力を高めるため、家庭教育に関する学習機会や相談体制を充実させる必要があります。

【具体的な取り組み】

- ① 公民館等を拠点とした家庭支援・育児支援講座の開催に努めます。
- ② 家庭、保育所、学校、企業、青少年等の育成に関わる地域の団体との連携を密にとるよう努めます。
- ③ 次代を担う青少年のリーダーを育成するために、各種研修会の開催に努めます。
- ④ 伝統行事への参加を通して、地域とのコミュニケーションを図り、社会と積極的に関わる人間として成長するよう支援します。

第4項 高齢者の社会参加の推進

【現状と課題】

有田市では、65歳以上の高齢化率が平成27年4月に30%となり、超高齢社会を迎えています。一方で高齢期を迎えても、心身ともに健康で豊かな生活を送っておられる方も多く、高齢者は地域づくりの重要な人材です。

趣味・教養に時間を費やすだけでなく、これまでの経験を社会参加・地域貢献に生かしてもらえよう、地域活動の拠点である公民館の活性化支援や地域のリーダーとして自発的に活動できる支援など高齢期の学びと社会参加を促進することが必要です。

【具体的な取り組み】

- ① 高齢者の生きがい、健康増進のための学習機会や、社会参加の機会の充実に努め、学ぶ立場と指導する立場の両面での活動を支援します。
- ② 長年培ってきた技能や知識を地域に還元したいという意欲のある高齢者に対し、地域活動のリーダーとして自主的な活動ができるよう支援します。
- ③ 地域の高齢者が孤立することのないよう、公民館へ来て新しい仲間を作れるような取り組みに努め、高齢者を対象とした教養講座やイベント事業の充実を目指します。

第3節 世代をこえて支え合う まちづくり

第1項 地域の課題解決に向けた取り組みの推進

【現状と課題】

急激に社会情勢が変化している昨今、様々な地域課題解決に対し、個人で取り組むのではなく、地域が一体となって取り組んでいく必要があります。

また、地域住民が日頃から地域課題に対し共通認識を持つとともに、住民同士がつながりを強めておくことは、先の東日本大震災でも重要性が再認識されているように、災害時などの共助の基盤作りに繋がります。

有田市の各公民館においても、各サークルの自主的な活動の場としての利用のみならず、豊かな生活を送るための各種講座、地域住民の交流促進のための意見交換会、地域課題に密接に係わるような防災講座など、地域の特性に応じた公民館主催事業の実施に取り組んでいます。

今後も、実施講座の充実にとどまらず、地域住民自身が、自主的に地域課題に対して学習活動や課題解決に取り組む拠点としての機能を初め、教育委員会及び公民館職員が地域課題を把握し、地域づくりのコーディネーターを行う場としての機能を、公民館が果たしていく必要があります。

【具体的な取り組み】

- ① 学習成果を地域社会へ還元出来るよう、人材情報の共有及び活用機会の提供に努めます。
- ② 防災学習の積極的な実施と、地域での共助体制の構築を支援します。
- ③ 関係団体と連携し、地域の人権問題の把握及び人権学習会の実施に努めます。

第2項 地域づくりのための推進体制の確立

【現状と課題】

地域づくりを進めていくためには、行政による取り組みだけでは不十分であり、地域住民による自主的・自立的な地域活動が必要不可欠です。

有田市においても、自治会や育成会、婦人会などの市民団体が地域づくりに積極的に取り組まれており、その活動に対し補助金等による支援を行ってきました。

今後も、このような団体による活発な地域活動により、地域コミュニティの形成が成され、さらなる発展が図られるよう、積極的かつ継続的に支援していくとともに、各団体の自主性・自立性を尊重しながら、連携及び協働を進めていく必要があります。

また、市内で活動する各団体同士を互いにつなぐことで、地域づくりをより一層推し進める仕組みづくりも必要です。

【具体的な取り組み】

- ① 生涯学習活動を通じた地域コミュニティの形成を図るため、性別、年齢を問わず、幅広い地域住民が参加出来る公民館活動の実施に努めます。
- ② 地域づくりを支える各団体への積極的な支援に努めます。
- ③ 市民との連携・協働を密にし、地域づくりを推進します。

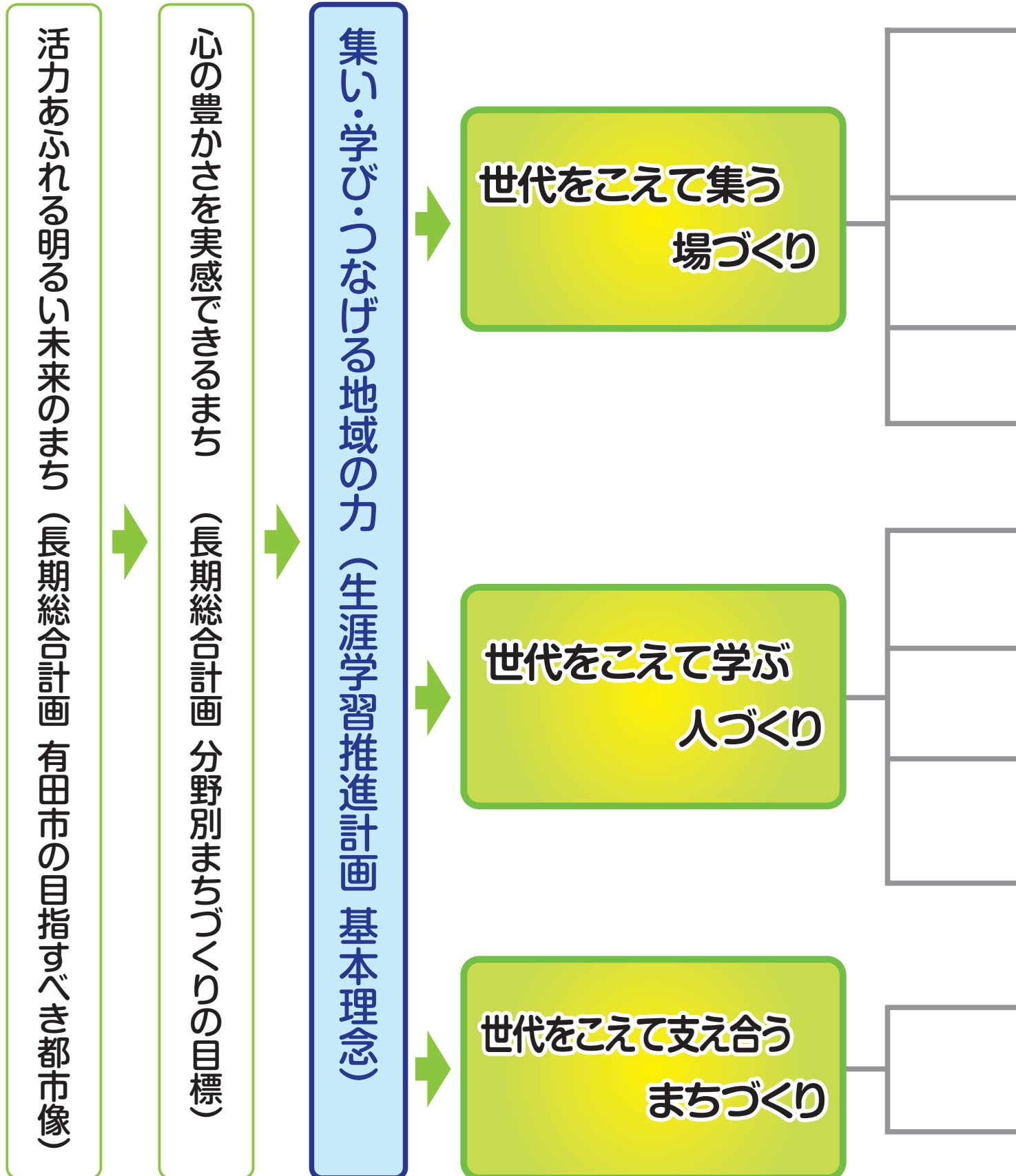
資 料 編

計画の体系図

長期総合計画

基本理念

基本方針



基本的な施策

具体的な取り組み

住民のニーズにあった生涯学習機会の提供 P22

- 幼児期から高齢期までの学習課題に対応できる学習機会の提供
- 市民の学習ニーズの把握
- 芸術や文化活動等の情操教育の充実
- 安心・安全な暮らしを守る防災知識の共有
- 公民館講座等の開設

生涯学習施設の整備・有効活用 P23

- 公民館の機能強化及び環境整備
- 図書館の機能強化と学習環境の整備
- 郷土資料館等の文化施設の充実
- 体育施設等の整備充実

生涯スポーツの推進 P27

- 年齢層に合った健康増進の推進
- 生涯スポーツ活動への支援体制の充実
- 各種スポーツを通じた世代間交流の推進

情報発信の充実 P28

- 多様な手段による情報提供の充実

核となる人材の発掘 P29

- 生涯学習活動を通じてリーダー的人材を育成
- 地域の自治を育む人材の登用
- 地域の歴史・文化等の継承者の育成
- 人材登録制度の活用

文化的活動の支援と地域の文化財の保護 P30

- 地域の伝統文化および文化財等への関心度向上
- 有田市の文化財・歴史を学ぶ機会の充実

子育て・家庭教育支援と
青少年の健全育成の推進 P31

- 子育て・家庭教育支援事業の充実
- 学校・家庭・地域が連携した青少年育成活動の支援
- 地域とのコミュニケーション機会の充実

高齢者の社会参加の推進 P32

- 健康維持促進事業の充実
- 高齢者主導事業の推進
- 高齢者を対象とした教養講座やイベント事業の充実

地域の課題解決にむけた取り組みの推進 P33

- 地域における学習成果の活用の促進
- 災害時に対応できる地域づくりのための学習と取り組み
- 公民館を拠点とした人権に関する学習機会の充実

地域づくりのための推進体制の確立 P34

- 地域づくりの活動拠点としての公民館事業の拡充
- 地域づくりを支える組織等への支援
- 市民・行政の協働推進体制の充実

有田市の市立公民館について

1) 体制

名 称	住 所	施 設 概 要 等
初島公民館	初島町浜1367-3	昭和37年7月 竣工 平成15年3月 改修
港町公民館	港町511	昭和40年5月 竣工
箕島公民館	箕島627	昭和46年9月 竣工
宮崎公民館	宮崎町486-2	昭和52年3月 竣工
保田公民館	辻堂533-1	昭和46年3月 竣工
宮原公民館	宮原町新町189-2	昭和51年3月 竣工
糸我公民館	糸我町中番408-2	昭和56年9月 竣工
中央地区公民館	古江見201-1	昭和41年10月 竣工（法務局として） 平成11年3月 改修

2) 利用者数の推移

(単位：人)

名 称	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
初島公民館	11,237	12,920	12,515	13,779	13,847
港町公民館	10,301	8,486	8,800	8,559	8,797
箕島公民館	10,915	11,057	10,816	12,077	12,697
宮崎公民館	8,072	6,518	7,178	8,090	7,297
保田公民館	9,194	8,760	8,953	9,537	9,560
宮原公民館	8,526	8,729	7,483	8,320	7,568
糸我公民館	9,842	10,927	10,023	11,490	11,888
中央地区公民館	5,276	6,124	5,570	5,934	5,307
合 計	73,363	73,521	71,338	77,786	76,961

有市教総D第 28 号
平成25年10月28日

有田市社会教育委員会議
議長 平野勝寛 様

有田市教育委員会
教育委員長 秋竹新 君



社会教育法第17条第1項第2号に基づき、下記のとおり諮問いたします。

記

諮問事項

平成28年度から平成37年度までの10ヶ年にわたる「有田市生涯学習推進計画」について

諮問理由

有田市では、長期総合計画に掲げる「活力あふれる明るい未来のまち有田」の実現を目指し、様々な事業を推進しておりますが、少子高齢化や核家族化など、社会構造の急激な変化により、本市を取り巻く環境は大きく変貌し、地域における人間関係の希薄化に伴う地域の教育力並びに家庭の教育力の低下が指摘されています。

また、急速に進展する高齢化社会、中でも地域における一人暮らしの老人への対応や、近い将来必ず発生すると予想されている東南海・南海地震に備えた、地域の自主防災力の向上など、地域課題はより複雑化・深刻化している状況にあります。

このような課題の解決を図るためには、市民一人一人の資質や能力の向上を目指した学習活動の充実並びに学習環境の整備が求められます。

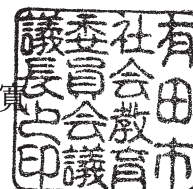
以上のような状況に鑑みて、有田市教育委員会では、平成28年度から平成37年度までの10ヶ年を見込んだ「有田市生涯学習推進計画」を策定したいと考えております。

つきましては、生涯学習推進計画を策定するにあたり、本市における生涯学習の円滑な推進、並びに生涯学習のより一層の充実を目指すため、ご意見を取りまとめいただきたく、ここに諮問するものであります。

平成 27 年 10 月 27 日

有田市教育委員会
教育長 田中 政彦 様

有田市社会教育委員会議
議長 平野 勝 眞



有田市生涯学習推進計画策定について（答申）

記

平成 25 年 10 月 28 日付有市教総第 28 号により貴職から諮問のありました「有田市生涯学習推進計画」策定に伴う意見集約について、本委員会議にて慎重に審議を重ねた結果、別紙の通り取りまとめを行いましたので答申いたします。

有田市教育委員会におかれましては、この推進計画に基づき「活力あふれる明るい未来のまち」を目指すと共に、「心の豊かさを実感できるまち」の実現に向け、生涯学習分野における具体的な施策を着実に進められるよう要望します。

有田市生涯学習推進計画策定に当たって

有田市社会教育委員会議

はじめに

平成 25 年 10 月 28 日付け有田市教育委員会より、平成 28 年度から平成 37 年度までの 10 ヶ年にわたる「有田市生涯学習推進計画」についての諮問を受け、有田市社会教育委員会議では、市内 8 か所にある公民館のヒヤリングを和歌山大学 地域連携・生涯学習センター教授 村田和子氏を交えて行うと共に、生涯学習に関する市民アンケート調査を行いました。こうした実態調査の中から現状と課題を探ることにより、有田市長期総合計画（第 4 次）に掲げる「活力あふれる明るい未来のまち」の実現に向けて、今後の有田市における生涯学習の在り方、施策等の方向性を明らかにしようと検討しました。有田市長期総合計画では、分野別まちづくりの目標として「心の豊かさを実感できるまち」を設定し、その中で生涯学習とは、「学習を通じた人々との交流や自己実現による生きがい、生涯を通じて学ぶことができる生涯学習社会の構築を図ります。年代や目的に応じた各種の生涯学習に取り組める機会や場を提供し、多くの市民が身近な地域で参加できる環境を創出します。」とされています。

公民館を拠点とした市民一人一人が集い合い、学び合いながら地域の活性化に繋がる一助となり得る事を願い、以下に提言させていただきます。

1 有田市の特性と現状

まず、有田市の人口推移（国勢調査より）を見てみると、20 年前に比べ 4,143 人の減少が見られ、年代別に見ると 20 歳未満では 1995 年 23.2%、2015 年（2 月 28 日現在 以下同じ）17.1%と 6 ポイント減少しています。反面 60 歳以上が占める割合は 1995 年の 24.2%に比べ、2015 年は 37.8%と約 14 ポイントも高くなっています。これは社会現象ともいえる少子高齢化が進んでいる状況を表しています。

有田市の歴史について、視点を歴史上の人物に移すと、宮崎定直氏（宮崎城主宮崎隠岐守定秋の三男）が宮原太刀宮（宮原神社）伝説として語り継がれています。当氏は真田幸村に請われ、大阪冬・夏の陣に参陣して旗頭として武功を挙げた人物で、その刀が宮原太刀宮に奉納されていると言い伝えられています。また、産業の歴史では、上山英一郎氏が、除虫菊の栽培から蚊取り線香を開発したことで知られています。農業面では有田ミカンが 400 年以上の歴史と伝統を誇る県下一の産地であり、漁業においても太刀魚の漁獲量が日本一であります。他にも熊野古道や浄妙寺多宝塔や得生寺の中将姫会式等、文化面でも誇れるまちです。

災害時に備えるためにも、昭和 28 年の 7.18 水害は忘れてはならず、有田川水域での土石流や大洪水がもたらした豪雨被害は歴史に残るものでありました。有田市でも宮原町の堤防決壊による家屋・農地の浸水等、被害は想像を絶するものと記録されており、この経験を生かした防災への備えが必要です。

このような歴史と文化を有する有田市に住んでいて良かったと感じる「まちづくり」が不可欠であり、生涯学習の場を通じて語り伝える事も大切と考えます。

2 生涯学習の現状と課題

今回、平成 25 年 8 月 19 日から 9 月 11 日の間、1 日 2 公民館ずつ 4 日間、和歌山大学 地域連携・生涯学習センター教授 村田和子氏を交え、館長、主事、主事補へのヒヤリングを行いました。加えて、生涯学習に関する市民アンケート調査を平成 26 年 8 月末から 9 月末の間、1,000 人に無作為で行い、この調査結果から生涯学習の「現状と課題」を探り、今般の生涯学習推進計画策定の前提条件としました。

(1) 「公民館ヒヤリング結果から見える現状」

- ① 現在、8館の独立並列館として機能しています。
- ② 館長、主事、主事補の3人体制が確立され、地域の特色を活かして工夫しながら活動しています。
- ③ 公民館の業務は、従来、公民館の管理や貸し出しが主なものでしたが、今後、公民館本来の役割を果たし、設置目的を達成するために、公民館職員に対する研修が必要とされています。
- ④ 育児サークルや通学合宿、ふれあいルーム等、子どもに関わる事業の開催場所として利用されています。
- ⑤ 多種多様なジャンルのサークル活動が展開されています。
- ⑥ 地域に馴染める新たな事業活動を取り入れるよう努めています。
- ⑦ 糸我地区青少年育成会が主体となって、小学校で行う「田んぼの学校」や、毎年行われている「いも茶がゆと餅つきの集い」は地域あげでの行事であり、公民館も協力しています。これらは、全国的にも学社連携のモデルケースとなるような事業として継続されています。
- ⑧ 地域のコミュニケーションを深める事業として、スポーツ大会、各種団体交流親睦会等、公民館を中心に実施されています。
- ⑨ 本来の学習活動支援としての公民館活動以外に、自治会、育成会等、地域の各種関係団体の活動には公民館職員が関わっており、地域づくりに貢献している一方、業務の多様化が進んでいます。
- ⑩ 災害発生時を想定した避難訓練や、防災意識に関わる講義を行っています。
- ⑪ 平成24年度までは、教室と称される主催事業費用が削減され、実質の貸館化が進み、サークル活動が中心となっていましたが、平成25年度から公民館の自主事業として費用予算がついてきたので、地域のつながりづくりを重視した事業を行うよう努めています。
- ⑫ 公民館としての設備は昭和40年代に建設された物で決して新しくないのが現状です。

(2) 「公民館ヒヤリング結果から見える課題」

- ① 公民館事業に対する意識の違いをなくすため、公民館連絡協議会を通じて、職員間による情報交換を密にし、研修会、講習会への積極的な参加を促すことが必要です。
- ② サークル活動や自主事業の、新たな方向性を検討するため、各公民館の横の繋がりを深めて、問題点を共有し、事業の充実を図ることが求められています。
- ③ 少子化、高齢化が進んでいる中での共通課題として、参加年齢に偏り(高齢化)があることが挙げられます。環境変化に対応できる活動内容を見直す時期に来ているといえます。
- ④ 公民館だより等の広報が行き届いていないという意見が多く、市内全般に公民館の存在を浸透させる必要があります。今後、情報発信の手段も工夫する事が必要です。
- ⑤ 公民館へ入りづらいと考えている方も多く、開放された公民館、気軽に入出入りできる公民館になるような環境を整える必要があります。
- ⑥ 公民館活動が地域にとって必要であることが、市民全般に認知されるような事業や活動が大切です。
- ⑦ 公民館、隣保館、児童館等、主管部署により、同じ催しが別々な場所で行われていることもあり、横のつながりを深め、連携していくことが必要となってきています。

(3) 「生涯学習アンケート結果から見える現状と課題」

- ① 「生涯学習」については、「生涯を通じて学ぶこと」と理解されています。また、「生活を楽しみ心豊かにする活動」、「高齢者の生きがいを充実させる」といった意見が多くみられます。

- ② 生涯学習の利用場所として、男性では自宅での学習が多く、その中で趣味や特技、経験を活かせる場所があれば役立てたいと答えた人に、50代から70代の男性が多くを占めていました。今後の公民館事業、活動の場に活かせるヒントがあると考えられます。ただ、「あまりしたくない。全くしたくない。」との回答が半数近く占めているのが懸念され、今後の新たな活動の発掘に繋げる必要があります。
- ③ 学習環境の変化に伴い、自宅での学習活動（通信教育や書籍、インターネットなど）も多様化してきている傾向にあります。地域で趣味、特技、経験を活かせる場所があれば、このような人材こそ得意分野を役立てて、地域で活躍することができると考えられます。
- ④ 子育て世代で子育てサークル等に参加している時期が終われば、時間がない等、公民館活動に消極的になっています。この年代が継続して活動できる内容や場をつくる事が大切です。
- ⑤ 公民館や市からの情報提供の工夫が必要であるといえます。
- ⑥ 公民館の果たす役割、貢献等について理解されているものの、公民館に興味・関心がないといった回答も約14%あり、関心度を増す事業・活動も検討しなければならないといえます。
- ⑦ 公民館をより一層、充実したものにするため力を入れるべきこととして「学校・家庭・地域(公民館)との連携や協力体制を構築すること」との意見もあり、地域での交流や学校関係者との連携が必要であるといえます。
- ⑧ 余暇の過ごし方、学習機会の多様化、情報入手方法等、環境が著しく変化している中においては、住民のニーズや満足度などをしっかりと把握できるしくみと体制が必要です。
- ⑨ 公民館から協力を求められたらとの問いで「地域の一員として、地域の人々と何らかの形でつながっていたいから」との回答にみられるとおり、地域との関わり方に工夫が出来れば地域の活性化に繋がるものと考えられます。

3 有田市生涯学習推進計画策定にあたって

前述のヒヤリング結果とアンケート調査結果を踏まえ、社会教育委員による会議を重ねた結果、基本理念、基本方針、主要施策を以下のとおりとしました。

(1) 基本理念：「集い・学び・つなげる地域の力」

まず、生涯学習の理念として、教育基本法第三条に「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図らなければならない。」とされています。そうした中で、社会教育の意義とは、①人々の生涯学習を振興する。②人々の生活課題を解決する。③地域課題を解決し地域の教育力を高める。④個人及び地域の自立を助ける。であろうと考えられます。

老若男女がいつでもどこでも集まり、個人の能力、地域の輪、地域の繋がりを構築するためにも「集い・学び・つなげる地域の力」を基本理念としました。

(2) 基本方針

- ① 世代をこえて集う 場づくり
- ② 世代をこえて学ぶ 人づくり
- ③ 世代をこえて支え合う まちづくり

今後の有田市の生涯学習の推進にあたっては、地域住民の集まる「場づくり」を促進し、地域社会の担い手としての「人づくり」を目指すとともに、学習した成果を「まちづくり」に生かし、地域の発展や活性化

につなげていくことを期待するものであります。そのためにも以下の点を進めることが重要です。

(3) 主要施策

ア 世代をこえて集う 場づくりの主要施策

(1) 住民のニーズにあった生涯学習機会の提供

- ① 幼児期から高齢期までの学習課題に対応できる学習機会の提供
- ② 市民の学習ニーズの把握
- ③ 芸術や文化活動等の情操教育の充実
- ④ 安心・安全な暮らしを守る防災知識の共有
- ⑤ 公民館講座等の開設

(2) 生涯学習施設の整備・有効活用

- ① 公民館の機能強化及び環境整備
- ② 図書館の機能強化と学習環境の整備
- ③ 郷土資料館等の文化施設の充実
- ④ 体育施設等の整備充実

(3) 生涯スポーツの推進

- ① 年齢層に合った健康増進の推進
- ② 生涯スポーツ活動への支援体制の充実
- ③ 各種スポーツを通じた世代間交流の推進

(4) 情報発信の充実

- ① 多様な手段による情報提供の充実

イ 世代をこえて学ぶ 人づくりの主要施策

(1) 核となる人材の発掘

- ① 生涯学習活動を通じてリーダー的人材を育成
- ② 地域の自治を育む人材の登用
- ③ 地域の歴史・文化等の継承者の育成
- ④ 人材登録制度の活用

(2) 文化的活動の支援と地域の文化財の保護

- ① 地域の伝統文化および文化財等への関心度向上
- ② 有田市の文化財・歴史を学ぶ機会の充実

(3) 子育て・家庭教育支援と青少年の健全育成の推進

- ① 子育て・家庭教育支援事業の充実
- ② 学校・家庭・地域が連携した青少年育成活動の支援
- ③ 地域とのコミュニケーション機会の充実

(4) 高齢者の社会参加の推進

- ① 健康維持促進事業の充実
- ② 高齢者主導事業の推進
- ③ 高齢者を対象とした教養講座やイベント事業の充実

ウ 世代をこえて支え合う まちづくりの主要施策

(1) 地域の課題解決に向けた取り組みの推進

- ① 地域における学習成果の活用の促進
- ② 災害時に対応できる地域づくりのための学習と取り組み
- ③ 公民館を拠点とした人権に関する学習機会の充実

(2) 地域づくりのための推進体制の確立

- ① 地域づくりの活動拠点としての公民館事業の拡充
- ② 地域づくりを支える組織等への支援
- ③ 市民・行政の協働推進体制の充実

おわりに

有田市の今後の生涯学習推進に当たり、上記の提言を「有田市生涯学習推進計画」に反映し、関係機関が密接な連携を図りながら総合的な施策として取り組むことを切望します。

著しい社会の変化と市民のニーズを見据え、「活力あふれる明るい未来のまち」を目指すと共に、「心の豊かさを実感できるまち」の実現のために、生涯学習の理念を念頭に、次世代の生涯学習社会構築に向けた施策を力強く推進されることを切に期待し、答申とします。

有田市社会教育委員

平野 勝 寛
榎野 嘉 之
石井 寛
谷口 慶 史
脇村 智 子
吉田 季 代
山本 浩 美
辻本 真 澄

しょうがいがくしゅう かん し み ん ちょうさ
生涯学習に関する市民アンケート調査

有田市教育委員会

アンケートの前にご記入ください。

- あなたの性別は…。
1. 女性
 2. 男性
- あなたの年代は…。
1. 20代
 2. 30代
 3. 40代
 4. 50代
 5. 60代
 6. 70代以上
- あなたのお住まいの地区は…。
1. 初島地区
 2. 港町地区
 3. 箕島地区
 4. 中央地区
 5. 宮崎地区
 6. 保田地区
 7. 宮原地区
 8. 糸我地区
- あなたは今、何をされていますか。
1. 農林漁業の従事者
 2. 自営業（農林漁業を除く商店・企業経営など）
 3. 会社員・公務員
 4. 専業主婦・主夫
 5. パート・アルバイト
 6. 学生（大学生・専門学校生など）
 7. 定年退職者・年金生活者
 8. 無職
 9. その他（ ）

問1 あなたは「生涯学習」という言葉に、どのようなイメージをもっていますか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと
2. 趣味・教養を高めること
3. 職業上必要な知識・技能を身に付けること
4. 高齢者の生きがいを充実すること
5. 生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする
6. 公民館など自治体の講座や教室における学習活動
7. カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室における学習活動
8. 学校（大学、専門学校等含む）における学習活動
9. 健康・体力づくりをすること
10. 地域づくりやボランティアに関する学習活動
11. その他（ ）

問2 あなたは「生涯学習」をするにあたって、どういうところを利用していますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 図書館・公民館・体育館などの社会教育・社会体育施設
2. 学校施設(高等・専修・各種学校、大学など)
3. 地区の会館・コミュニティーセンター・地域の集会所など
4. 民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなど
5. 自宅での学習活動(通信教育や書籍、インターネットなど)
6. その他()

問3 あなたが自由に使える余暇時間は、どの時間帯ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 平日の午前
2. 平日の午後
3. 平日の夜間(午後7時以降)
4. 土曜日の午前
5. 土曜日の午後
6. 土曜日の夜間(午後7時以降)
7. 日曜・祝日の午前
8. 日曜・祝日の午後
9. 日曜・祝日の夜間(午後7時以降)
10. 自由に使える余暇時間がほとんどない

問4 今後、あなたの趣味・特技・経験を生かせる場所があれば、役立てたいと思いますか。

(○を1つ)

1. 是非したい 【問5へ】
2. できればしたい 【問5へ】
3. あまりしたくない
4. 全くしたくない
5. その他()

問4で1.か2.に○をつけた方にお聞きします

問5 どういう形で役立てたいと考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 公民館における講座・教室、或いは公民館主催活動の協力者として
2. 公民館で同好者が自主的におこなっている集まり、サークル活動
3. 公民館で実施している地域ふれあいルームのスタッフとして
4. カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間(NPOを含む)の講座や教室
5. 学校(高等・専修・各種学校、大学)の公開講座や教室
6. 小・中学校の学校支援ボランティア
7. 職場の教育・研修
8. その他()

ここからは、公民館のことについておききします。

※ここでの公民館とは、教育委員会管轄の文教施設（初島・港町・箕島・宮崎・保田・宮原・糸我・中央地区）の8公民館であり、地区公民館（自治会管轄）は調査の対象外です。

問6 あなたは、今までに公民館を利用したことがありますか。（○を1つ）

1. ある【問7へ】
2. ない【問8へ】

問6で1.に○をつけた方にお聞きします

問7 あなたは、どのような活動のために公民館を利用しましたか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 趣味のグループや自主活動サークルの場として利用した
2. 自主活動サークルの作品展などの行事に参加した
3. 公民館主催事業（防災講演会・餅つき・ハイキング・日帰りバスツアー等）に参加した
4. 公民館まつりや文化祭等
5. 講座や教室などに参加した
6. 公民館講座の修了者のグループ活動の場として利用した（自主活動サークル等）
7. 自治会関係団体、スポーツ少年団やPTAなど各種団体の集会場所として利用した
8. 地域ふれあいルームのスタッフや保護者として活動に参加した
9. その他（ ）

問6で2.に○をつけた方にお聞きします

問8 あなたが、今まで公民館を利用しなかった理由を教えてください。

（あてはまるものすべてに○）

1. 仕事・家事・育児が忙しくて時間がとれないから
2. 学習のための費用（講師への謝礼及び教材費用等）がかかるから
3. 学習機会の情報（内容・場所）が入手できないから
4. 講座や教室（自主活動サークルを含む）などの開設の時間・時期が適当でないから
5. いっしょに参加する仲間がないから
6. 指導者や運営の仕方が自分に合わないから
7. 自分の希望にあう講座や教室（自主活動サークルを含む）がないから
8. 学習内容に魅力がないから
9. 参加したい気はあるが、家族や職場などの周囲の理解が得られないから
10. 人前が出るのがおっくうだから
11. 公民館での催しの内容を知らなかったから
12. 公民館の存在を知らなかったから
13. その他（ ）

問 9 今後、公民館でどのような活動があれば、公民館を利用してみようと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 趣味的なもの (音楽・美術・書道など)
2. 教養的なもの (文学・歴史・教育・人の生き方など)
3. 健康づくり (スポーツ・健康・栄養など)
4. 子育て・教育に関するもの (家庭教育・子育て支援など)
5. 社会問題的なもの (地震・防災問題、地域課題、環境問題、時事・経済問題など)
6. 地域の課題解決につながるための勉強会的なもの
7. 社会で生きて行く上で、必要な知識を得られるもの
(消費者問題・詐欺にあわないための知識・裁判員制度・税のしくみなど)
8. 職業能力向上につながるもの (仕事に関する知識や技術など)
9. ボランティア活動に必要な知識や技能に関すること (手話・介護など)
10. 餅つき・昔遊び (竹馬・竹とんぼ等)・盆踊り・夏まつり等地域の皆で楽しめる参加型イベント
11. 日帰りバスツアー・歩こう会等レクリエーション的なイベント
12. 小学生や中学生と交流できるようなイベント
13. 地域の老若男女が集えるような催し
14. 学校教育と連携した取り組み
15. その他 ()

問 10 あなたは、公民館で提供されている各種の学習機会・催し・内容やサービス (自主活動サークルを含む) について、どの程度情報を得ていますか。 (○を1つ)

1. 十分得ている
2. ある程度得ている
3. まったく得ていない

問 11 あなたは、公民館での活動 (自主活動サークルを含む) に関する情報をどこから入手していますか、または入手したいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 広報ありだ
2. 有田市ホームページ (インターネット)
3. 公民館だより
4. 学校や職場
5. 知人・友人
6. その他 ()

問 12 今後、あなたが知りたい公民館からの情報は、どのようなものですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 講座や教室などの情報
2. 活動するために利用できる施設の情報
3. 地域の活動グループやサークルの情報
4. 地域の問題について話し合う機会の情報
5. 自分の悩み事を相談できる機会の情報
6. 活動の指導者の情報
7. 自分の趣味・特技・経験を活用するための情報
8. その他 ()

問 13 あなたは、公民館から協力を求められたらどうしますか。 (○を1つ)

1. 喜んで協力する
2. できる範囲で協力する
3. あまり協力したくない 【問 15 へ】
4. 協力しない 【問 15 へ】

問 13 で 1.か 2.に○をつけた方にお聞きします

問 14 協力する理由を教えてください。 (あてはまるものすべてに○)

1. 地域に恩返しをしたいから
2. 自分の持っている特技や経験を地域のために役立てたいから
3. 地域の一員として、地域の人々と何らかの形でつながっていたいから
4. 地域の課題を解決できるよう、自分にできることをしたいから
5. 公民館が好きだから
6. 何となく
7. その他 ()

問 13 で 3.か 4.に○をつけた方にお聞きします

問 15 協力できない理由を教えてください。 (あてはまるものすべてに○)

1. 公民館に興味・関心がないから
2. 地域をより良くすることは、自治会等の役目だから
3. 自分の趣味・特技・経験は、自分や家族のために役立てたいから
4. 時間的な余裕がないから
5. 体力的に自信がないから
6. 人のために何かをすることが好きではないから
7. 自分の得にならないから
8. その他 ()

問 16 あなたは、公民館が地域づくりや地域課題の解決に、役割を果たしていると思いますか。
(○を1つ)

1. 大いに役割を果たしている
2. 役割を果たしている
3. 役割は果たしていない 【問 18 へ】
4. どちらとも言えない 【問 18 へ】

問 16 で、1.か 2.に○をつけた方にお聞きします

問 17 どういう点で、地域づくりや地域課題の解決に役割を果たしているとお考えですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 地域の人達がよく公民館へ集まり、人と人をつなげる役割を果たしているから
2. 地域の課題解決につながるような学習機会を提供しているから
3. 地域を支援してくれる人材の育成や人材の活用支援を行っているから
4. 地域ふれあいルームで、地域の未来を担う小学生児童の健全育成に努めているから
5. その他 ()

問 18 あなたは、今後公民館をより一層充実したものにしていくために、有田市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

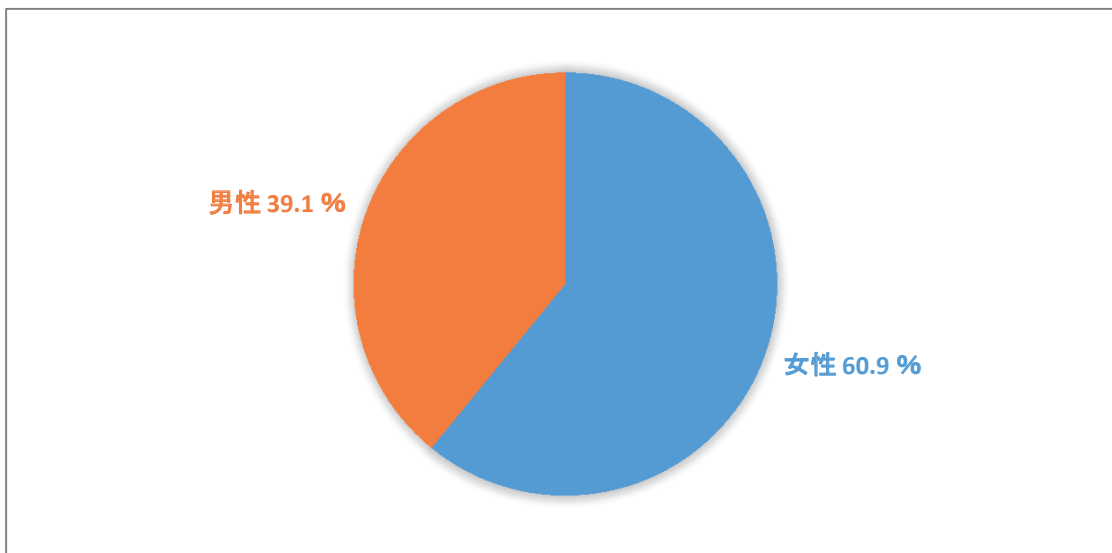
1. 公民館などにおけるサービスを充実すること
(講座や教室の充実、開館時間の拡大、公民館同士の連携など)
2. 公民館職員の研修を積極的に推進し、専門性を高めること
3. 公民館を支援してくれる地域の人材を育成すること
4. 公民館に関する情報を得やすくすること
5. 子どもの心豊かな育ちに関わって、学校・家庭・地域(公民館)との連携や協力体制を構築すること
6. 住民のニーズや満足度などをしっかりと把握し、活動に反映していくこと
7. 社会教育関係団体、青少年育成会等のボランティア活動を活発にさせ、その活動を支援すること
8. 公民館に自分の趣味・特技・経験を生かせる場を積極的に提供すること
9. 生涯学習や公民館活動に関する予算を増やすこと
10. その他 ()

自由意見欄 「有田市の生涯学習に関する取り組みについて、あなたのご意見・ご要望をご自由にお書きください。」

※ご協力いただきまして、どうもありがとうございました。

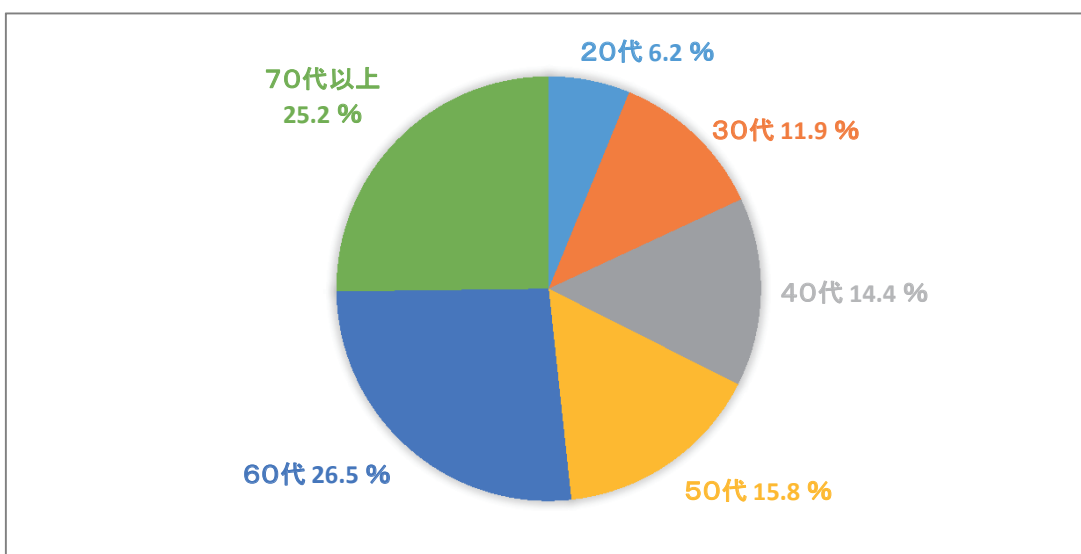
○ あなたの性別は…。

		回答件数 (割合)	
1.	女性	246 件	60.9 %
2.	男性	158 件	39.1 %
計		404 件	—



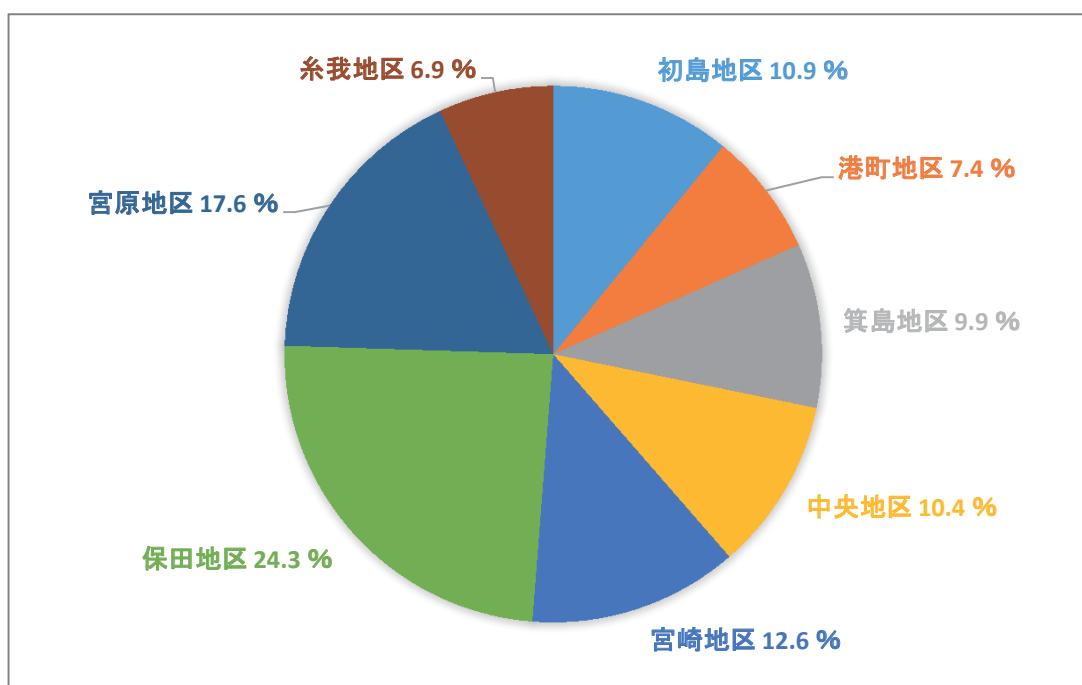
○ あなたの年代は…。

		回答件数 (割合)	
1.	20代	25 件	6.2 %
2.	30代	48 件	11.9 %
3.	40代	58 件	14.4 %
4.	50代	64 件	15.8 %
5.	60代	107 件	26.5 %
6.	70代以上	102 件	25.2 %
計		404 件	—



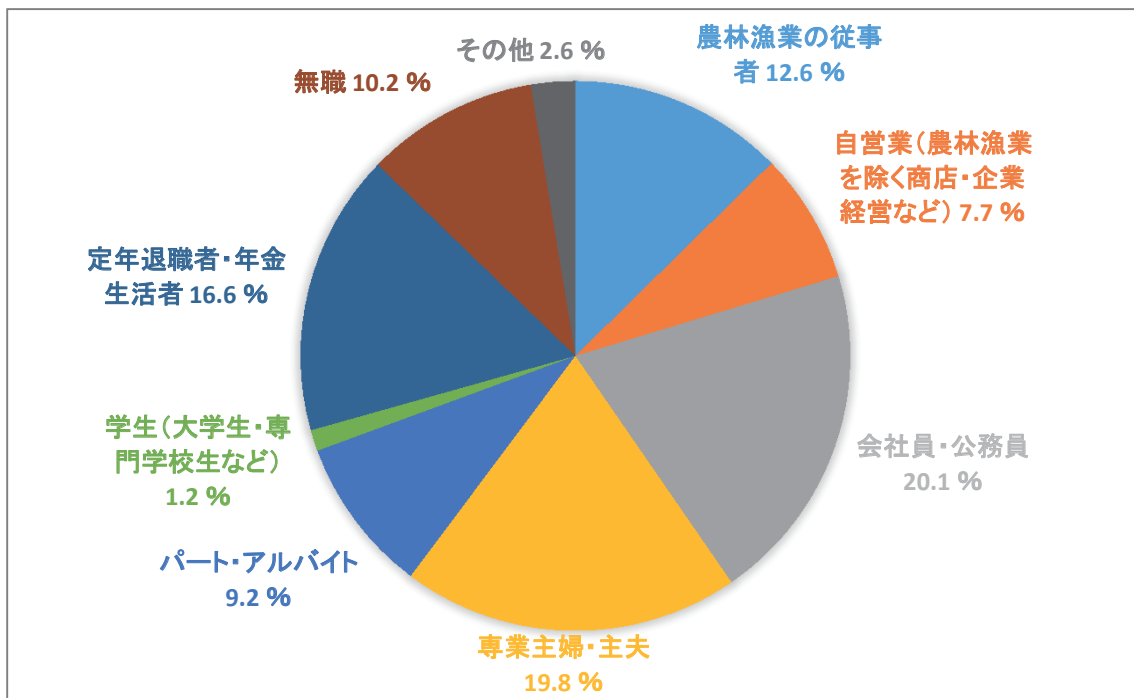
○ あなたのお住まいの地区は…。

		回答件数 (割合)	
1.	初島地区	44 件	10.9 %
2.	港町地区	30 件	7.4 %
3.	箕島地区	40 件	9.9 %
4.	中央地区	42 件	10.4 %
5.	宮崎地区	51 件	12.6 %
6.	保田地区	98 件	24.3 %
7.	宮原地区	71 件	17.6 %
8.	糸我地区	28 件	6.9 %
計		404 件	—



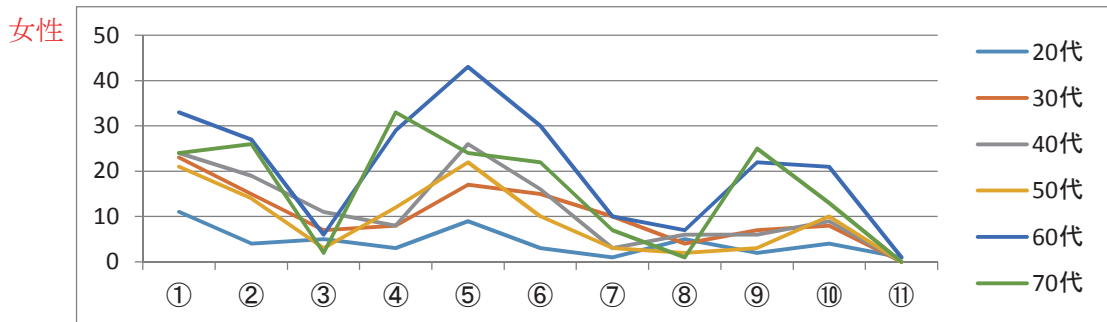
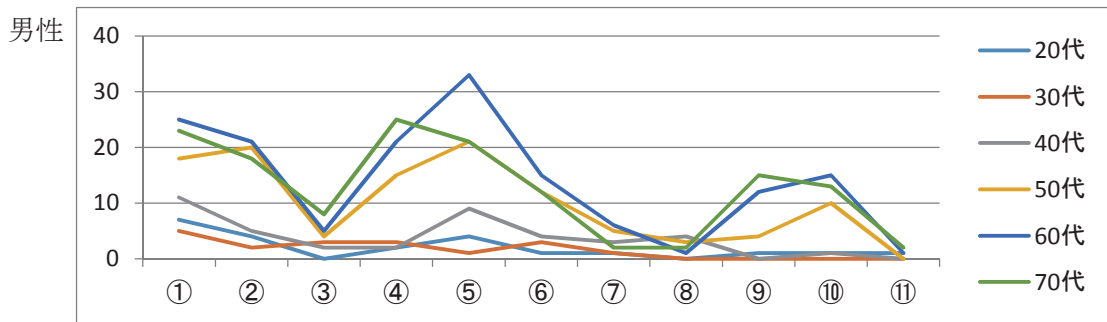
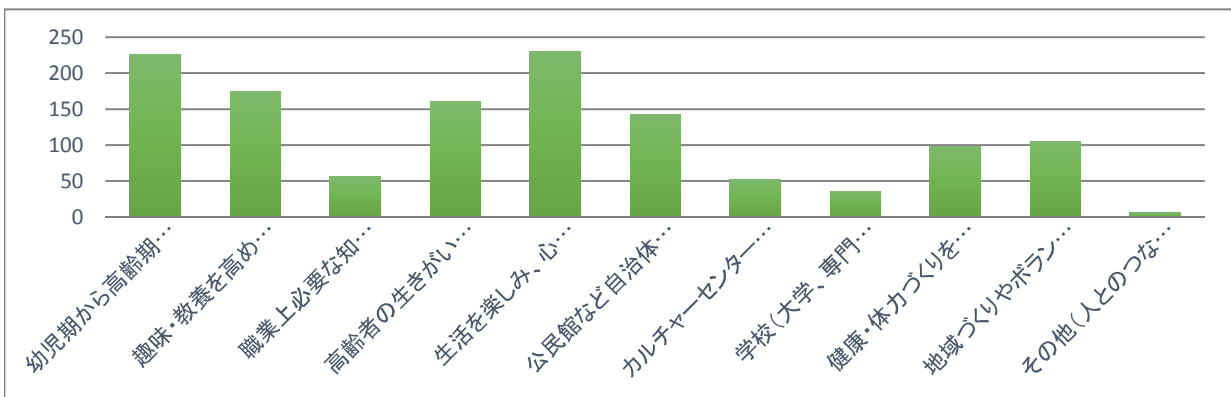
○ あなたは今、何をされていますか。

	回答件数 (割合)	
1. 農林漁業の従事者	51 件	12.6 %
2. 自営業 (農林漁業を除く商店・企業経営など)	31 件	7.7 %
3. 会社員・公務員	81 件	20.1 %
4. 専業主婦・主夫	80 件	19.8 %
5. パート・アルバイト	37 件	9.2 %
6. 学生 (大学生・専門学校生など)	5 件	1.2 %
7. 定年退職者・年金生活者	67 件	16.6 %
8. 無職	41 件	10.2 %
9. その他	11 件	2.6 %
計	404 件	—



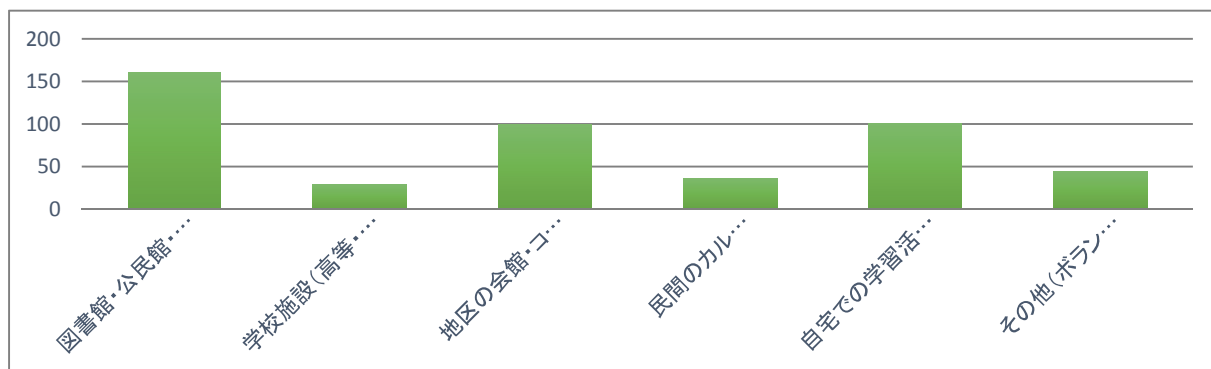
問1 あなたは「生涯学習」という言葉に、どのようなイメージをもっていますか。

複数選択可	回答件数 (割合)	
1. 幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと	225 件	17.5 %
2. 趣味・教養を高めること	175 件	13.6 %
3. 職業上必要な知識・技能を身に付けること	56 件	4.4 %
4. 高齢者の生きがいを充実すること	161 件	12.5 %
5. 生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする	230 件	17.9 %
6. 公民館など自治体の講座や教室における学習活動	143 件	11.1 %
7. カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室における学習活動	52 件	4.0 %
8. 学校 (大学、専門学校等含む) における学習活動	35 件	2.7 %
9. 健康・体力づくりをすること	97 件	7.5 %
10. 地域づくりやボランティアに関する学習活動	105 件	8.2 %
11. その他 (人とのつながりから様々なことを学ぶこと、言葉自体初めて聞いた など)	6 件	0.6 %
計	1285 件	—

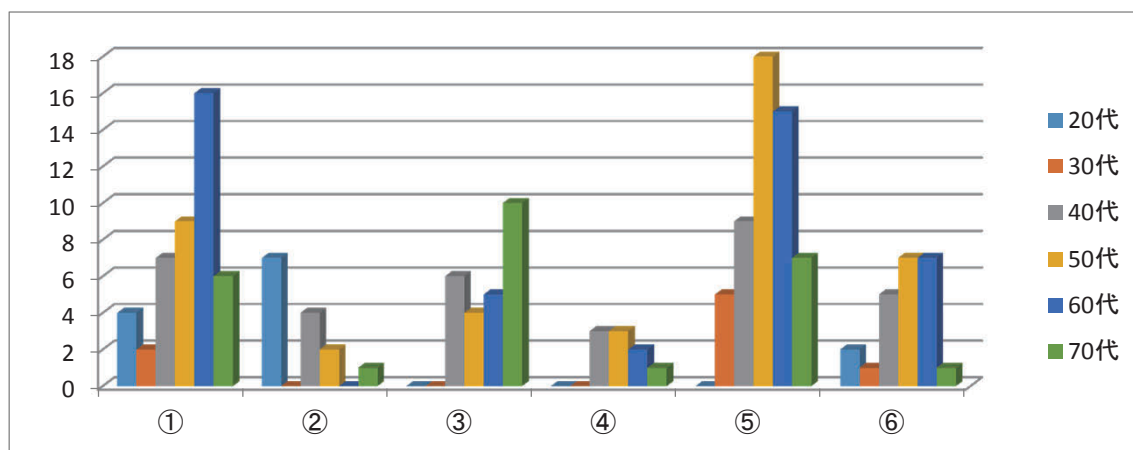


問2 あなたは「生涯学習」をするにあたって、どういうところを利用していますか。

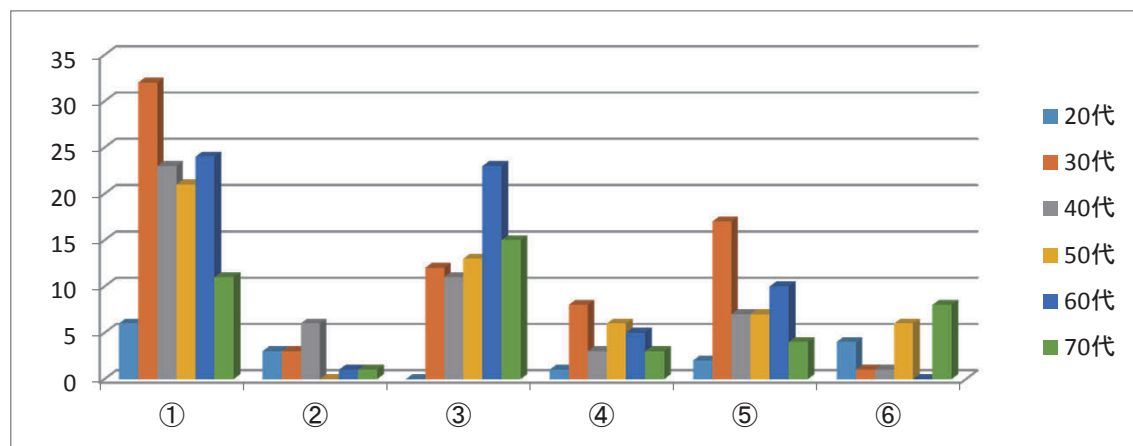
複数選択可	回答件数 (割合)	
1. 図書館・公民館・体育館などの社会教育・社会体育施設	161 件	34.5 %
2. 学校施設 (高等・専修・各種学校、大学など)	28 件	6.0 %
3. 地区の会館・コミュニティーセンター・地域の集会所など	99 件	21.2 %
4. 民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなど	35 件	7.5 %
5. 自宅での学習活動 (通信教育や書籍、インターネットなど)	101 件	21.6 %
6. その他 (ボランティア活動、講演会への参加 など)	43 件	9.2 %
計	467 件	—



男性

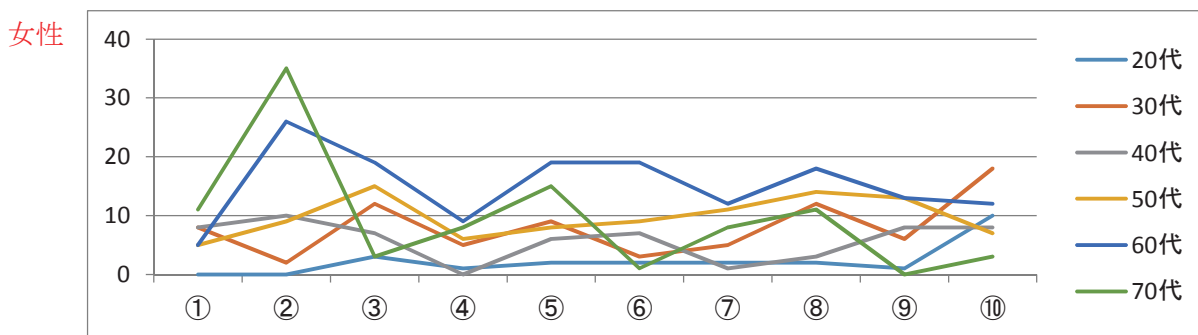
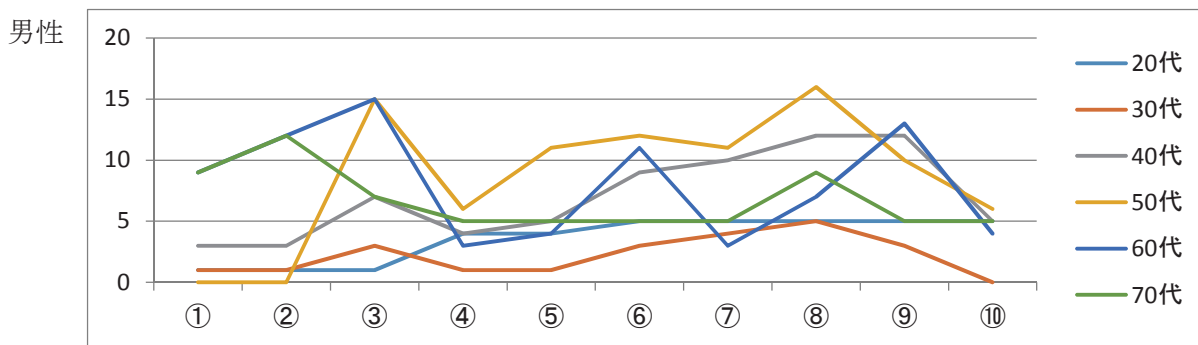
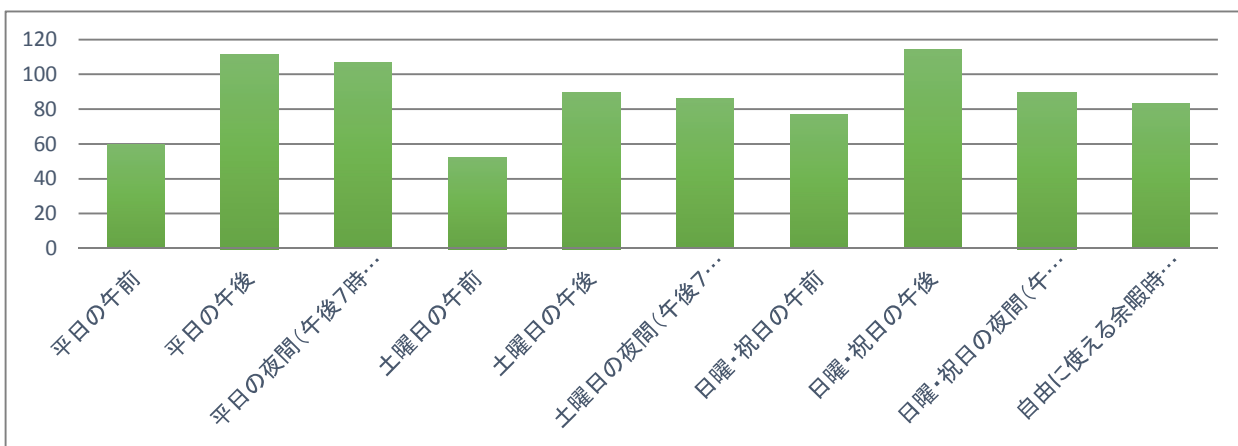


女性



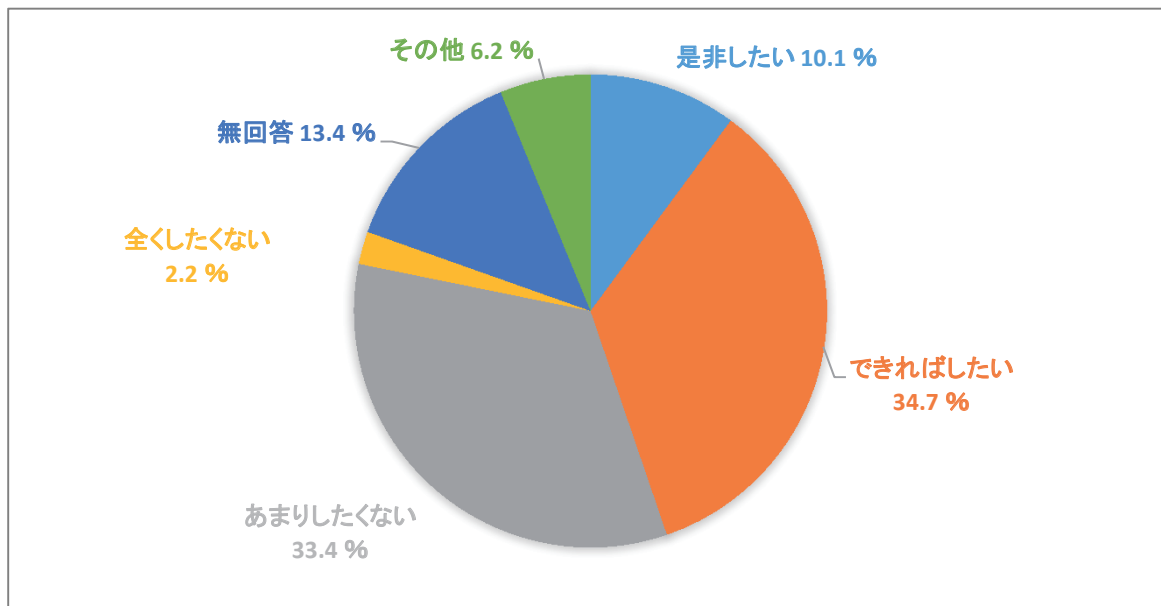
問3 あなたが自由に使える余暇時間は、どの時間帯ですか。

複数選択可	回答件数 (割合)	
1. 平日の午前	60 件	6.9 %
2. 平日の午後	111 件	12.8 %
3. 平日の夜間 (午後7時以降)	107 件	12.3 %
4. 土曜日の午前	52 件	6.0 %
5. 土曜日の午後	89 件	10.3 %
6. 土曜日の夜間 (午後7時以降)	86 件	9.9 %
7. 日曜・祝日の午前	77 件	8.9 %
8. 日曜・祝日の午後	114 件	13.1 %
9. 日曜・祝日の夜間 (午後7時以降)	89 件	10.3 %
10. 自由に使える余暇時間がほとんどない	83 件	9.5 %
計	868 件	—

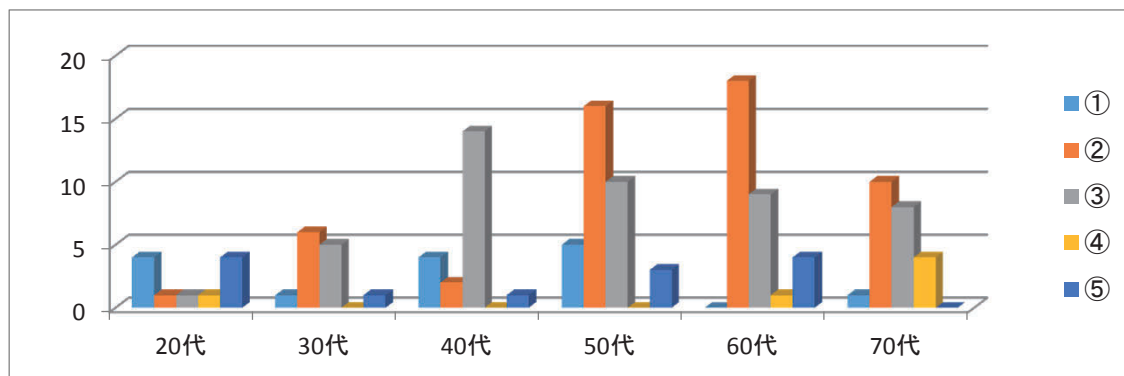


問4 今後、あなたの趣味・特技・経験を生かせる場所があれば、役立てたいと思いますか。

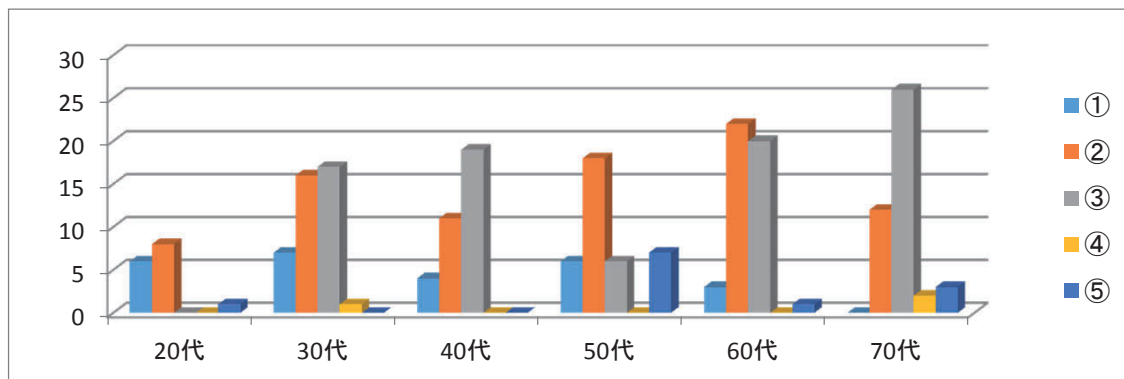
	回答件数 (割合)	
1. 是非したい	41 件	10.1 %
2. できればしたい	140 件	34.7 %
3. あまりしたくない	135 件	33.4 %
4. 全くしたくない	9 件	2.2 %
5. 無回答	54 件	13.4 %
6. その他	25 件	6.2 %
計	404 件	—



男性

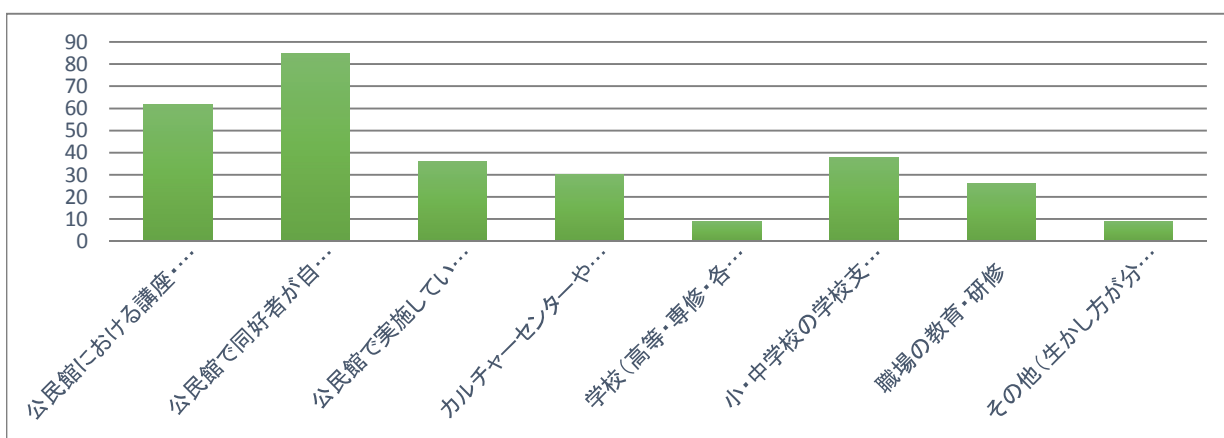


女性

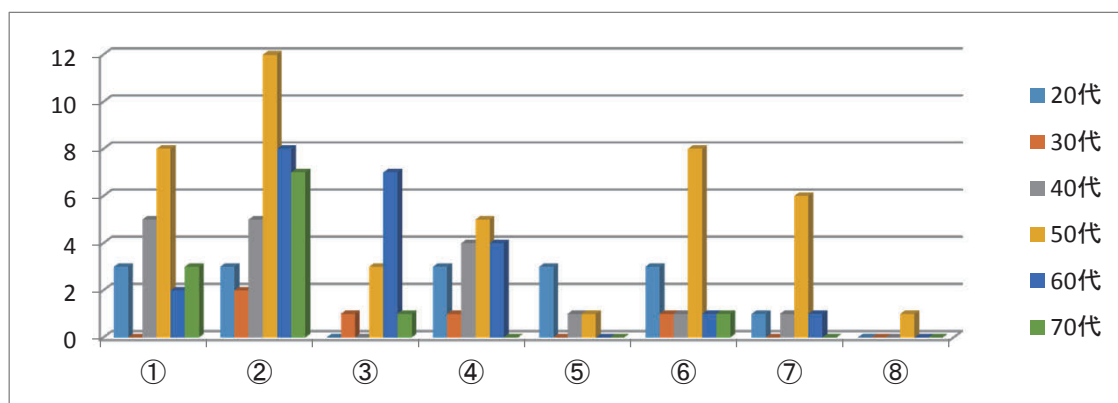


問5 (問4で1. か2. に○をつけた方にお聞きします) どういう形で役立てたいと考えていますか。

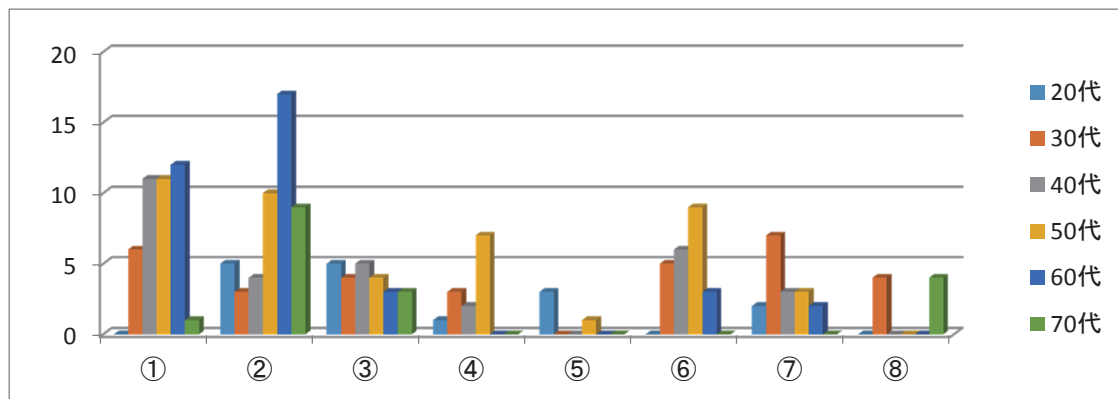
複数選択可	回答件数 (割合)	
1. 公民館における講座・教室、或いは公民館主催活動の協力者として	62件	21.0%
2. 公民館で同好者が自主的におこなっている集まり、サークル活動	85件	28.8%
3. 公民館で実施している地域ふれあいルームのスタッフとして	36件	12.2%
4. カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間(NPOを含む)の講座や教室	30件	10.2%
5. 学校(高等・専修・各種学校、大学)の公開講座や教室	9件	3.1%
6. 小・中学校の学校支援ボランティア	38件	12.9%
7. 職場の教育・研修	26件	8.8%
8. その他(生かし方が分からない など)	9件	3.0%
計	295件	—



男性

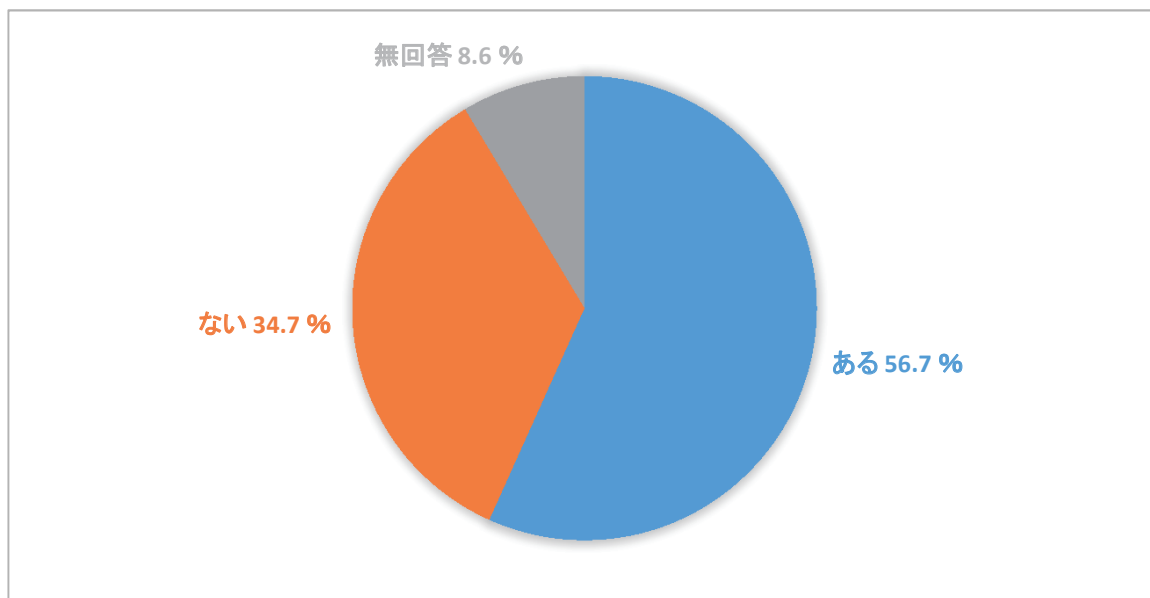


女性

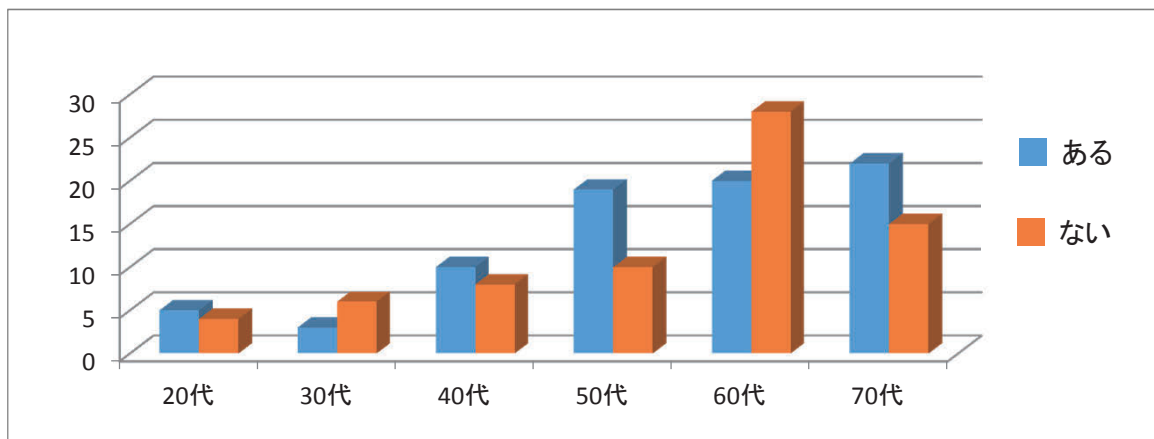


問6 あなたは、今までに公民館を利用したことがありますか。

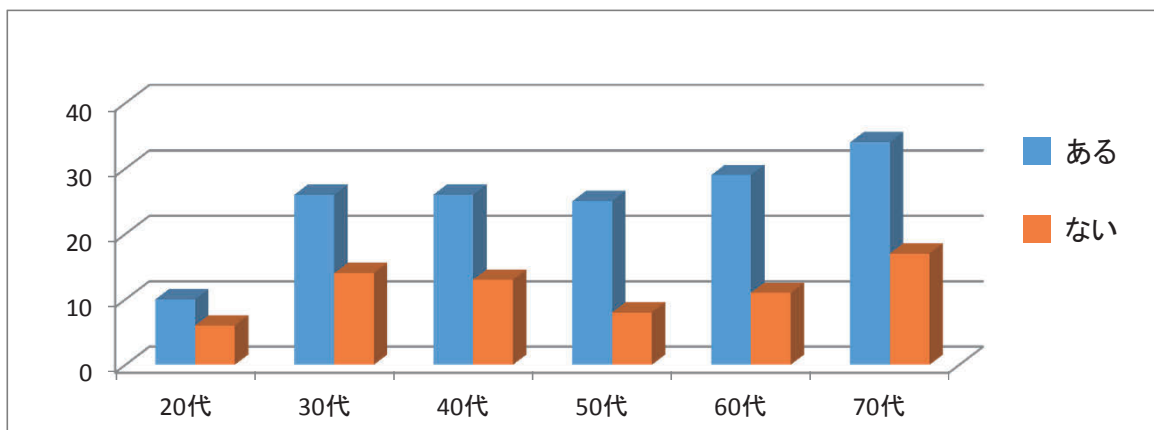
		回答件数 (割合)	
1.	ある	229 件	56.7 %
2.	ない	140 件	34.7 %
3.	無回答	35 件	8.6 %
計		404 件	—



男性

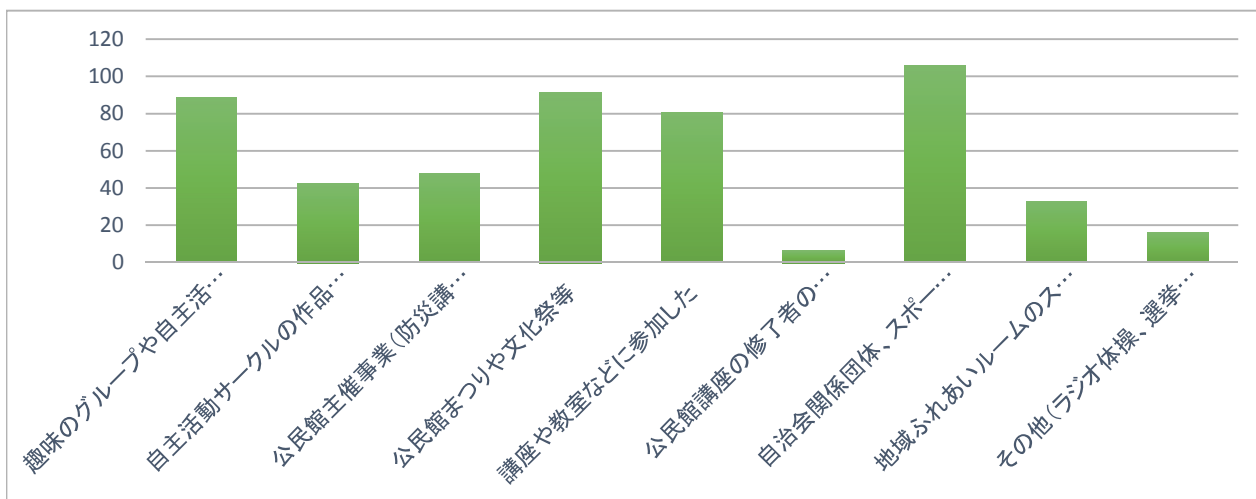


女性

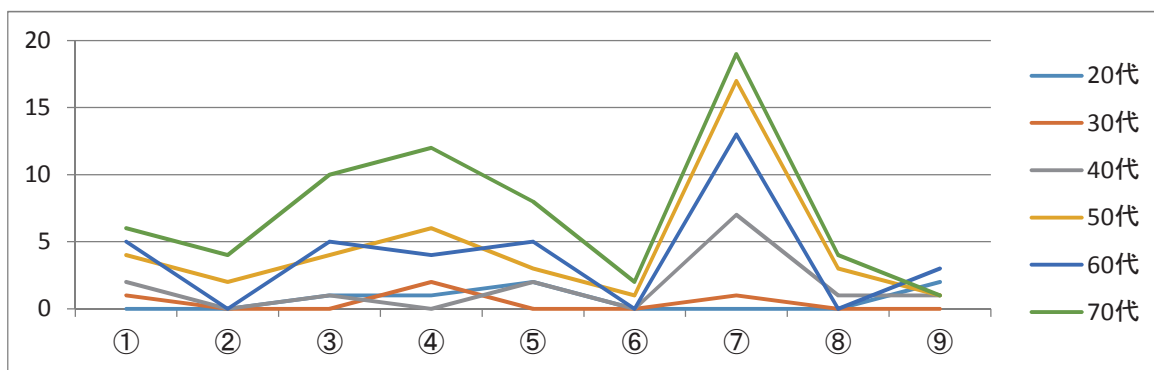


問7 (問6で1.に○をつけた方にお聞きします) あなたは、どのような活動のために公民館を利用しましたか。

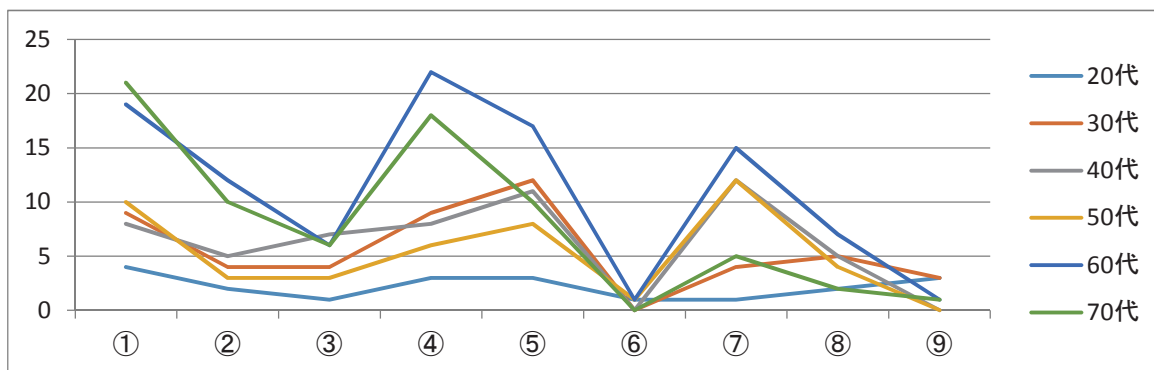
複数選択可	回答件数 (割合)	
1. 趣味のグループや自主活動サークルの場として利用した	89件	17.4%
2. 自主活動サークルの作品展などの行事に参加した	42件	8.2%
3. 公民館主催事業(防災講演会・餅つき・ハイキング・日帰りバスツアー等)に参加した	48件	9.4%
4. 公民館まつりや文化祭等	91件	17.8%
5. 講座や教室などに参加した	81件	15.8%
6. 公民館講座の修了者のグループ活動の場として利用した(自主活動サークル等)	6件	1.2%
7. 自治会関係団体、スポーツ少年団やPTAなど各種団体の集会場所として利用した	106件	20.7%
8. 地域ふれあいルームのスタッフや保護者として活動に参加した	33件	6.4%
9. その他(ラジオ体操、選挙など)	16件	3.1%
計	512件	—



男性

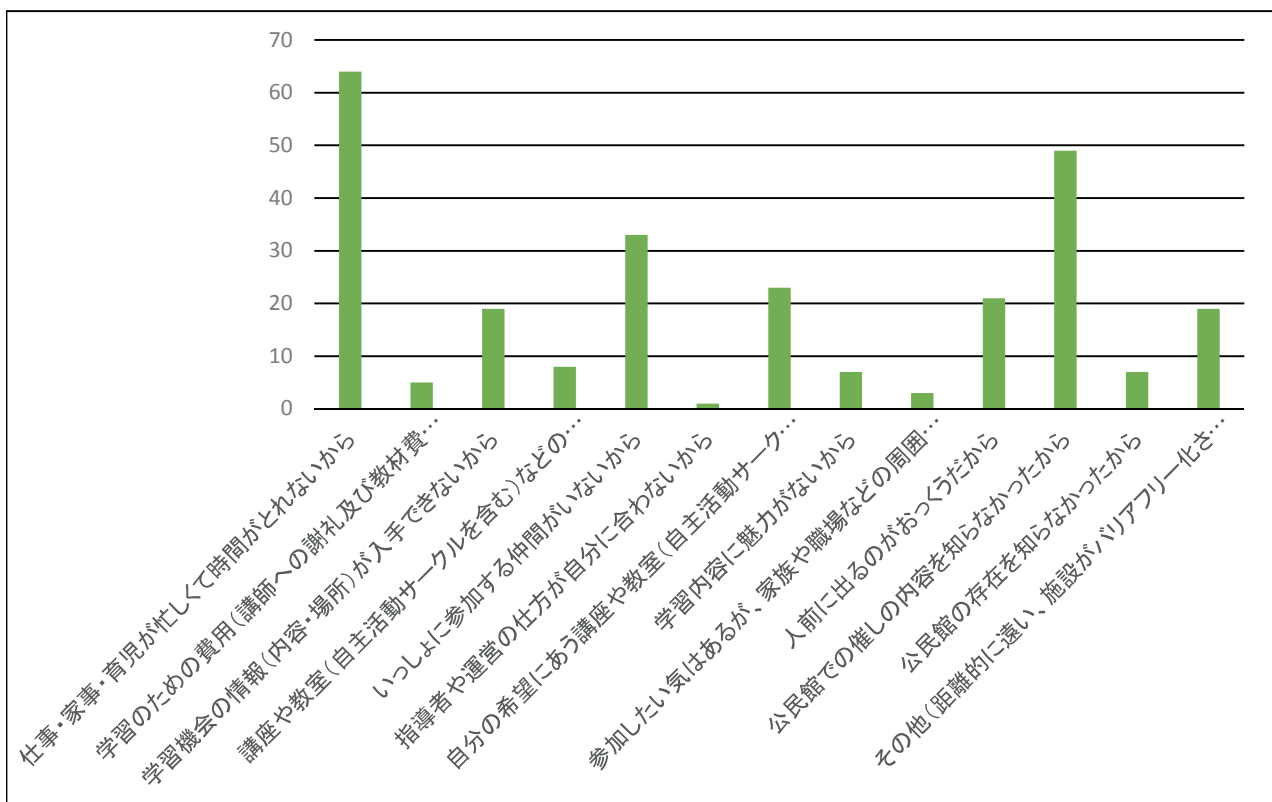


女性

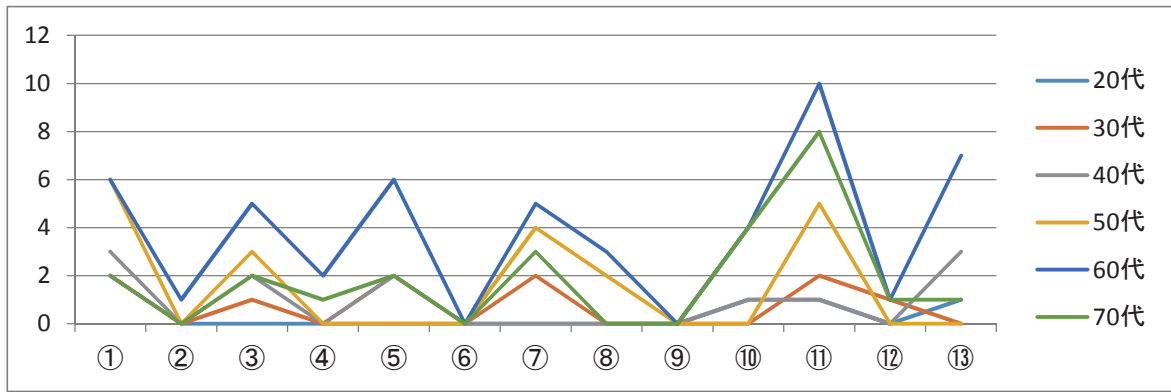


問8 (問6で2. に○をつけた方にお聞きします) あなたが、今まで公民館を利用しなかった理由を教えてください。

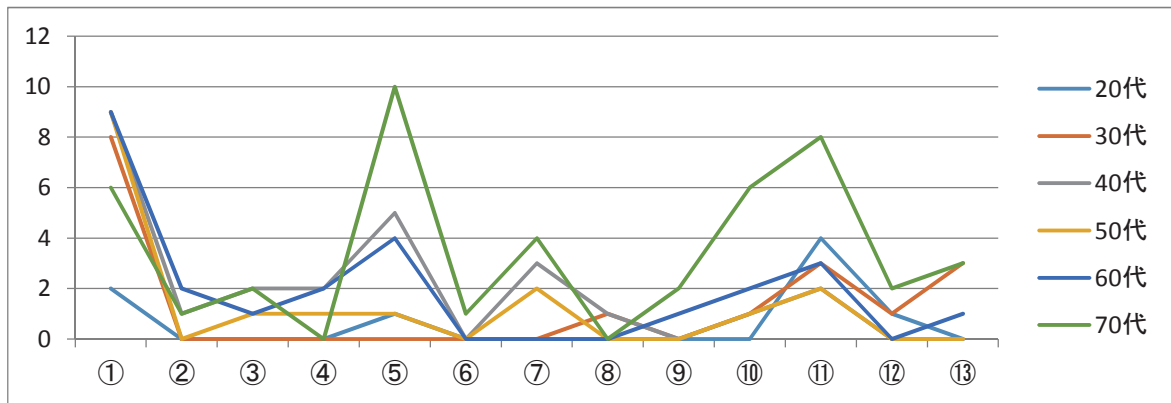
複数選択可	回答件数 (割合)	
1. 仕事・家事・育児が忙しくて時間がとれないから	64件	24.7%
2. 学習のための費用(講師への謝礼及び教材費用等)がかかるから	5件	1.9%
3. 学習機会の情報(内容・場所)が入手できないから	19件	7.3%
4. 講座や教室(自主活動サークルを含む)などの開設の時間・時期が適当でないから	8件	3.1%
5. いっしょに参加する仲間がないから	33件	12.7%
6. 指導者や運営の仕方が自分に合わないから	1件	0.4%
7. 自分の希望にあう講座や教室(自主活動サークルを含む)がないから	23件	8.9%
8. 学習内容に魅力がないから	7件	2.7%
9. 参加したい気はあるが、家族や職場などの周囲の理解が得られないから	3件	1.2%
10. 人前が出るのがおっくうだから	21件	8.1%
11. 公民館での催しの内容を知らなかったから	49件	18.9%
12. 公民館の存在を知らなかったから	7件	2.7%
13. その他(距離的に遠い、施設がバリアフリー化されていない など)	19件	7.4%
計	259件	—



男性

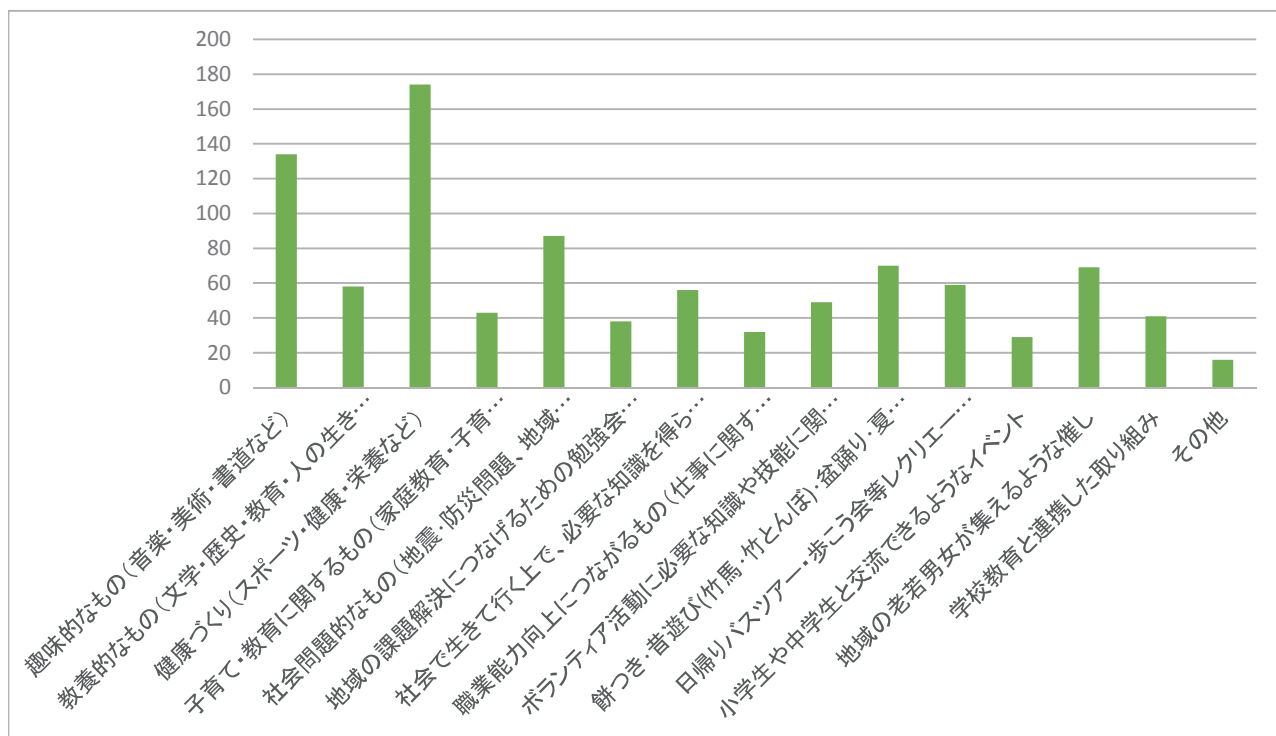


女性

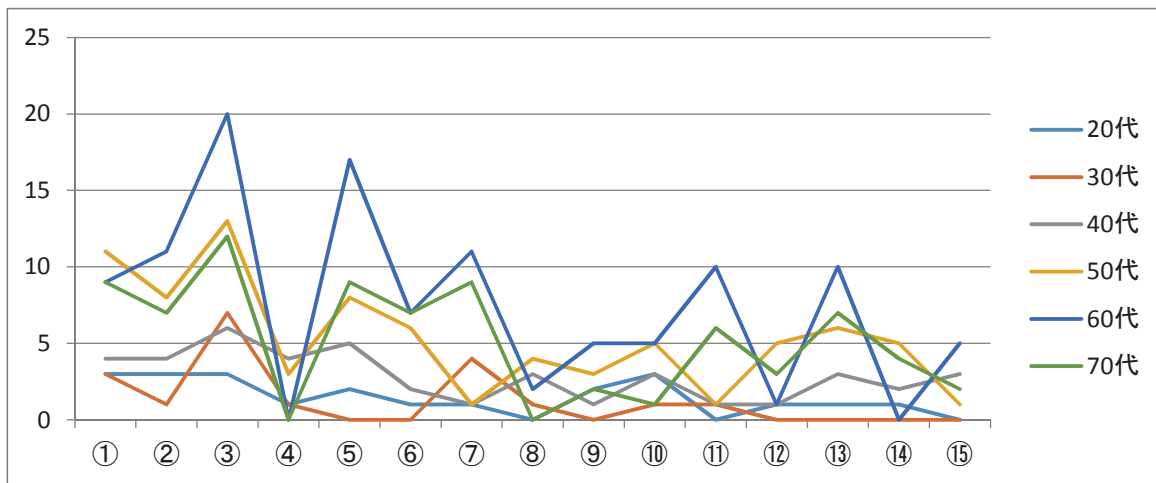


問9 今後、公民館でどのような活動があれば、公民館を利用してみようと思いますか。

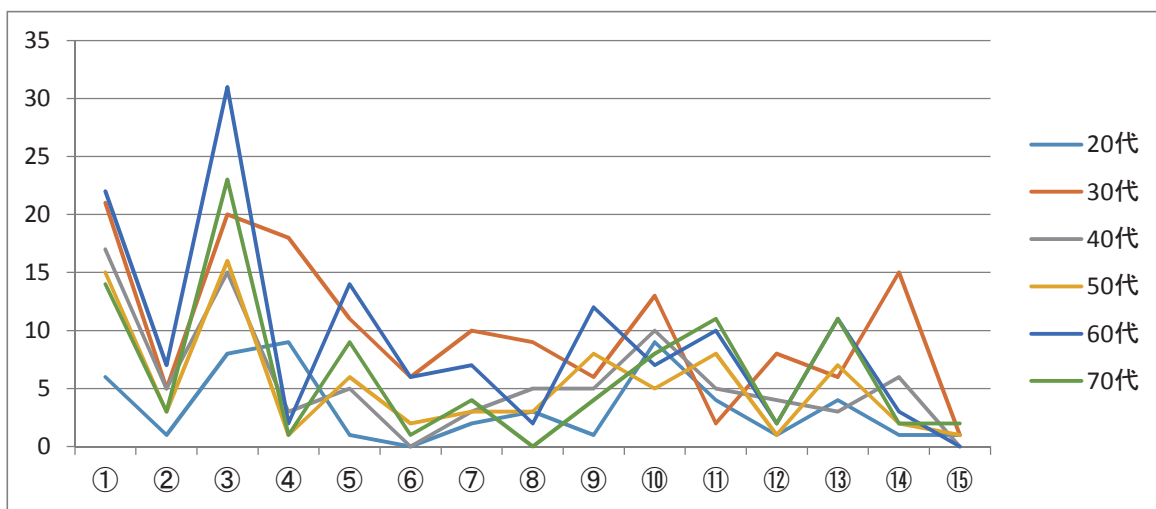
複数選択可	回答件数 (割合)	
1. 趣味的なもの(音楽・美術・書道など)	134件	14.0%
2. 教養的なもの(文学・歴史・教育・人の生き方など)	58件	6.1%
3. 健康づくり(スポーツ・健康・栄養など)	174件	18.2%
4. 子育て・教育に関するもの(家庭教育・子育て支援など)	43件	4.5%
5. 社会問題的なもの(地震・防災問題、地域課題、環境問題、時事・経済問題など)	87件	9.1%
6. 地域の課題解決につなげるための勉強会的なもの	38件	4.0%
7. 社会で生きて行く上で、必要な知識を得られるもの (消費者問題・詐欺にあわないための知識・裁判員制度・税のしくみなど)	56件	5.9%
8. 職業能力向上につながるもの(仕事に関する知識や技術など)	32件	3.4%
9. ボランティア活動に必要な知識や技能に関すること(手話・介護など)	49件	5.1%
10. 餅つき・昔遊び(竹馬・竹とんぼ)・盆踊り・夏まつり等地域の皆で楽しめる参加型イベント	70件	7.3%
11. 日帰りバスツアー・歩こう会等レクリエーション的なイベント	59件	6.2%
12. 小学生や中学生と交流できるようなイベント	29件	3.0%
13. 地域の老若男女が集えるような催し	69件	7.2%
14. 学校教育と連携した取り組み	41件	4.3%
15. その他	16件	1.7%
計	955件	—



男性

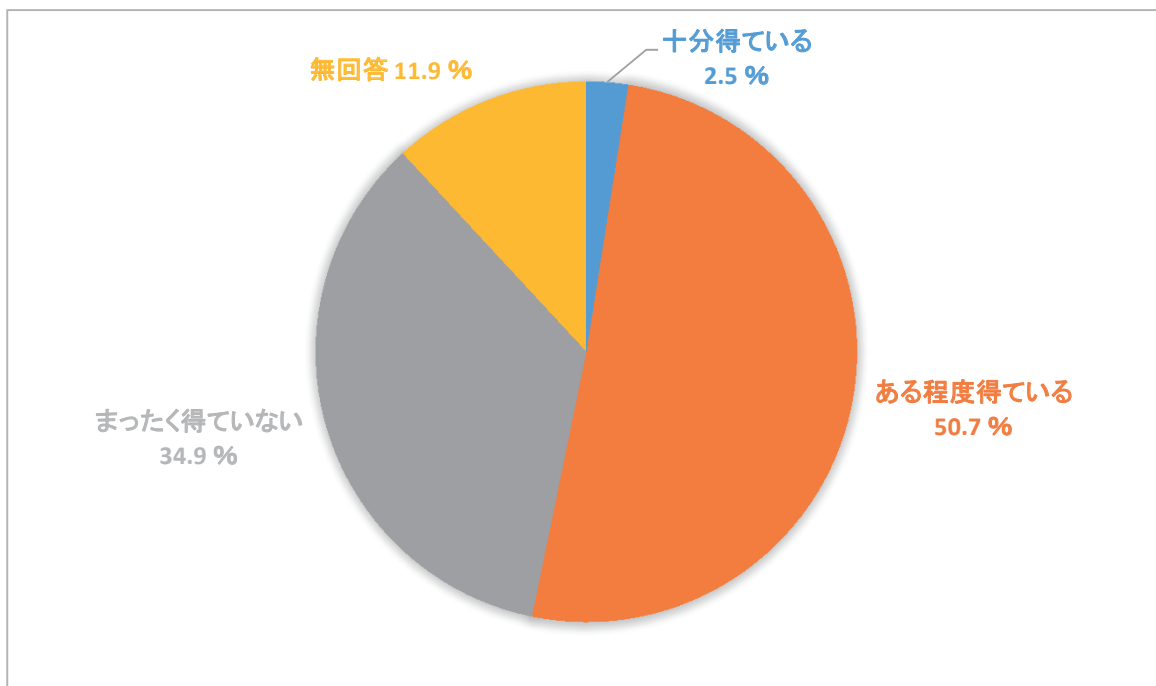


女性

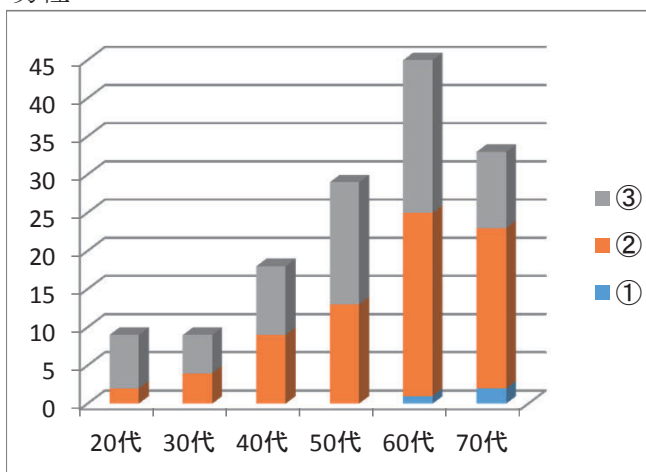


問10 あなたは、公民館で提供されている各種の学習機会・催し・内容やサービス（自主活動サークルを含む）について、どの程度情報を得ていますか。

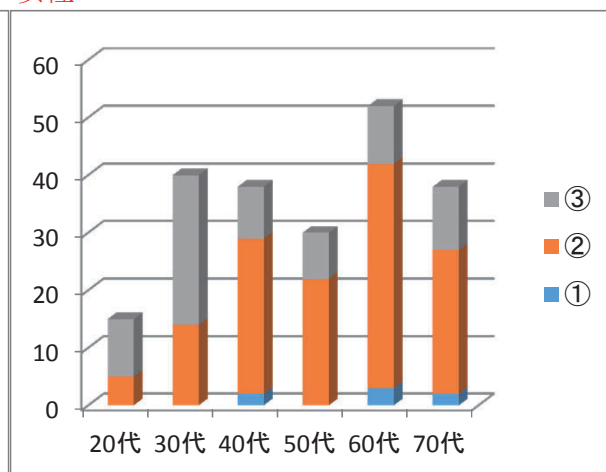
		回答件数（割合）	
1.	十分得ている	10 件	2.5 %
2.	ある程度得ている	205 件	50.7 %
3.	まったく得ていない	141 件	34.9 %
4.	無回答	48 件	11.9 %
計		404 件	—



男性

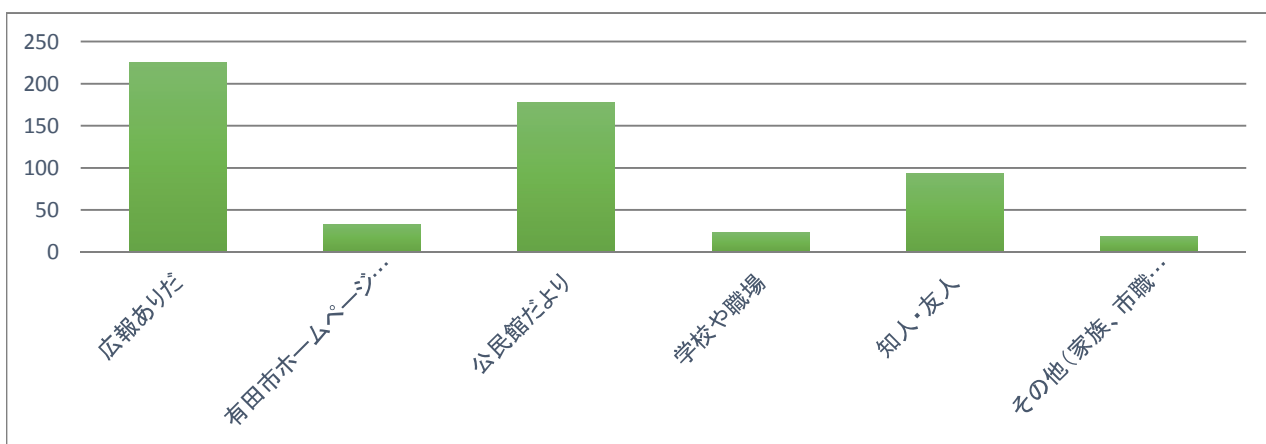


女性

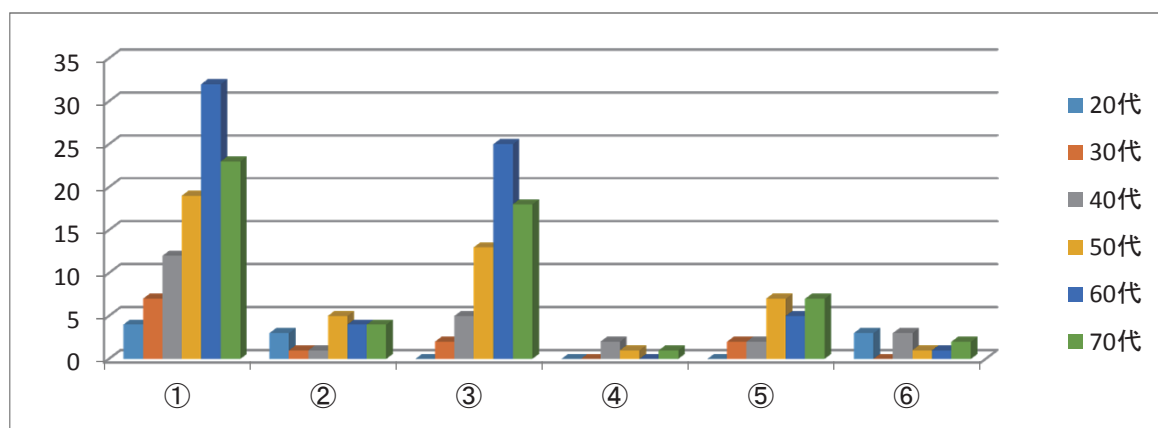


問11 あなたは、公民館での活動（自主活動サークルを含む）に関する情報をどこから入手していますか、または入手したいですか。

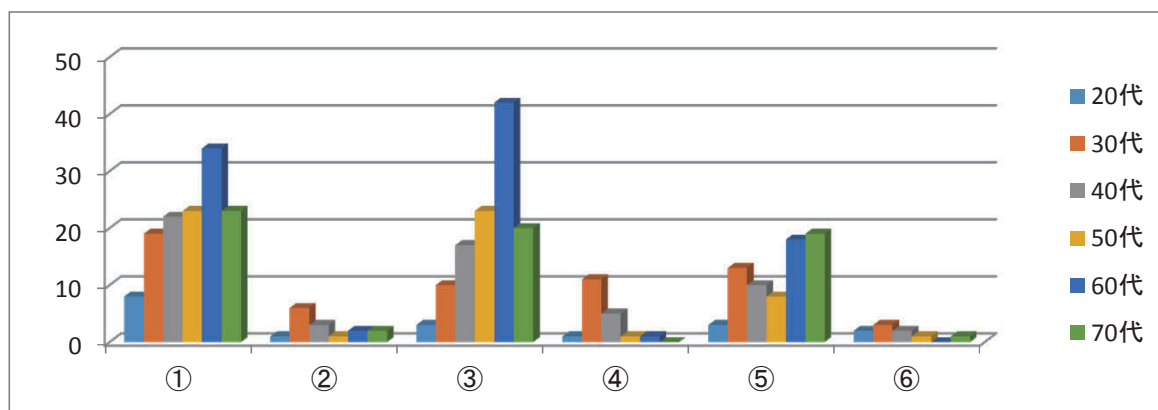
複数選択可	回答件数（割合）	
1. 広報ありだ	226 件	39.4 %
2. 有田市ホームページ（インターネット）	33 件	5.8 %
3. 公民館だより	178 件	31.1 %
4. 学校や職場	23 件	4.0 %
5. 知人・友人	94 件	16.4 %
6. その他（家族、市職員、回覧板、放送 など）	19 件	3.3 %
計	573 件	—



男性

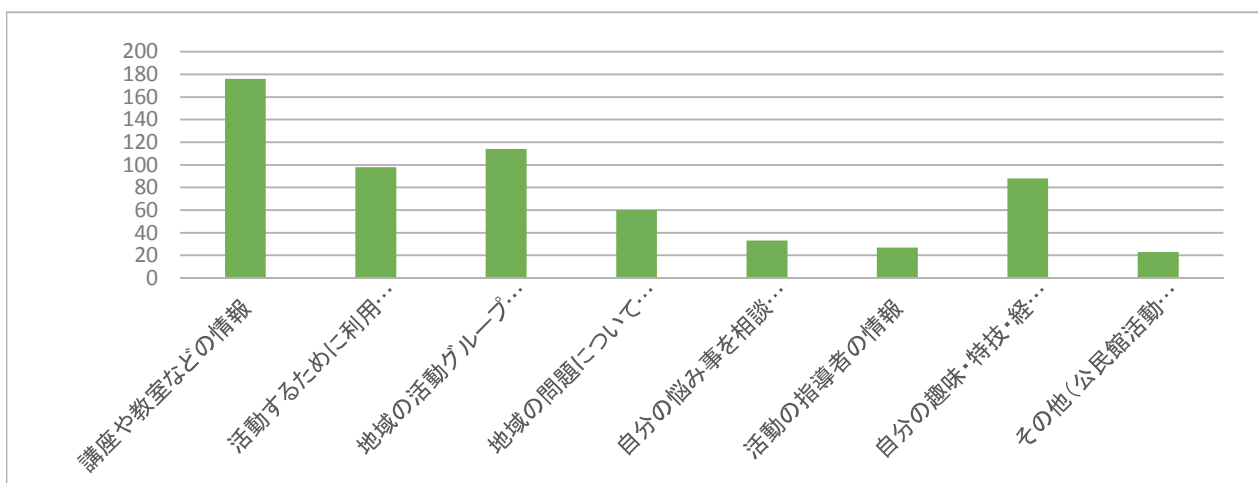


女性

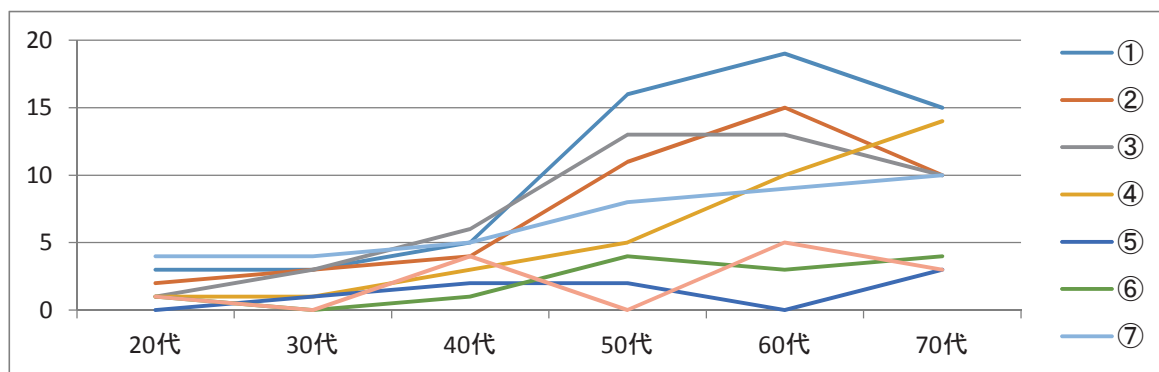


問12 今後、あなたが知りたい公民館からの情報は、どのようなものですか。

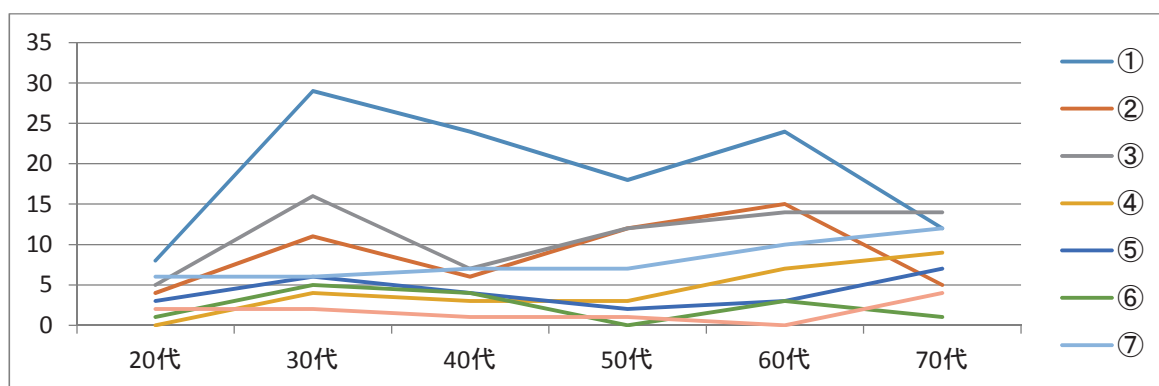
複数選択可	回答件数 (割合)	
1. 講座や教室などの情報	176 件	28.4 %
2. 活動するために利用できる施設の情報	98 件	15.8 %
3. 地域の活動グループやサークルの情報	114 件	18.4 %
4. 地域の問題について話し合う機会の情報	60 件	9.7 %
5. 自分の悩み事を相談できる機会の情報	33 件	5.3 %
6. 活動の指導者の情報	27 件	4.4 %
7. 自分の趣味・特技・経験を活用するための情報	88 件	14.2 %
8. その他 (公民館活動の報告 など)	23 件	3.8 %
計	619 件	—



男性

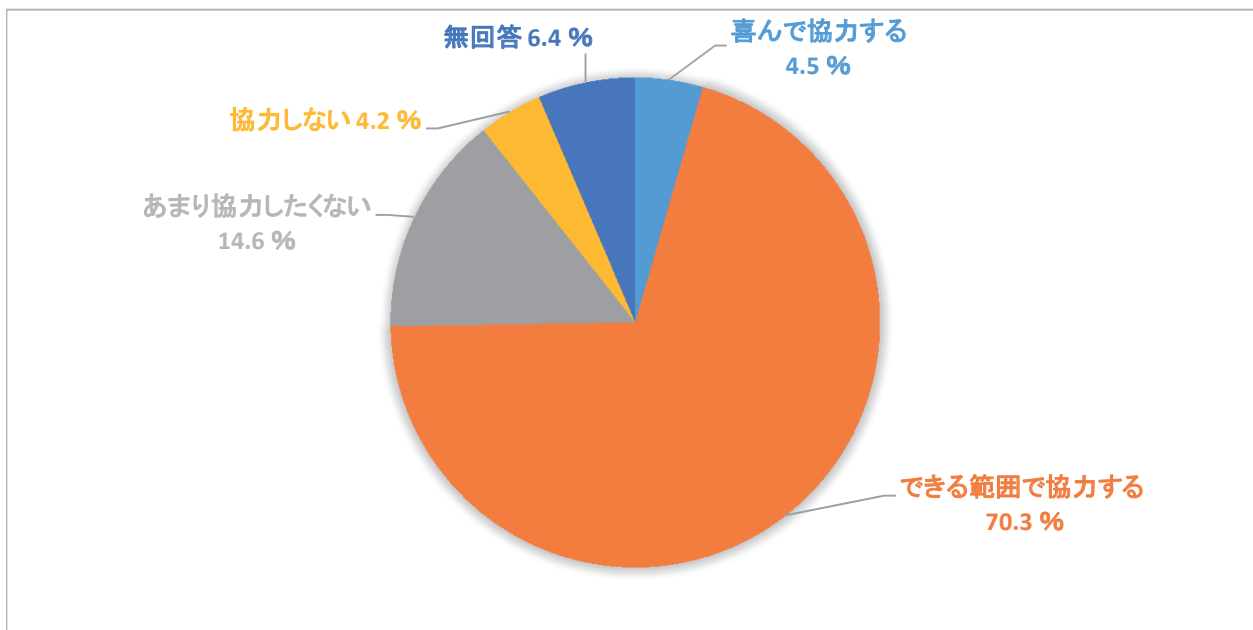


女性

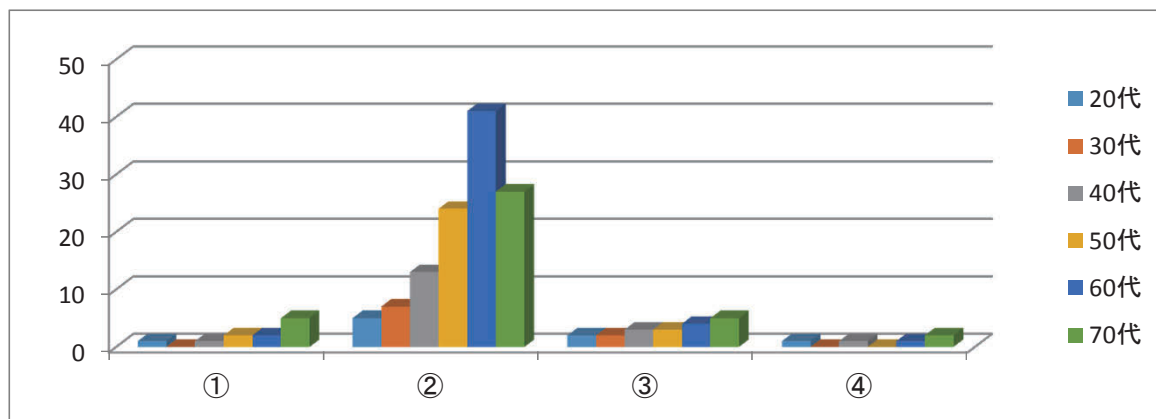


問13 あなたは、公民館から協力を求められたらどうしますか。

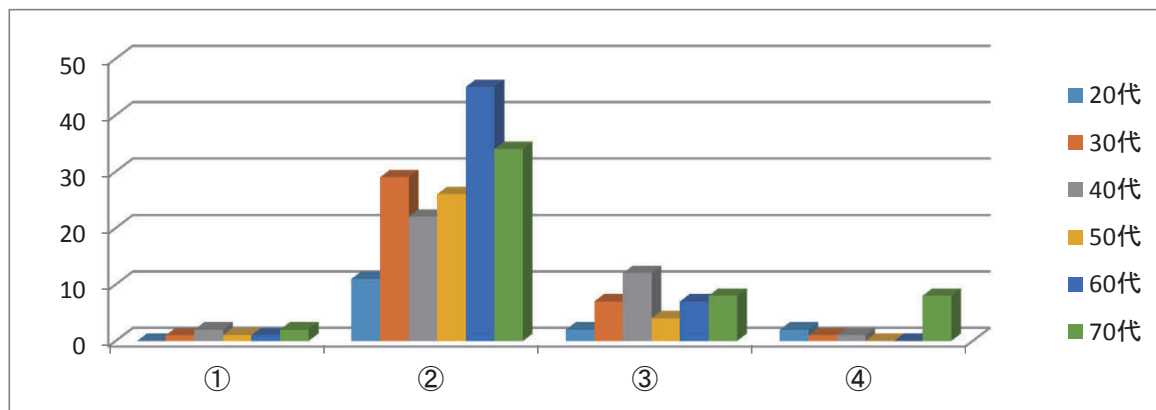
		回答件数 (割合)	
1.	喜んで協力する	18 件	4.5 %
2.	できる範囲で協力する	284 件	70.3 %
3.	あまり協力したくない	59 件	14.6 %
4.	協力しない	17 件	4.2 %
5.	無回答	26 件	6.4 %
計		404 件	—



男性

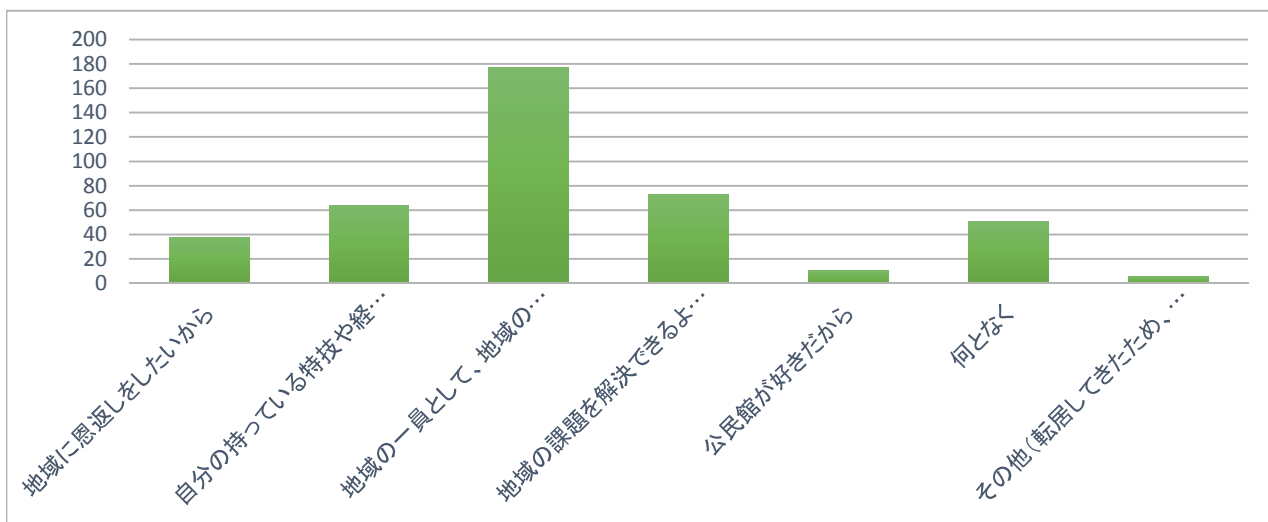


女性

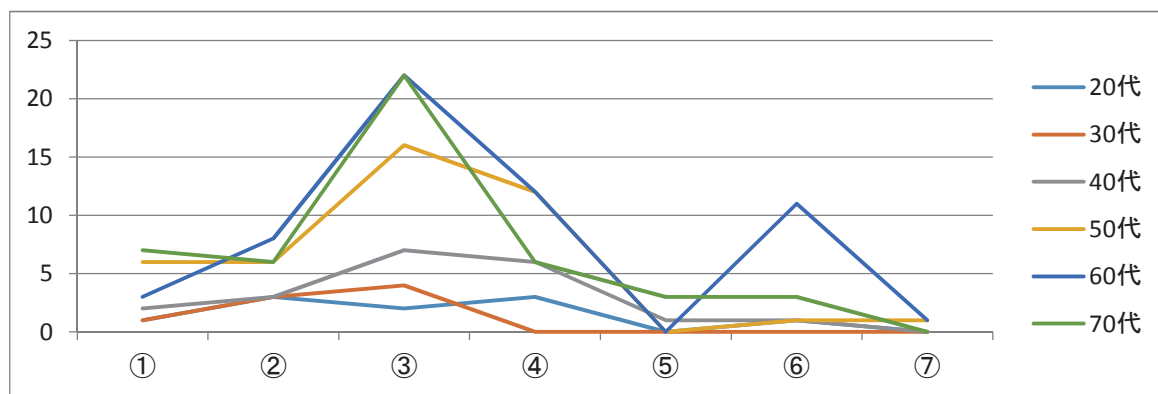


問14 (問13で1.か2.に○をつけた方にお聞きします) 協力する理由を教えてください。

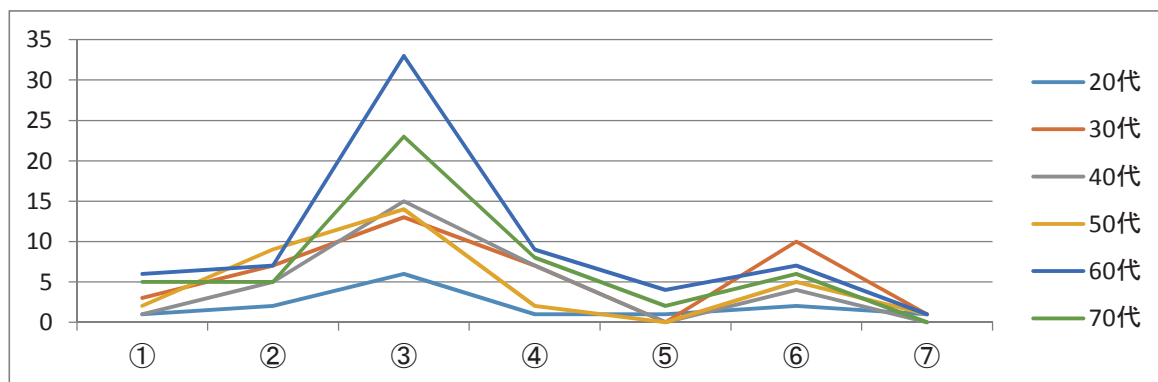
複数選択可	回答件数 (割合)	
1. 地域に恩返しをしたいから	38件	9.0%
2. 自分の持っている特技や経験を地域のために役立てたいから	64件	15.2%
3. 地域の一員として、地域の人々と何らかの形でつながってほしいから	177件	42.1%
4. 地域の課題を解決できるよう、自分にできることをしたいから	73件	17.4%
5. 公民館が好きだから	11件	2.6%
6. 何となく	51件	12.1%
7. その他(転居してきたため、地域とつながりを持ちたいため)	6件	1.6%
計	420件	—



男性

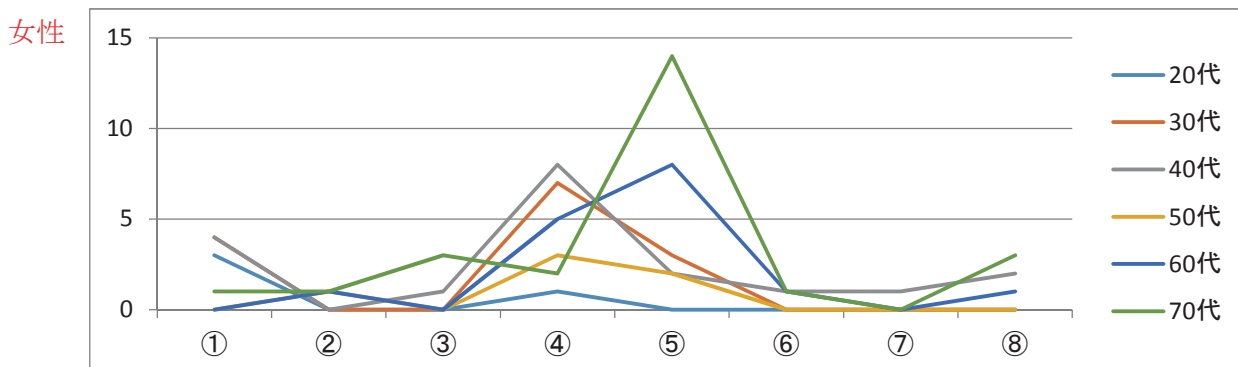
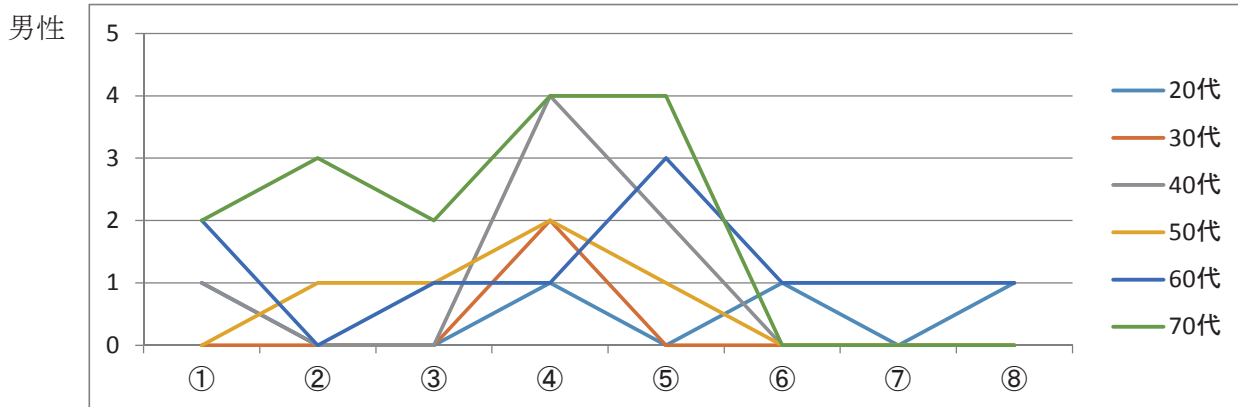
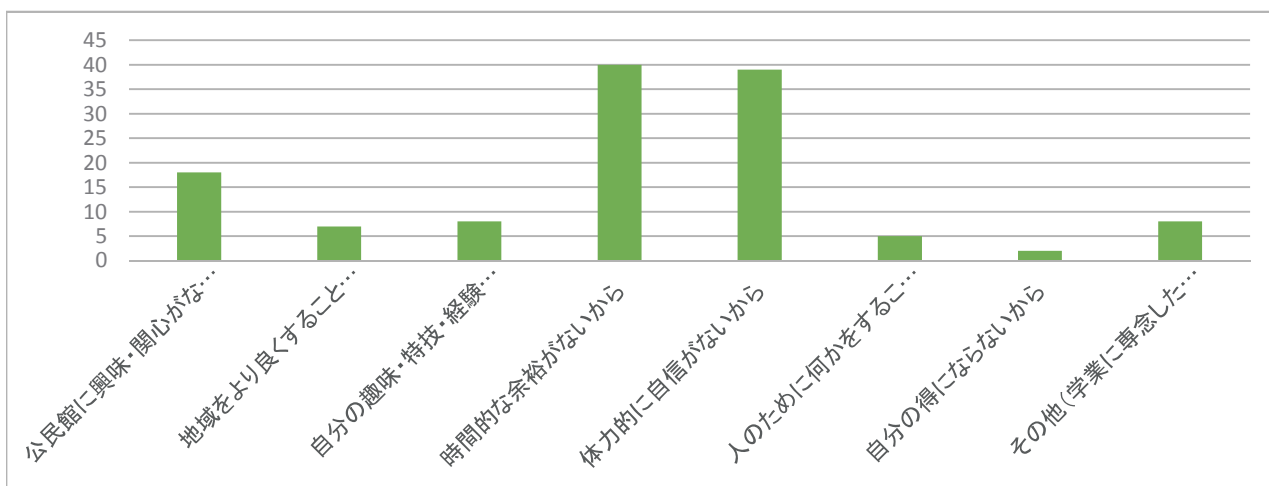


女性



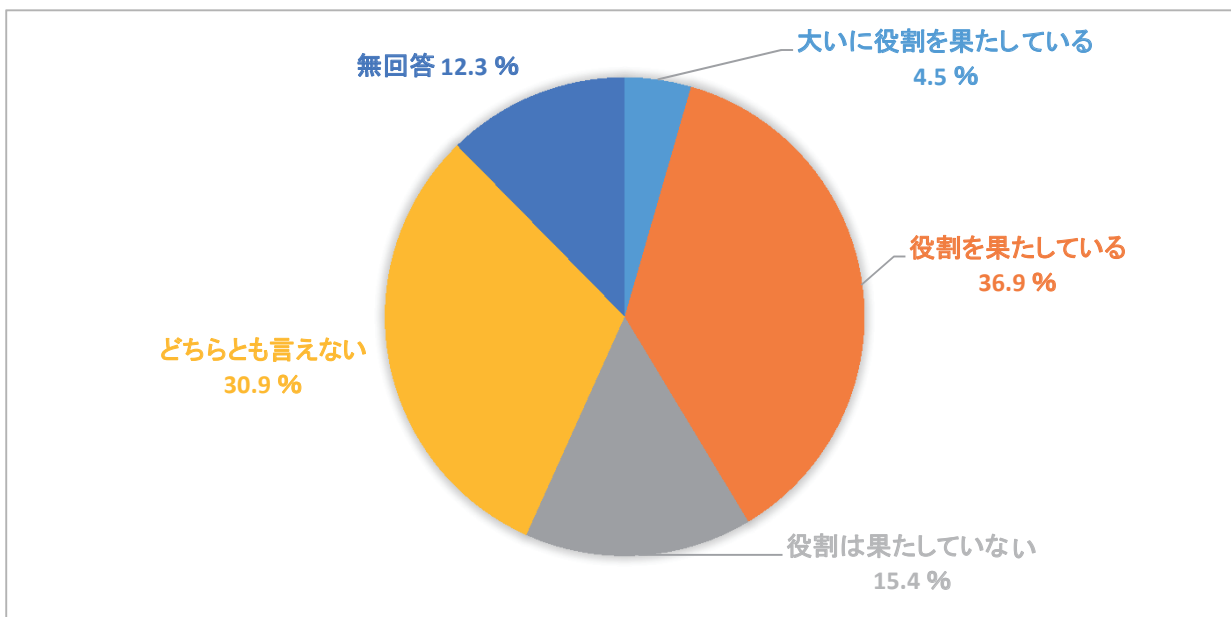
問15 (問13で3.か4.に○をつけた方にお聞きします) 協力できない理由を教えてください。

複数選択可	回答件数 (割合)	
1. 公民館に興味・関心がないから	18件	14.2%
2. 地域をより良くすることは、自治会等の役目だから	7件	5.5%
3. 自分の趣味・特技・経験は、自分や家族のために役立てたいから	8件	6.3%
4. 時間的な余裕がないから	40件	31.5%
5. 体力的に自信がないから	39件	30.7%
6. 人のために何かをすることが好きではないから	5件	3.9%
7. 自分の得にならないから	2件	1.6%
8. その他 (学業に専念したいため など)	8件	6.3%
計	127件	—

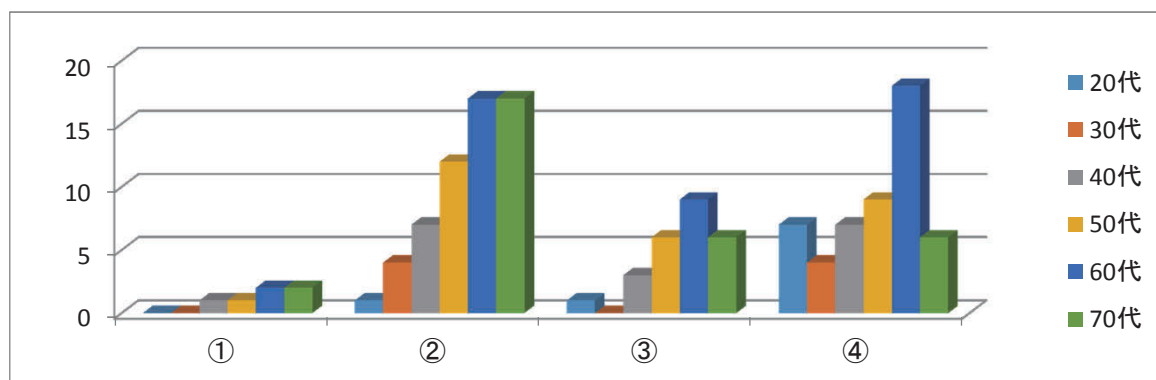


問16 あなたは、公民館が地域づくりや地域課題の解決に、役割を果たしていると思いますか。

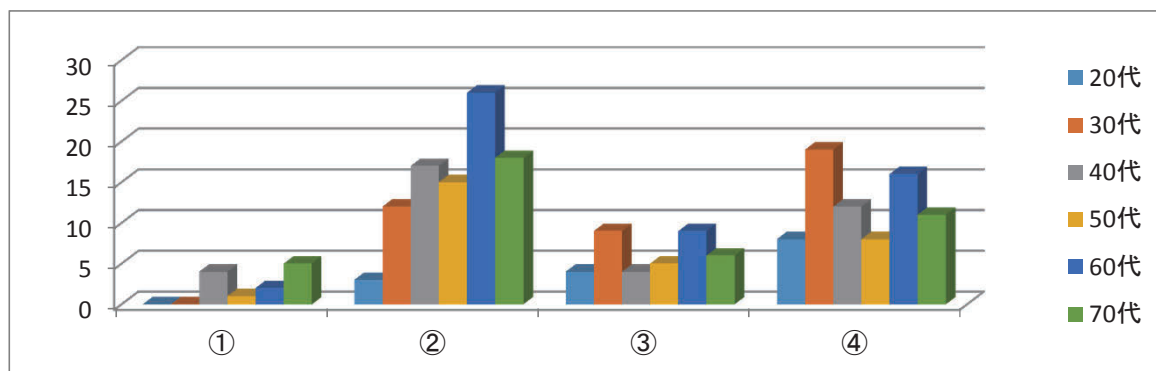
		回答件数 (割合)	
1.	大いに役割を果たしている	18 件	4.5 %
2.	役割を果たしている	149 件	36.9 %
3.	役割は果たしていない	62 件	15.4 %
4.	どちらとも言えない	125 件	30.9 %
5.	無回答	50 件	12.3 %
計		404 件	—



男性

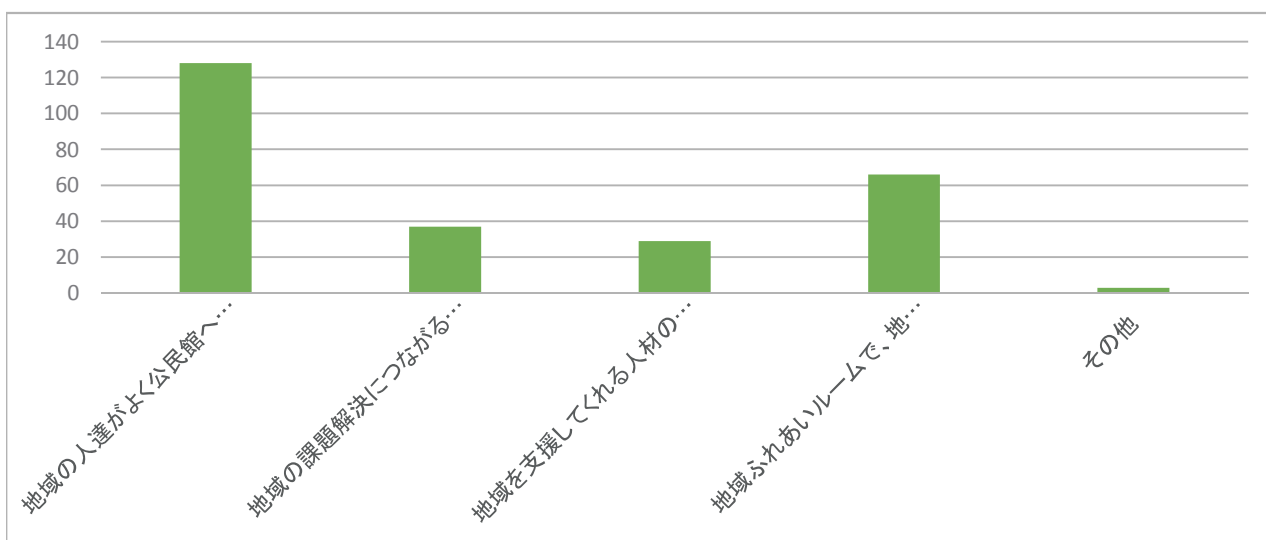


女性

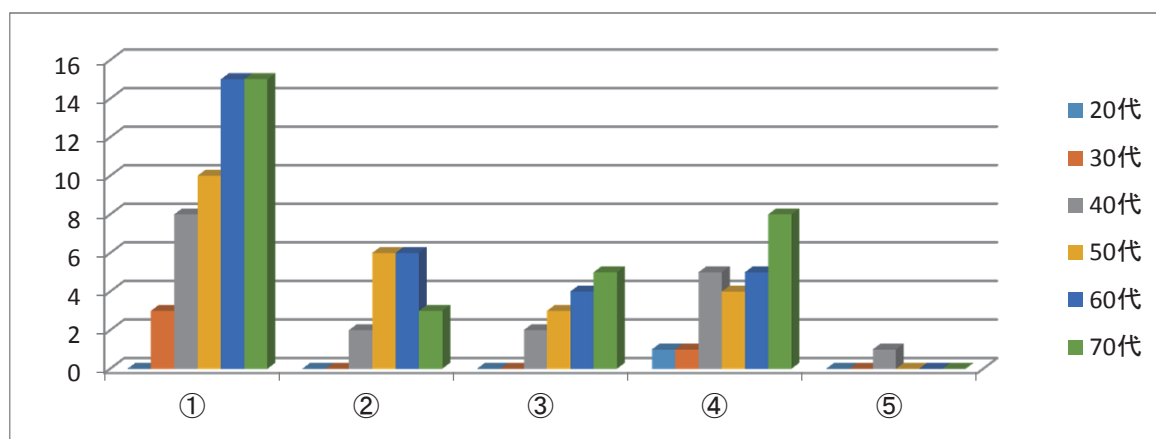


問17 (問16で1. か2. に○をつけた方にお聞きします) どういう点で、地域づくりや地域課題の解決に役割を果たしているとお考えですか。

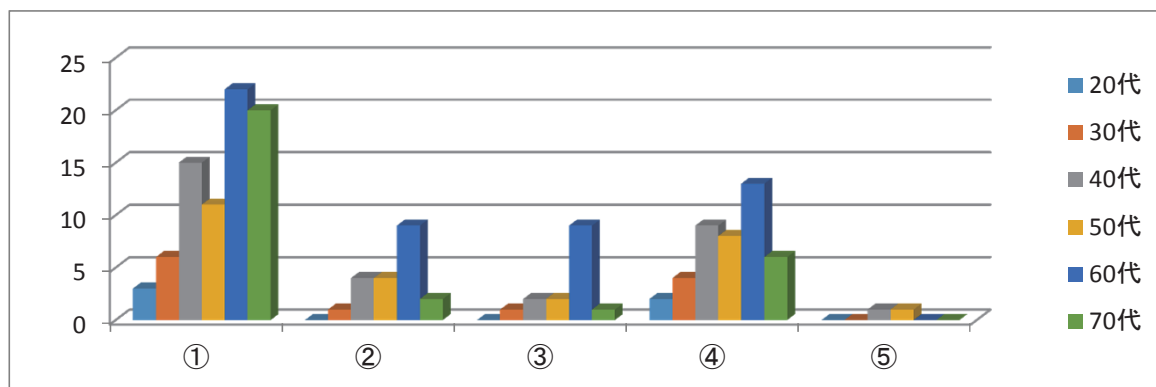
複数選択可	回答件数 (割合)	
1. 地域の人達がよく公民館へ集まり、人と人をつなげる役割を果たしているから	128 件	48.7 %
2. 地域の課題解決につながるような学習機会を提供しているから	37 件	14.1 %
3. 地域を支援してくれる人材の育成や人材の活用支援を行っているから	29 件	11.0 %
4. 地域ふれあいルームで、地域の未来を担う小学生児童の健全育成に努めているから	66 件	25.1 %
5. その他	3 件	1.1 %
計	263 件	—



男性

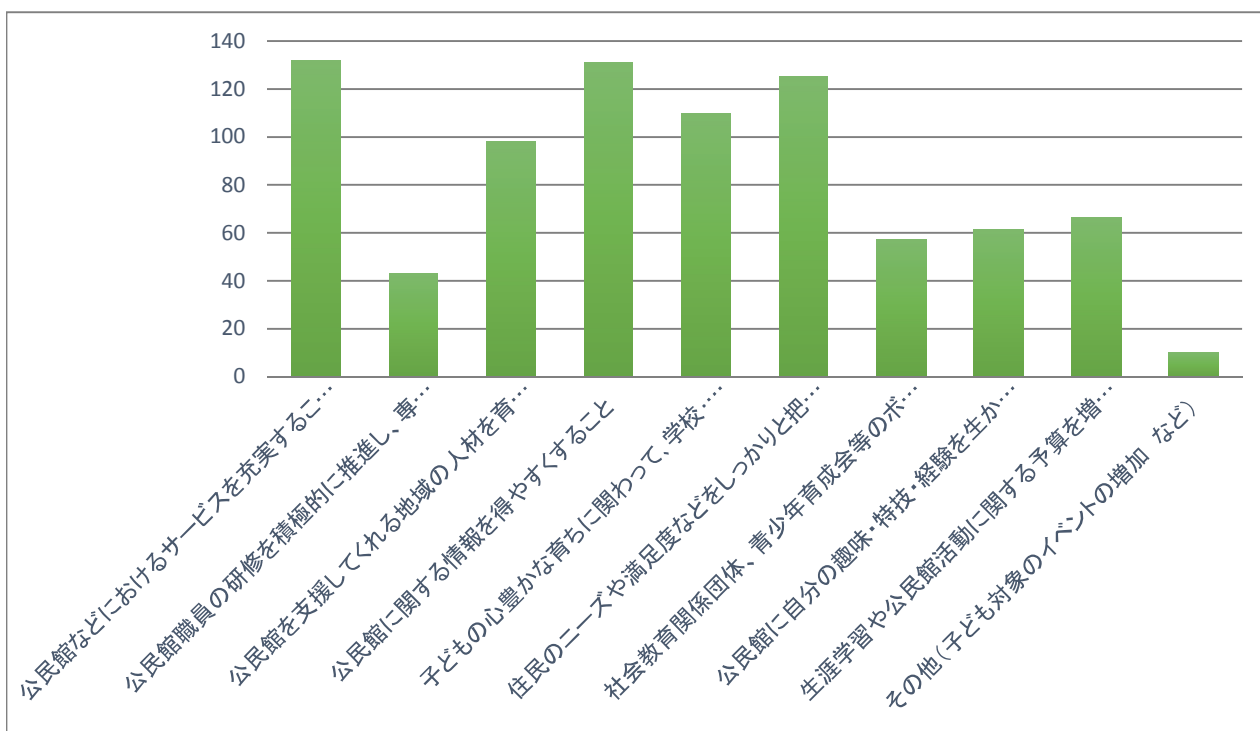


女性

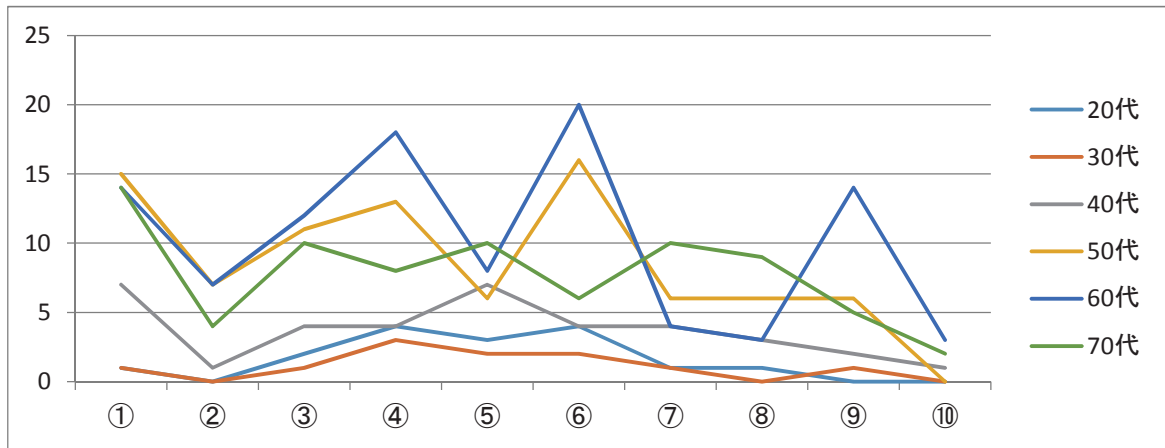


問18 あなたは、今後公民館をより一層充実したものにしていくために、有田市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

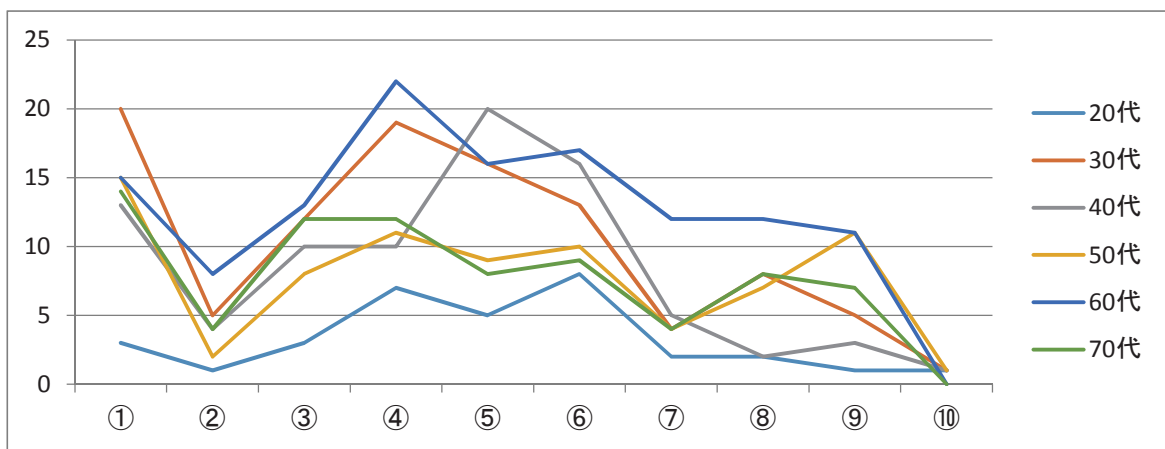
複数選択可		回答件数 (割合)	
1.	公民館などにおけるサービスを充実すること (講座や教室の充実、開館時間の拡大、公民館同士の連携など)	132 件	15.8 %
2.	公民館職員の研修を積極的に推進し、専門性を高めること	43 件	5.2 %
3.	公民館を支援してくれる地域の人材を育成すること	98 件	11.8 %
4.	公民館に関する情報を得やすくすること	131 件	15.7 %
5.	子どもの心豊かな育ちに関わって、学校・家庭・地域(公民館)との連携や協力体制を構築すること	110 件	13.2 %
6.	住民のニーズや満足度などをしっかりと把握し、活動に反映していくこと	125 件	15.0 %
7.	社会教育関係団体、青少年育成会等のボランティア活動を活発にさせ、その活動を支援すること	57 件	6.8 %
8.	公民館に自分の趣味・特技・経験を生かせる場を積極的に提供すること	61 件	7.3 %
9.	生涯学習や公民館活動に関する予算を増やすこと	66 件	7.9 %
10.	その他 (子ども対象のイベントの増加 など)	10 件	1.3 %
計		833 件	—



男性



女性



有田市生涯学習推進計画策定までの経緯

開催時期	検討事項
平成25年6月13日	第1回 社会教育委員会議
平成25年7月8日	第1回 有田市社会教育委員研修会 「(仮)有田市生涯学習推進計画を策定することを決定」
平成25年7月24日	「生涯学習推進計画策定に向けての打ち合わせ」 相談 (和歌山大学地域連携・生涯学習センター)
平成25年8月19日から 平成25年9月11日まで	公民館ヒアリング調査 (公民館の現状と課題の把握のため)
平成25年10月1日	公民館ヒアリング調査結果のまとめ完了
平成25年10月21日	第2回 社会教育委員会議 ヒアリング結果報告・協議 「有田市立公民館の現状と課題について」 「今後の取り組みについて」
平成25年10月28日	有田市教育委員会から有田市社会教育委員会議への諮問 『平成28年度から平成37年度までの10ヶ年にわたる 「有田市生涯学習推進計画」について』
平成25年11月22日	第1回 公民館職員研修会 ヒアリング結果報告・協議 「有田市立公民館の現状と課題について」 「公民館の役割及び公民館職員の在り方について」
平成25年12月3日	第1回 社会教育委員協議会 「公民館ヒアリング調査の分析結果及び今までの経過 について」 「今後の取り組み方針について ～公民館職員を含めた地域調査の実施方法について～」
平成25年12月26日	第2回 社会教育委員協議会 「公民館ヒアリング調査の分析結果及び今までの経過 について」 「今後の取り組み方針について ～公民館職員を含めた地域調査の実施方法について～」
平成26年1月17日	第3回 社会教育委員協議会 「社会教育委員及び公民館職員合同会議に向けて」
平成26年1月29日	社会教育委員及び公民館職員合同会議 「今後の取り組みについて」
平成26年2月28日	第4回 社会教育委員協議会 「第1回社会教育委員及び公民館職員合同会議を 終えて」
平成26年3月12日	第1回 公民館長及び公民館運営審議会委員会議
平成26年3月28日	第3回 社会教育委員会議
平成26年5月2日	第1回 社会教育委員会議 「生涯学習推進計画の策定（市民アンケート調査票案 の配布）について他」
平成26年5月22日	第1回 社会教育委員協議会 「市民アンケート調査項目（案）について」
平成26年6月4日	第1回 社会教育委員研修会 「市民アンケート調査（案）説明及び検討」

平成26年6月20日	第2回 社会教育委員協議会 「市民アンケート調査（案）について」
平成26年7月9日	公民館長・公民館運営審議会委員会議 「市民アンケート調査の承諾について」
平成26年8月25日	生涯学習に関する市民アンケート調査票発送
平成26年9月30日	市民アンケート調査票郵送締切
平成26年10月3日	第3回 社会教育委員協議会 「市民アンケート調査結果の集計及び分析について等」
平成26年10月3日から 平成26年11月13日まで	市民アンケート調査票集計
平成26年11月13日	第4回 社会教育委員協議会 「市民アンケート調査の集計結果及びその分析について」
平成26年11月20日	平成26年度和歌山県社会教育研究大会（田辺市:Big・U） 事例発表「生涯学習推進計画策定に当たっての社会教育委員としての取り組み」（発表者：平野勝寛議長）
平成27年1月16日	第5回 社会教育委員協議会 「市民アンケート調査の集計結果の分析について」
平成27年2月27日	橋本市・有田市社会教育委員合同研修会 （和歌山大学地域連携・生涯学習センター） 「生涯学習推進計画の進捗状況等」
平成27年3月4日	第2回 有田市公民館職員等研修会（初島公民館） 「市民が輝き地域が輝く公民館」 （岡山市立京山公民館 主任 田中純子氏）
平成27年3月12日	「今後の生涯学習推進計画策定の進め方について」 相談（和歌山大学地域連携・生涯学習センター）
平成27年3月25日	第6回 社会教育委員協議会 「今後の生涯学習推進計画の策定について他」
平成27年5月13日	第1回 社会教育委員会議 「生涯学習推進計画の策定 スポーツ・文化・図書館の現状と課題について、計画（案）策定について」
平成27年5月26日	第1回 社会教育委員協議会 「計画の体系図 主要施策～具体的方針について」
平成27年6月10日	第2回 社会教育委員協議会 「主要施策～具体的方針について」
平成27年8月4日	第3回 社会教育委員協議会 「生涯学習推進計画（案）について」
平成27年9月8日	有田市公民館館長会 「生涯学習推進計画（案）について 各公民館意見集約」
平成27年9月15日	第4回 社会教育委員協議会 「館長会の意見について協議 計画(案)修正箇所検討」
平成27年10月9日	「生涯学習推進計画(案)について」 相談（和歌山大学地域連携・生涯学習センター）
平成27年10月27日	第5回 社会教育委員協議会 「有田市生涯学習推進計画」答申(案)の協議
平成27年10月27日	有田市社会教育委員会議から有田市教育委員会へ 「有田市生涯学習推進計画」答申
平成27年12月7日	有田市教育委員会12月定例会 「有田市生涯学習推進計画(案)」承認
平成28年1月	「有田市生涯学習推進計画」策定

